

管内概要

平成 12 年版

東京都三宅支庁

目 次

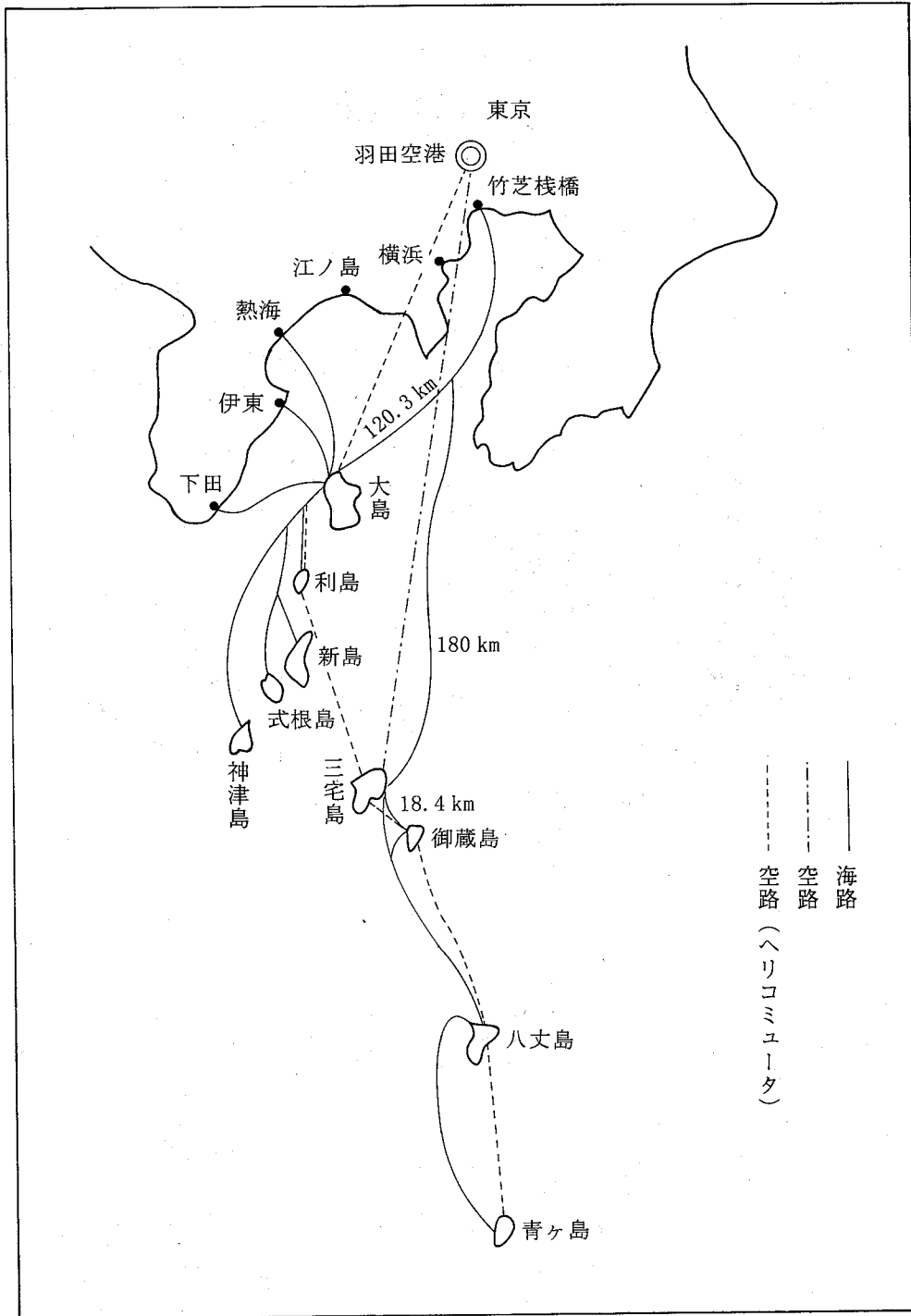
三宅島・御蔵島位置図	1
三宅島・御蔵島要図	2
第1 概 要	3
1. 位置・地勢	5
2. 生 物	6
3. 気象と火山	8
第2 支 庁	17
1. 沿 革	19
2. 庁舎の経緯	19
3. 組織の経緯	19
4. 機 構	21
5. 職員配置状況	21
6. 都有財産関係	22
7. 支庁関係予算	23
8. 都 税	24
9. 防災対策	25
10. 救急への運航	26
第3 村 行 財 政	27
1. 行 政	29
2. 財 政	31
3. 選挙関係	34
4. 消防の現況	36
5. 外国人登録人口	36
第4 離島振興事業	37
1. 平成11年度事業実施調	40
2. 平成12～13年度事業計画	42
3. 離島振興事業項目別調	44

第5 社会福祉	45
1. 組織及び特殊性	47
2. 生活保護	47
3. 児童福祉	51
4. ひとり親家庭福祉	52
5. 女性福祉	52
6. 心身障害者福祉	53
7. 高齢者福祉	54
8. 民生委員（児童委員）の数	55
9. 児童会館	56
10. 社会福祉協議会	56
第6 港湾関係	59
1. 港湾、漁港、空港	61
2. 現況	61
3. 設備の概要	62
4. 平成11年三宅島空港定期航空便運航状況	66
5. 平成11年度東京愛らんどシャトル運航状況	67
6. 平成11年度三宅島定期船運航状況	68
7. 年別航路別乗降客の推移	69
8. 年別航路別出入貨物量	69
9. 平成11年度御蔵島定期便乗降客数及び就航状況	70
第7 産業経済	71
1. 農業	73
畜産業	75
2. 林業	79
3. 水産業	91
4. 商工業	99
5. 観光	101
第8 土木	105
1. 概況	107
2. 管内施設図	108

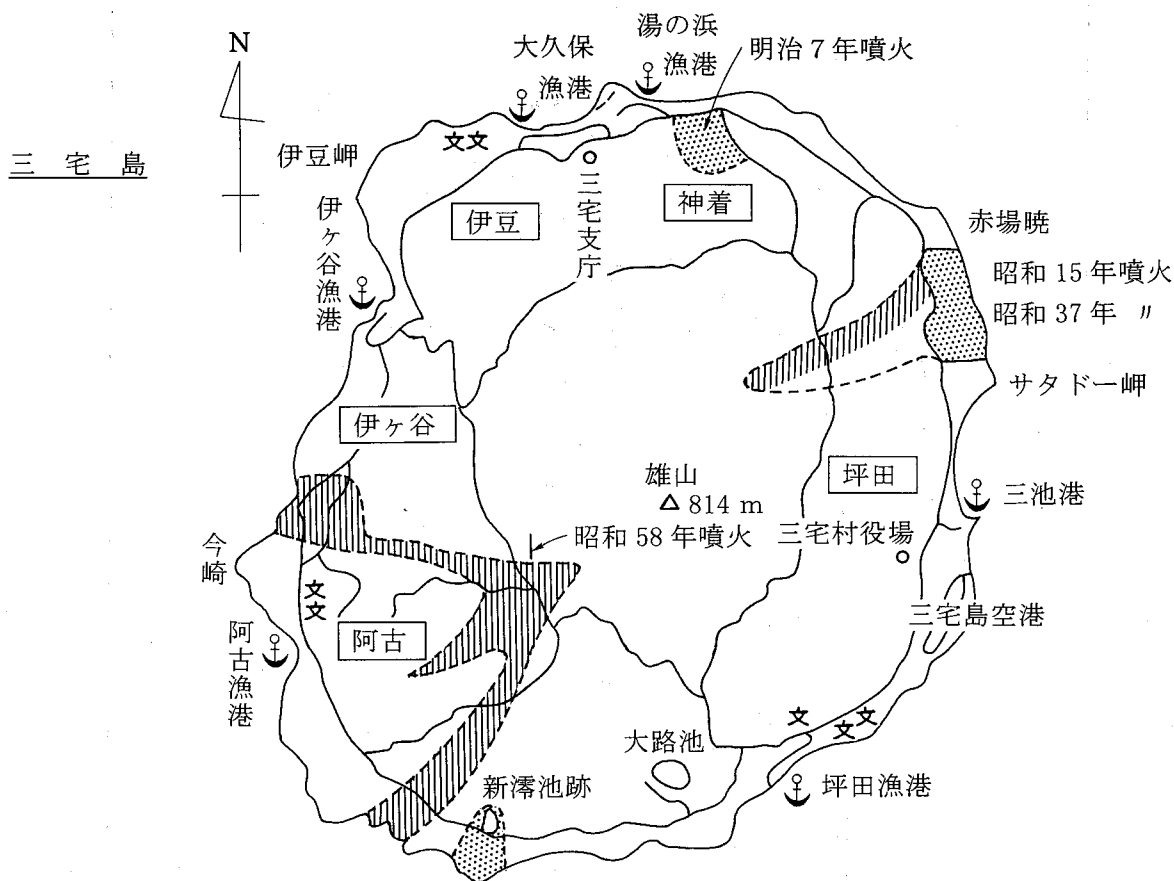
3. 道 路	111
4. 砂防海岸	114
5. 自然公園	115
6. 用地取得補償関係	116
7. 事業実績	117
第9 勤労福祉会館	119
1. 概 要	121
2. 利用状況	122
3. 会館主催事業	125
第10 教 育	127
1. 教育庁三宅出張所の概要	129
2. 村教育委員会	130
3. 学校教育の概要	132
4. 中学卒業者の動向	134
5. 都立三宅高等学校	134
6. 社会教育	135
7. 文化財	137
第11 保 健 衛 生	141
1. 保健所出張所概要	143
2. 医 療	145
3. 環 境 衛 生	145
4. 予 防 関 係	147
5. 保健婦業務	149
6. 栄養改善事業	149
第12 東京都三宅農林合同庁舎	151
1. 東京都三宅農林合同庁舎の機構	153
2. 東京都畜産試験場三宅分場	154
3. 東京都家畜保健衛生所三宅支所	155
4. 東京都中央農業改良普及センター三宅支所	155
5. 東京都農業試験場三宅島園芸技術センター	156

第13 警 察 関 係	157
1. 管 轄 区 域	159
2. 拾得物の取扱件数	159
3. 交通事故発生状況	159
4. 免許証更新件数	159
5. 110番受理件数	159
6. 犯罪発生状況	159
7. 質屋、古物関係	160
8. 風俗営業関係	160
第14 電 力 関 係	161
1. 事 業 所	163
2. 配 電 設 備	163
3. 発 電 設 備	163
4. 東京電力及び全国の発電設備	163
5. 契約口数および需要高	164
6. 三宅島発電所沿革 (その1)	164
" (その2)	165
7. 御蔵島発電所沿革	165
第15 通 信 連 絡 施 設	167
通信連絡施設	169
第16 東京航路標識事務所	173
1. 概 要	175
2. 沿 革	175
第17 官 公 署 そ の 他	177
官公署その他	179

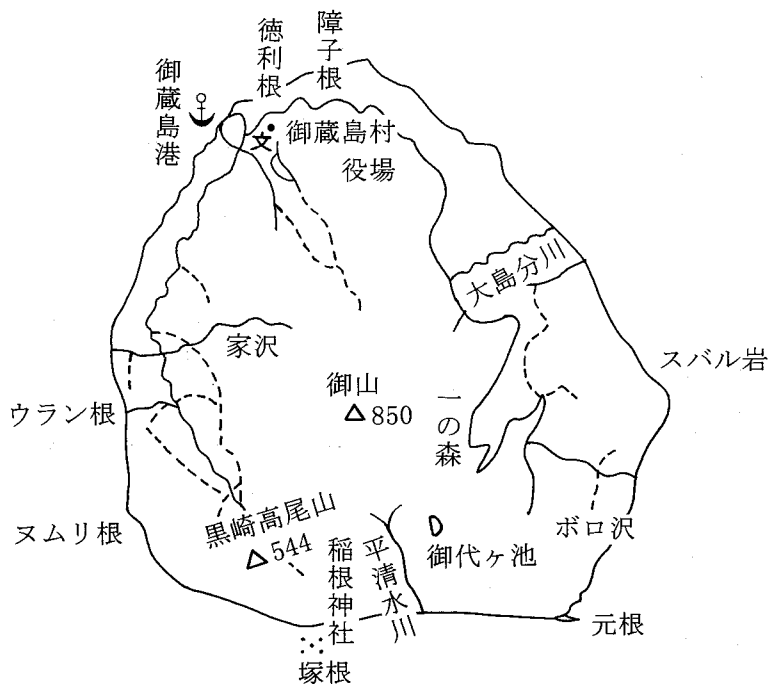
三宅島・御蔵島位置図



三宅島・御蔵島要図



御蔵島



第 1 概 要

第 1 概 要

1. 位置・地勢

三宅島

東京から南へ180kmに位置し、面積55.50km²、周囲38.3kmでほぼ円形をなし中央に雄山（山頂部814m）がある。

本島は富士火山帯上にあり、玄武岩質と塩基性溶岩と抛出物との互層からなる複式火山で、頂上及び山腹に数多くの爆発火口を残し、わが国火山中無比と言われている。

雄山は外輪山と中央火口丘からなり、外輪山の側面にある側火山は、島の中央から輻射線上に並立し、いわゆる裂砕噴出をなしその都度流出した溶岩は、流動性に富み海岸まで流出している。最近では昭和15年7月、昭和37年8月、島の東側赤場暁付近、昭和58年10月には西側中腹から爆発、溶岩を海中まで流出し生々しい景観を呈している。

河川は無いが各所に清水の湧出を見る、また大久保浜、三池浜、錆ヶ浜のように延長700mにも及ぶ砂浜も有するが、海岸沿いは断崖が多くわん曲部に乏しい。

集落は島内一円に点在し、大きくは5集落から形成されている。

御蔵島

三宅島南方18km、東京から南約200kmに位置し、面積20.58km²、周囲16.4kmで、中央に御山（850m）がありほぼ円形をなした鐘状の火山島である。

御山の周囲には高峰が重畳し、傾斜が強く、中央御山に源を発する平清水川、大島分川の2河川と東側に小河川を有する、また御山東南の中腹には周囲400mの火口湖「御代ヶ池」がある。

地質は、富士火山系に属する安山岩に溶岩の互層から成り、海岸沿いは海蝕による直立した断崖が多く、高さ400mにも及ぶ大海蝕崖もあり雄大な景観を成している。

集落は島の北側比較的平坦な里地区1ヶ所に集中している。南側南郷地区も島内では比較的平坦な地区である。

三宅島および御蔵島

種別 区分	北 緯	東 経	位 比 置 較	東京から の 離	面 積	周 囲	東西の 距離	南北の 距離	面積 比較
三宅島	34° 03' } 34° 07'	139° 28' } 139° 34'	徳島県徳島市とほぼ同位置	東京から 180km	55.50km ²	38.30km	7.5km	8.6km	東京都足立区より僅かに大
御蔵島	33° 51' } 35° 54'	139° 35' } 139° 38'	福島県小倉とほぼ同位置	三宅島坪田から 18.4km	20.58	16.4	5.0	5.15	港区より僅かに大
大野原島	34° 03'	139° 23'	徳島県徳島市とほぼ同位置	三宅島阿古から 9.6km	0.02				
イナンバ島	33° 39'	139° 18'	高知県高知市とほぼ同位置	〃 55km	0.01				

2. 生 物

植物概要

三宅島は富士火山系によって、その形成も古いのであるが、間けつ的にくり返す噴火のために原生林的景観が少なく、大路池、神社境内にやや原生林の面影が残存している。島が円錐状をなしているために植物分布も、その高度によって大体同心円的な植生を示している。

主要な樹木は、伊豆諸島に共通するスダジイ、フダノキ、ヒメユズリハ、サンゴジュ、ハチジョウキブシ、オオバエゴノキ、ハチジョウイボタ、ヤブツバキ、ホルトノキ、イヌマキ等である。海岸部にはこれにクロマツが混じる。

用材林としては、クロマツ、スギ、ヒノキ、イヌマキ、ヤブニッケイ、タブノキ、ツバキ、クワ、ツゲ、スダジイ等、灌木、亜高木としてはサカキ、ヒサカキ、ハコネウツギ、オオバヤシヤブシ、ガクアジサイ等である。

羊歯にはコモチシダ、ホラシノブ、ヘラシダ等があり、高麗シダの北限といわれる。三宅島として分布上注目すべき植物を2、3挙げれば、タマシダ、オオタニワタリ、リュウビンタイ、ナゴラン、コクラン、タイロモ、およびハコネコメツツジ、ヤマトキソウ等がある。特にタイロモはこの島の特産で、大路池に自生していたが、昭和58年の噴火の火山礫により埋没し、その存在が確認されていない。

御蔵島は、断崖と急斜面で、全島ほとんど原生林状である。山肌はツゲ、ハチジョウグワ、スダジイ、ヒメユズリハ、ヤマモモ、ヤマグルマ、カクレミノ等が自生して密林状を呈している。御山の八合目附近から上は、ササ原と灌木状になった高木とが所々交錯している状態で、大木はない。鈴原はミクラコザサが群生し、点々とハコネコメツツジ、イヌツゲが低い姿勢で生育している。鈴原全体は湿地性で、特に凹部は湿原状を呈して、イヌノヒゲ、モウセンゴケ、ミズゴケ類が生育している。この附近から上に向うに従ってマイズルソウ、ノギラン、コイワザクラ等が所により生育している。御山の南側斜面は特別急峻で、シイを主とした大木が多い。

御蔵島として分布上注目すべき植物は、オオタニワタリ、リュウビンタイおよびコイワザクラ、マイ

ズルソウ、ヤマブキショウマ、シマキンレイカ等である。

植 物

神着の大桜(旧名 霊社の桜) (昭11. 3. 4 指定都天然記念物)

樹令500年以上におよぶもの、勤労福祉会館庭にある。

ビャクシン(イブキ) (昭11. 3. 4 指定都天然記念物)

旧地役人壬生家の庭前にある大樹 (御笏神社前)

堂山のシイ (昭11. 3. 4 指定)

三宅村伊豆、御祭神社境内にある、樹齡數百年に及ぶもの。

御蔵島鈴原の湿原植物群落 (昭32. 2. 21 指定)

御山の北面、標高600~800m附近は湿原状をなし、主としてミクラコザサでおおわれ、ハコネコメツツジ、モウセンゴケ等を混え、植物分布上注目すべきものである。鈴原はその代表的地域である。

タイロモ(三宅村坪田大路池)

伊豆諸島中唯一の種で、日本としても特産種であるが58年噴火で埋没し、その後確認されていない。

イヌマキ(御蔵島稲根神社前)

目通り約3.5m、推定樹齡數百年、自生品、伊豆諸島中他にこれ程の大木を見ない。

ビャクシン(イブキ)(御蔵島稲根神社前)

目通り約2.5m、樹高約20m、移植品、御笏神社のビャクシンに次ぐ大木である。

ツゲ(御蔵島御代ヶ池西方の山)

目通り幹まわり約1.8m、樹高約10m、名産ツゲの中の巨木である。このツゲを中心とした附近のツゲの原生林一帯。

ハチジョウグワ(御蔵島御山あまもんが沢)

目通り約2.5m、樹高約9m、ハチジョウグワの中の巨木である。ツゲとハチジョウグワとはこの島の名産である。

スダジイ(御蔵島南郷)

目通り13.8m、平成9年「巨樹の会」により、日本一のスダジイと確認された。

魚鳥類その他

魚 類

◦ 回遊する主な種類

トビウオ、カツオ、キハダマグロ、ムロアジ、ヒラマサ、カジキマグロ、メジマグロ、ソウダカツオ、カンパチ、サバ、サワラ他

◦ 根付の主な種類

タカベ、イサキ、アオダイ、メダイ、ヒメダイ、ハマダイ、ウメイロ、アカハタ、メジナ、キンメダイ、ニザダイ、ブダイ、イシダイ、イシガキダイ、フエフキダイ他

◦ その他の魚類および水産動物

シマアジ、アジ、オアカムロ、イワシ、サメ、シイラ、ケンサキイカ、ヤリイカ、アオリイカ、イセエビ、タコ、アサヒガニ他

貝 類

トコブシ、ギンタカハマ、クボガイ、ヒザラガイ他

藻 類

テングサ類、イワノリ、トサカ、ハバノリ、ツノマタ、サイミ、ヒジキ他

鳥 類

アカコッコ、イイジマムシクイ、カラスバト、カンムリウミスズメ（以上天然記念物）

シチトウメジロ、オーストンヤマガラ、モスケミソサザイ、ヤマシギ、ウチヤマシマセンニュウ、ミヤケゴゲラ、タネコマドリ、トラツグミ、オオコノハズク、アオバズク、スズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハクセキレイ、アマサギ、ミゾゴイ他。

3. 気象と火山

(1) 気 象

ア 年間の概況

全国的な気象の特徴は、高温、寡照、多雨であった。

気温は、各地で全期間平年より高く推移し、特に東京は年平均気温が観測史上最も高い記録となった。日照は、春に少なかったが、その外は平年並か多くなった。降水量は、春と夏に低気圧や熱帯低気圧の影響で平年より多くなったが、その外の期間は少なかった。

三宅島では、年平均気温は18.3℃（平年差+0.9℃）とやや高く、年降水量は、2412.0mm（平年比84%）と少なく、年日照時間は1856.3時間（平年比109%）とやや多かった。

なお、三宅島に接近（300km以内）した台風はなかった。

イ 各月の概況

1月：冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ、晴の日が多かった。気温は寒気が流入した上旬の一時期に平年より低くなったが、それ以降は平年より高く推移し、月平均気温は平年並であった。降水量は、24日に南海上を低気圧が通過した際、伊豆諸島を中心に大雨となった他は、まとまった雨はなく、月降水量は平年よりやや少なかった。月日照時間は平年よりかなり多かった。

2月：冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ、晴の日が多かった。気温は、7日から10日位の周期で大きく寒暖を繰り返し、寒暖の差は平均気温で約10℃となったが、月平均気温は平年並であった。降水量は、11日や24日に低気圧が通過し伊豆諸島を中心にまとまった雨となった他は、雨となっても量は少なく、月降水量は平年並であった。月日照時間は、晴の日が多く平年よりかなり多かった。

3月：冬型の気圧配置と低気圧や前線が交互に通過し、天気は周期的に変化した。気温は、約10日周期で寒暖を繰り返し、月平均気温は平年よりかなり高かった。降水量は、まとまった雨が数回あり、月降水量は平年よりやや多かった。月日照時間は、月の始めを除きぐずついた天気となり平年よりかなり少なかった。

4月：移動性高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は周期的に変化した。気温は、寒暖を繰り返しながら、月平均気温は平年よりやや低かった。降水量は、まとまった雨が数回あったが、月降水量は平年並であった。月日照時間は平年よりやや高かった。

- 5月：移動性高気圧と低気圧や前線や交互に通過し、天気は周期的に変化した。気温は、平年よりかなり高く推移したため、月平均気温はかなり高かった。降水量は、まとまった雨が数回あったが、月降水量は平年並であった。月日照時間は、月の前半に晴れることが多かったため平年よりやや多かった。
- 6月：月の前半は移動性高気圧に覆われ晴の日が多く、後半は低気圧の通過や前線の影響で雨の日が多かった。気温は、平年より高く推移し、月平均気温はやや高かった。降水量は、月の後半にまとまった雨がかったが、月降水量は平年並であった。月日照時間は、月の前半に晴れたため平年よりやや高かった。関東甲信地方は、3日頃に梅雨入りした。
- 7月：月の前半は低気圧の影響で雲や雨の日が多く、後半は高気圧に覆われ晴の日が多かった。気温は、前半は平年より低く後半は高く推移し、月平均気温は平年よりやや高かった。降水量は、熱帯低気圧の影響でまとまった。雨が降ったが、月降水量は平年並であった。月日照時間は平年並であった。関東甲信地方は、23日頃梅雨明けとなった。
- 8月：太平洋高気圧に覆われ晴の日が多かったが、熱帯低気圧や台風の影響で大気の状態が不安定となり、局地的な大雨となることがあった。気温は、平年より高く推移し、月平均気温はかなり高かった。月降水量は平年並であった。月日照時間は平年よりやや多かった。
- 9月：太平洋高気圧に覆われ晴の日もあったが、前線の通過や台風の影響で雨となる日が多かった。気温は、全期間にわたり平年より高く推移し、月平均気温は観測開始以来で最も高い値になった。月降水量は平年並であった。月日照時間は平年よりやや多かった。
- 10月：前線や低気圧の通過で雨となる日もあったが、全般的には移動性高気圧に覆われ晴の日が多かった。気温は、寒暖を繰り返しながら平年より高く推移し、月平均気温はかなり高かった。月降水量と月日照時間は、平均並であった。
- 11月：はじめ低気圧の影響で雨や曇の日が多く、その後は低気圧と高気圧が交互に通る天気も周期的に変化し、後半は高気圧に覆われ晴となる日が多かった。気温は、寒暖を繰り返しながら高めに推移し、月平均気温はかなり高かった。月降水量は平年並であった。月日照時間は平年よりやや多かった。
- 12月：月はじめに低気圧の影響でまとまった雨となった他は、冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ晴の日が多かった。気温は、寒気が入りやすく平年より低く推移したが、月平均気温は平年並であった。降水量は、月はじめのまとまった雨の他は雨が降っても量が少なく、月降水量は平年よりかなり少なかった。月日照時間は、下旬に晴の日が多かったため平年よりやや多かった。

三宅島測候所気象年報

1999年(平成11年)

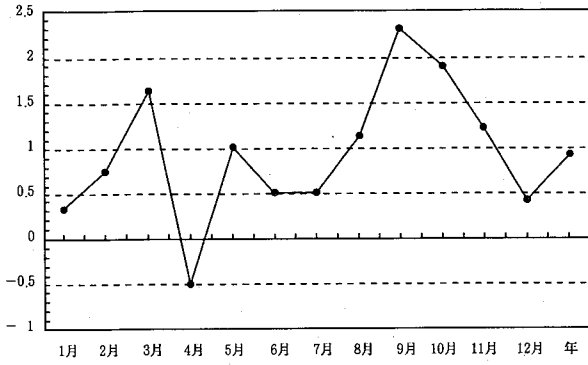
要素		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
平均海面気圧 +1000hPa			13.7	14.9	14.5	12.8	11.9	10.2	9.3	10.5	13.1	15.9	6.2	17.5	1013.4
気 温 ℃	平均気温		9.8	9.9	12.9	14.9	19.8	22.1	25.3	27.2	26.3	21.8	17.5	12.5	18.3
	最高	平均	11.7	12.4	15.7	17.7	22.3	24.7	27.5	29.8	28.3	23.9	19.6	14.1	20.6
		極値とその起日	16.5 19	19.4 18	20.9 18	22.7 28	26.2 27	28.1 27	31.6 31	32.3 1	31.5 14	28.3 2	25.4 1	18.4 5	32.3 1
	最低	平均	6.7	6.3	10.0	11.7	17.0	19.8	23.3	24.8	24.2	19.3	14.8	10.2	15.7
極値とその起日		2.5 21	0.9 5	5.9 20	6.1 9	9.0 1	16.6 12	19.4 7	22.2 21	21.3 30	16.3 23	10.0 17	4.7 27	0.9 5	
湿度 %	平均湿度		62	58	75	77	77	85	84	84	84	75	67	60	74
	最小	極値とその起日	38 28	27 4	35 2	38 8	29 7	46 1	54 1	54 1	61 26	41 17	36 21	31 7	27 4
平均曇量			5.4	5.9	8.2	7.1	7.6	8.8	8.0	6.4	8.0	7.4	7.1	5.4	7.1
風 m/s	平均風速		6.6	6.3	5.8	5.0	5.0	4.2	4.9	3.9	4.9	5.6	5.2	6.1	5.3
	最大風速 風向 とその起日	18.3 WNW 21	20.7 WNW 27	20.4 NNE 20	17.7 NNE 11	13.1 S 4	10.8 SW 24	14.3 NNE 9	13.1 WNW 14	12.9 NNE 29	18.2 NNE 20	14.7 NNE 24	16.6 WNW 7	20.7 WNW 27	
日照 h	日照時間		161.9	150.8	80.3	167.9	197.7	159.3	203.7	241.1	132.7	105.5	113.3	142.1	1856.3
	日照率(%)		52	49	22	43	46	37	46	58	36	30	36	46	42
降 水 mm	降水総量		66.0	106.5	329.5	239.0	220.0	238.5	198.5	199.5	259.5	222.5	297.5	35.0	2412.0
	最大日量 とその起日	35.0 25	38.0 11	45.5 25	48.0 23	58.5 4	80.5 19	62.0 12	57.5 14	55.5 29	91.5 27	173.5 24	16.0 2	173.5 24	
	日 数	≥ 0.0	19	16	25	18	18	21	24	23	26	23	21	17	251
		≥ 0.5	6	8	21	11	9	11	13	14	19	17	13	5	147
		≥ 1.0	5	6	17	10	8	10	10	13	18	16	11	5	129
		≥ 10.0	2	4	10	8	6	5	7	6	9	7	5	1	70
≥ 30.0		1	2	5	4	2	3	2	2	3	1	1	0	26	
天 気 日 数	平均曇量<1.5	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	6	
	平均曇量≥8.5	5	6	20	13	18	23	15	7	18	14	13	8	160	
	雨(≥0.5mm)	6	8	21	11	9	11	13	14	19	17	13	5	147	
	雪	2	3	0									1	6	
	積雪	0	1	0									0	1	
	ひょう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	霧	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	雷	0	1	2	0	0	0	0	2	3	3	6	0	17	
	不照	4	3	8	6	4	5	2	0	5	7	3	4	51	
	風速10m/s以上	23	21	20	17	6	4	6	2	7	18	14	24	162	

※ 天気日数の「雨(≥0.5mm)」と、降水の「日数≥0.5」とは全く同じものである。

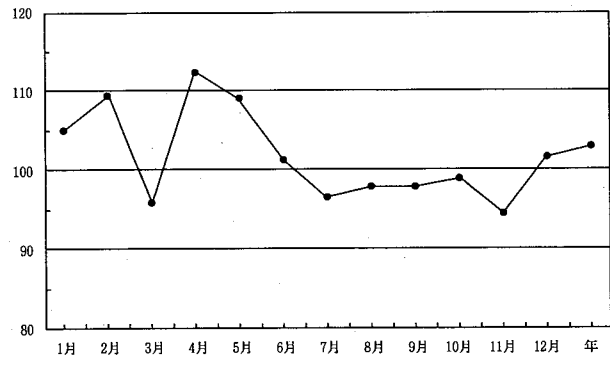
※ 表中の「) 」の付いた数値は、測器の故障・点検で欠測した日があることを示す。

平成11年 各気象要素の月別平年比較

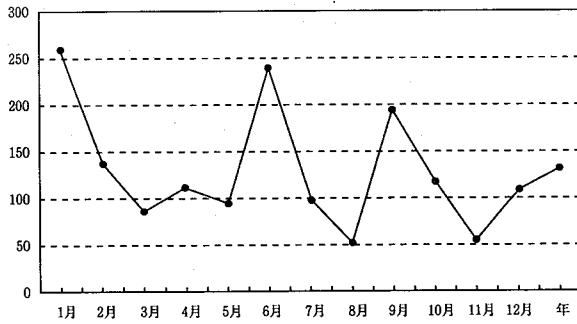
平均気温平年差(°C)



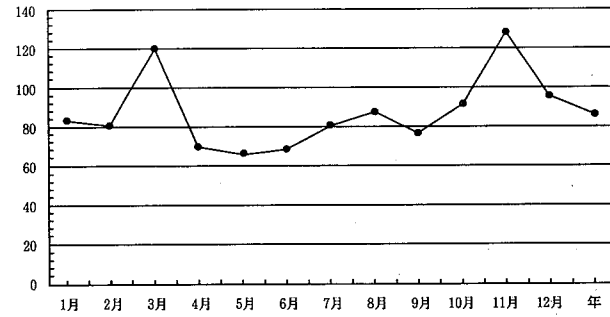
平均湿度平年比(%)



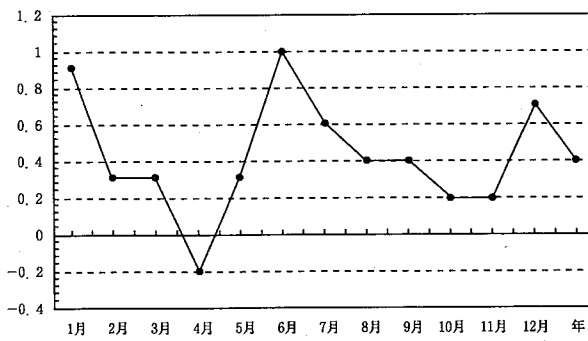
降水量平年比(%)



日照時間平年比(%)



平均風速平年差(m/S)



平成11年 各地の気象状況比較表

要素		月												年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
平均 気温 ℃	東 京	6.6	6.7	10.1	15.0	19.9	22.8	25.9	28.5	26.2	19.5	14.2	9.0	17.0
	大 島	7.9	7.7	10.9	14.0	18.4	20.9	24.4	26.7	25.0	19.8	15.1	10.2	16.8
	三宅島	9.8	9.9	12.9	14.9	19.8	22.1	25.3	27.2	26.3	21.8	17.5	12.5	18.3
	八丈島	10.9	10.3	14.0	16.0	20.4	23.2	25.6	27.2	26.7	22.4	17.8	12.7	18.9
降 水 量 mm	東 京	19.5	35.5	144.5	205.0	103.5	192.5	342.0	301.0	91.0	87.5	93.0	7.0	1622.0
	大 島	64.5	51.0	360.0	441.5	196.5	205.0	446.5	364.0	91.0	167.0	148.5	20.0	2555.5
	三宅島	66.0	106.5	329.5	239.0	220.0	238.5	198.5	199.5	259.5	222.5	297.5	35.0	2412.0
	八丈島	68.0	98.0	572.0	363.0	141.0	286.0	120.0	123.0	556.5	329.0	149.5	82.5	2888.5
日 照 時 間 h	東 京	217.0	200.9	119.0	146.3	184.0	135.8	165.0)	194.4)	130.3	158.4	157.1	186.3	1994.5)
	大 島	176.9	178.1	95.3	163.8	191.2	127.4	182.6	203.9	120.4	166.9	43.0	170.5	1920.0
	三宅島	161.9	150.8	80.3	167.9	197.7	159.3	203.7	241.1	132.7	105.5	113.3	142.1	1856.3
	八丈島	104.9	102.6	91.0	144.4	163.1	85.8	139.1	193.2	160.9)	132.1	121.7	106.4	1545.2)
平 均 風 速 % %	東 京	3.1	3.4	3.5	3.7	3.2	3.2	3.7	3.4	3.3	3.3	2.9	2.8	3.3
	大 島	5.4	5.2	5.0	5.0	5.1	4.6	5.3	4.0	4.7	4.6	4.9	5.4	4.9
	三宅島	6.6	6.3	5.8	5.0	5.0	4.2	4.9	3.9	4.9	5.6	5.2	6.1	5.3
	八丈島	7.2	6.7	6.2)	5.8	5.4	5.2	4.9	4.1	4.5)	5.6	5.2	5.9	5.6
平 均 湿 度 % %	東 京	44	44	62	66	64	73	76	74	71	62	60	47	62
	大 島	61	60	74	76	78	84	84	83	85	74	70	61	74
	三宅島	62	58	75	77	77	85	84	84	84	75	67	60	74
	八丈島	63	65	78	77	75	85	87	84	85	78	71	67	76

注：「）」の付く値は、一部欠測がある。

(2) 火 山 (平成11年)

ア 概 況

三宅島は異常な火山活動もなく、穏やかな状態で経過した。

イ 火山観測の概要 (三宅島測候所)

(ア) 震動観測

雄山山頂から北北東約1.7km (標高530m) の山腹に設置した地震計により、地震活動 (火山性地震、火山性微動) を常時監視している。

なお、気象庁本庁では平成10年度火山機動観測 (基礎調査) として、平成10年10月から島内2箇所に地震計を設置し、地震観測網の補強を行った。

(イ) 遠望観測

噴煙の状況等について毎日定時 (9時と15時) に観測している。

(ウ) 現地観測

年3回定期観測を実施している。その主な内容は次のとおりである。

- ① 雄山山頂における地中温度・噴気温度の測定、火山ガスの分析等
- ② 三七山・新鼻における地中温度の測定、噴気の有無等
- ③ 島内3箇所の湧水観測 (水温、pHの測定等)

ウ 平成10年の火山観測結果

(ア) 震動観測

三宅島付近を震源とする活発な地震活動は観測されなかった。

(イ) 遠望観測

表面現象で火山の異常は認められなかった。

(ウ) 現地観測

① 雄山山頂の現地観測

地中温度、噴気温度、火山ガス等に大きな変化はなかった。

② 三七山・新鼻の現地観測

各地点とも地中温度等に大きな変化はなかった。

③ 湧水観測

各地点の水温、pH等に大きな変化はなかった。

これらの観測結果は、次の各表のとおりである。

火山性地震及び近海地震月別回数表

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
回数	1	1	>0	1	3	>4	2	1	2	1	2	1	>19
無感	1	1	>0	1	3	>4	2	1	2	1	2	1	>19
有感	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 「>」の付いている月は機器点検のため欠測時間がある。

有感地震の震度別月別回数表（観測点：三宅村神着）

月 震度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
震度Ⅰ	0	1	2	1	0	0	0	0	1	1	1	2	9
震度Ⅱ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
震度Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度Ⅴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	4	1	0	0	0	0	1	1	2	2	12

(注) 震度観測は三宅島測候所内設置の計測震度計による。

有感地震の震度別月別回数表（観測点：三宅村阿古）

月 震度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
震度Ⅰ	0	3	11	1	1	1	1	1	1	1	2	3	26
震度Ⅱ	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
震度Ⅲ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
震度Ⅳ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
震度Ⅴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	4	17	1	1	1	1	1	1	1	2	3	33

(注) 震度観測は村営牧場内設置の計測震度計による。

雄山山頂現地観測表

区分 観測日	第 1 地 点			第 2 地点	旧噴火口
	地中温度	噴気温度	火山ガス	地中温度	地中温度
2 月 23 日	88 °C	88 °C	CO ₂ 検 出	74 °C	53 °C
7 月 1 日	89 °C	88 °C	CO ₂ 検 出	76 °C	54 °C
10 月 25 日	86 °C	85 °C	CO ₂ 検 出	88 °C	16 °C

三七山現地観測表

区分 観測日	地中温度	噴 気	気 温
2 月 23 日	9 °C	な し	12 °C
7 月 1 日	22 °C	な し	26 °C
10 月 25 日	22 °C	な し	24 °C

新鼻現地観測表

区分 観測日	地中温度	噴 気	気 温
2 月 23 日	11 °C	な し	12 °C
7 月 1 日	23 °C	な し	25 °C
10 月 25 日	21 °C	な し	22 °C

湧水観測表

区分 観測日	大 久 保		三 池		伊 ヶ 谷	
	水 温	pH	水 温	pH	水 温	pH
2 月 23 日	9 °C	7.8	13 °C	8.1	10 °C	7.7
7 月 1 日	21 °C	7.5	19 °C	7.5	18 °C	6.8
10 月 25 日	17 °C	7.5	19 °C	7.7	18 °C	7.5

第 2 支 序

第 2 支 庁

1. 沿 革

伊豆諸島は、明治維新後（明治2年）韭山県の所管となり、次いで同4年足柄県に属し、9年静岡県
の管下に入り、明治11年太政官布告第1号をもって東京府の所管する所となった。

明治14年伊豆七島の制度を定め、島役所を大島、新島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島に設置し、
地役人、名主、一式引受人、年寄、書役が置かれた（利島は地役人を置かず、名主がこれにあたった）。
明治33年4月大島役所を廃し、大島島庁を設け島司を置いたが、他諸島は島役所を存した。明治41年4
月島しょ町村制施行、大正9年10月八丈島を除く他諸島を一般に大島島庁の管下に編入し、島役所、地
役人を廃するとともに、新島、三宅島に島庁出張所を置いた。大正15年7月1日、郡役所廃止にともな
い、島庁を廃し、更に東京府大島支庁の設置となり、同時に新島、三宅島には出張所を置き、大島、利
島は支庁の直轄に属し、新島、神津島は新島出張所、三宅島、御蔵島は三宅出張所の管轄となった。

昭和18年4月1日、東京府三宅支庁を開設、同年7月1日東京都制施行により、東京都三宅支庁とし
て現在に至っている。

2. 庁舎の経緯

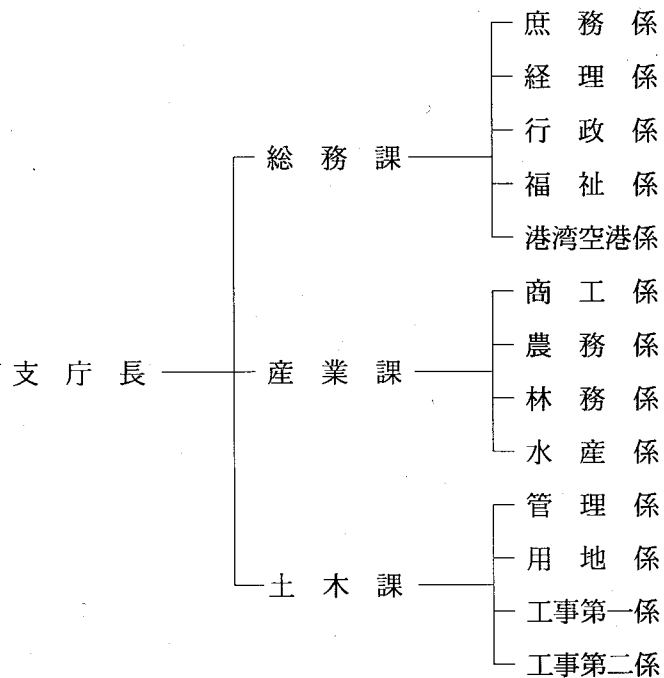
江戸時代伊豆代官の支配する時より、明治14年の島役人、大正9年の大島島庁出張所として、神着の
現存する島役所（地役人壬生家の住居で、天文3年の伊豆諸島中最古の建物）にて諸政を掌り、その後
大正15年郡制廃止とともに東京府大島支庁三宅出張所を同神着（現在神着老人福祉会館下の空地に木造
平屋建30.75坪）に開設、昭和24年11月26日、伊豆字友地（現在の庁舎敷地内に木造平屋建96坪）に移
転、昭和47年12月20日現庁舎（鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、1,903.37㎡）に移り、これ
とあわせて、教育庁三宅出張所が経済局所管建物から移転、出納長室三宅出納事務所、富士銀行本店三
宅島出張所が新たに業務開始している。また、平成6年2月に完成した第二庁舎は、鉄筋コンクリート
造2階建（572.77㎡）で災害用備蓄倉庫、大小会議室及び職員の休養室が置かれている。

3. 組織の経緯

昭和25年	5課（総務、厚生、産業、土木、林務）	11係	(59名)
昭和26年	6課（同上に経理課設置）	15係	(59名)
昭和26年10月	三宅福祉事務所開設にともない、厚生課が廃止され	5課（同上に厚生課廃止）	11係
昭和27年12月31日	三宅福祉事務所廃止により	6課（同上に福祉課設置）	14係 (61名)
昭和30年7月	機構改革があり	3課（総務、産業、土木）	9係 (60名)
昭和40年7月1日	総務課に港湾空港係設置により	3課（同上）	10係 (88名)
昭和46年4月1日	産業課に商工係設置により	3課（総務・産業・土木）	11係 (81名)

昭和48年4月1日	土木課に用地主査、同年11月28日総務課に勤労福祉会館設置により 3課(同上) 12係1主査	(84名)
昭和56年4月1日	土木課工事係を工事第1係、工事第2係に組織改正し、産業課農務 係に係内主査設置により3課(同上) 13係1主査	(81名)
昭和58年10月14日	東京都三宅島復興対策推進本部が設置され、当庁に復興対策推進 現地本部が置かれ、応援職員18名が派遣された。	(98名)
昭和59年9月7日	東京都三宅島復興対策推進本部の廃止に伴い、当庁の復興対策推進 現地本部も廃止	
9月8日	三宅島現地復興対策推進本部を設置	
昭和60年7月1日	三宅勤労福祉会館の(財)東京都勤労福祉協会へ移管により 3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(80名)
昭和61年3月31日	三宅島現地復興対策本部を廃止	
昭和61年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(72名)
昭和62年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(72名)
昭和63年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(70名)
平成元年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(64名)
平成2年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(63名)
平成3年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(62名)
平成4年4月1日	3課(総務、産業、土木) 12係1主査	(61名)
平成5年4月1日	土木課用地主査を廃止し、用地係設置により 3課(総務、産業、土木) 13係	(59名)
平成6年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(59名)
平成7年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(58名)
平成8年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(58名)
平成9年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(58名)
平成10年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(56名)
平成11年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(55名)
平成12年4月1日	3課(総務、産業、土木) 13係	(55名)

4. 機 構 (平成12年4月1日現在)



5. 職員配置状況 (平成12年4月1日現在)

各課別配置状況

課別	職別		係長級		一 般		技 能	合 計
	事務	技術	事務	技術	事務	技術		
総 務 課	2		(1) 8	0	(1) 10	1	(4) 3	(6) 24
産 業 課		1	1	3	3	5		13
土 木 課		1	2	3	4	4	4	18
合 計	2	2	(1) 11	6	(1) 17	10	(4) 7	(6) 55

(注) (1)総務課欄中()内は、勤労福祉会館派遣職員を外書。

6. 都有財産

(平成12年3月31日現在)

種類	分類	種目	数量	価格 (単位：円)
土地	行政財産	三宅支庁 職員公舎敷地	3ヶ所 5,371.66㎡	12,139,000
		三宅支庁 庁舎敷地	1ヶ所 10,620.68㎡	13,370,000
	普通財産	三宅支庁 職員公舎敷地	3ヶ所 6,865.35㎡	52,863,000
小計			7ヶ所 22,857.69㎡	78,372,000
建物	行政財産	事務所建	3棟 2,566.06㎡	577,720,000
		住宅建	2棟 238.68㎡	15,812,000
		倉庫建	4棟 708.13㎡	49,320,000
小計			9棟 3,512.87㎡	642,852,000
工作物	行政財産	貯槽	1個	1,099,000
		かこい	20m	407,000
小計				1,506,000
立木	行政財産	樹木	9本	2,069,000
合計				724,799,000

7. 支庁関係予算

(1) 歳入

(ア) 一般会計

科目	年度 区分	平成9年度			平成10年度			平成11年度		
		調定額	構成比	指数	調定額	構成比	指数	調定額	構成比	指数
都税		132,263,205	86.4	100.0	108,189,402	84.0	81.8	210,089,267	91.8	158.8
分担金及負担金		1,911,600	1.2	100.0	1,892,400	15.0	99.0	1,916,400	0.8	100.3
使用料手数料		10,706,274	7.0	100.0	11,526,508	8.9	107.7	11,717,604	5.1	109.4
財産収入		144,000	0.1	100.0	302,400	0.2	210.0	74,400	0.0	51.7
諸収入		8,021,808	5.3	100.0	6,912,916	5.4	86.2	5,053,403	2.2	63.0
計		153,046,887	100.0	100.0	128,823,626	100.0	84.2	228,851,074	100.0	149.5

(イ) 母子福祉貸付資金会計

返還金	187,866	—	100.0	—	—	—	237,864	—	126.6
-----	---------	---	-------	---	---	---	---------	---	-------

(2) 歳出

(ア) 一般会計

科目	年度 区分	平成9年度			平成10年度			平成11年度		
		調定額	構成比	指数	調定額	構成比	指数	調定額	構成比	指数
総務費		551,651,128	15.0	100.0	526,326,003	15.8	95.4	50,026,535	2.3	10.2
徴税費		5,895,730	0.2	100.0	5,524,540	0.2	93.7	949,380	0.0	16.1
生活文化費		589,902	0.0	100.0	560,581	0.0	95.0	537,447	0.0	91.1
都市計画費		73,500	0.0	100.0	48,449	0.0	65.9	51,020	0.0	69.4
環境保全費		188,044	0.0	100.0	134,070	0.0	71.3	134,427	0.0	71.5
福祉費		42,111,396	1.1	100.0	37,469,466	1.1	89.0	40,546,253	1.7	96.3
労働経済費		677,583,231	18.4	100.0	563,717,067	16.9	83.2	458,734,059	18.9	67.7
土木費		2,262,787,886	61.5	100.0	2,109,238,145	63.4	93.2	1,788,903,156	73.8	79.1
港湾費		139,707,235	3.8	100.0	84,563,656	2.5	60.5	77,391,713	3.2	55.4
諸支出金		705,773	0.0	100.0	1,410,721	0.0	199.9	1,147,244	0.0	162.6
計		3,681,220,325	100.0	100.0	3,328,992,698	100.0	90.4	2,424,421,234	100.0	65.9

(イ) 母子福祉貸付資金会計

貸付金	60,350	—	100.0	959,910	—	1590.6	596,190	—	987.9
-----	--------	---	-------	---------	---	--------	---------	---	-------

※指数は平成7年度を100.0とする
 単位 調定額・決算額 円
 構成比 %

8. 都 税

(1) 調定収入額調（平成11年度決算分）

（単位：円、％）

区 分 税 目		調 定 額				収 入 額				収 入 歩 合			
		現年課税分	件数	滞納繰越分	件数	現年課税分	件数	滞納繰越分	件数	現年	件数	滞納	件数
都 民 税	個 人	69,124,667	3,964	15,855,765	8,831	66,867,782	3,600	1,960,768	188	96.7	90.8	12.4	2.1
	法 人	3,994,900	127	177,899	6	3,994,900	127	62,399	3	100.0	100.0	35.1	50.0
	小 計	73,119,567	4,091	16,033,664	8,837	70,862,682	3,727	2,023,167	191	96.9	91.1	12.6	2.2
事 業 税	個 人	3,356,600	53	1,388,200	6	3,356,600	53	1,228,700	4	100.0	100.0	88.5	66.7
	法 人	12,664,200	43	719,700	3	10,170,400	42	210,200	1	80.3	97.7	29.2	33.3
	小 計	16,020,800	96	2,107,900	9	13,527,000	95	1,438,900	5	84.4	99.0	68.3	55.6
不動産取得税		13,481,800	67	95,300	1	11,525,900	60	10,000	0	85.5	89.6	10.5	—
特別地方消費税		229,157	63	0	0	229,157	63	0	0	100.0	100.0	—	—
自動車税		1,357,700	53	3,394,160	116	741,900	32	1,624,560	58	54.6	60.4	47.9	50.0
狩猟者登録税		20,000	2	0	0	20,000	2	0	0	100.0	100.0	—	—
軽油取引税		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
入 猟 税		13,000	0	0	0	13,000	0	0	0	100.0	—	—	—
合 計		104,242,024	4,372	21,631,024	8,963	96,919,639	3,979	5,096,627	254	93.0	91.0	23.6	2.8

9. 防災対策

当支庁管内は、毎年夏から秋にかけて台風の通路にあたることが多く、また、火山・地震・津波等による自然災害の多発地域となっている。

災害の発生予知及び発生時における防災対策として、東京都災害対策本部条例等に基づき、三宅地方隊を設置し、村及び防災関係機関と協力し管内住民の安全と財産保全に努めることとされている。

また、三宅島は伊豆諸島の中でも噴火回数の多い火山島であり、昭和15年7月、昭和37年8月、島の東側赤場岬付近で噴火、最近では昭和58年10月には雄山中腹の割れ目噴火による溶岩流で、阿古地区の集落埋没という大きな被害を蒙ったが、幸いにして人的被害は皆無であった。このような噴火及び台風災害等の、自然災害に対する防災対策は重要な課題である。

三宅村及び三宅支庁はこれらの教訓を踏まえ、四者連絡会（三宅村、三宅支庁、三宅島警察署、三宅島測候所）の協力のもとに、平成6年度より噴火災害を想定した防災訓練を3地区に分けて毎年実施してきた（平成6年度…神着・伊豆・伊ヶ谷地区、7年度…坪田地区、8年度…阿古地区）ところである。平成9年度は内部職員の情報連絡体制のより一層の充実強化を図るため、四者連絡会の構成機関をはじめ防災関係機関の協力を得て災害対策本部・地方隊設置運営及び情報連絡（通信）訓練を重点に実施した。

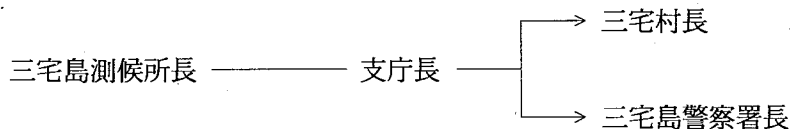
また、三宅村では予想される伊豆諸島海域及び東海沖地震による津波災害に備え、平成8年度事業として既設の防災行政無線に「地震計津波予報連動装置」＝無線装置が地震発生、津波注意報・警報の発令と同時に自動起動し、住民へ瞬時に情報伝達される無線広報システム＝を付設し、平成9年10月1日より運用を開始している。

参 考

1 四者連絡会

目的 火山活動・台風等に関する各種情報の収集を円滑にし、発災時に於ける関係機関の諸機能及び協力体制を効果的に発揮させる。

連絡網



2 防災行政無線陸上移動局

三宅支庁	(みやけ1～8)	車 載	8台
	(みやけ101～107)	可 搬	7台
	(みやけ201～205)	携 帯	5台

3 災害救助用備蓄物資の状況（東京都福祉局より委託分）

所管 品目	アルファ米食	乾 パ ン 食	カーペット 枚	毛 布 枚	キャンドル 個	肌 着 枚
三宅支庁	8800	—	200	321	850	60
御 蔵 島	—	3800	111	222	—	—

10. 救急ヘリの運航

支庁管内で救急患者が発生し島しょ診療所での治療が困難であり、早急に専門的治療を必要とする場合は、村長の要請に基づき東京消防庁に救急ヘリ輸送を要請し、都内等の病院に搬送し治療する方法をとっている。

通常は東京消防庁ヘリで搬送しているが、対処できない場合は、警視庁ヘリを要請している。また、夜間及び天候不順等の場合は海上自衛隊第21航空群（千葉県館山駐屯）に患者搬送を要請していたが、平成11年9月1日より、海上自衛隊第4航空群（厚木駐屯）に変更となった。

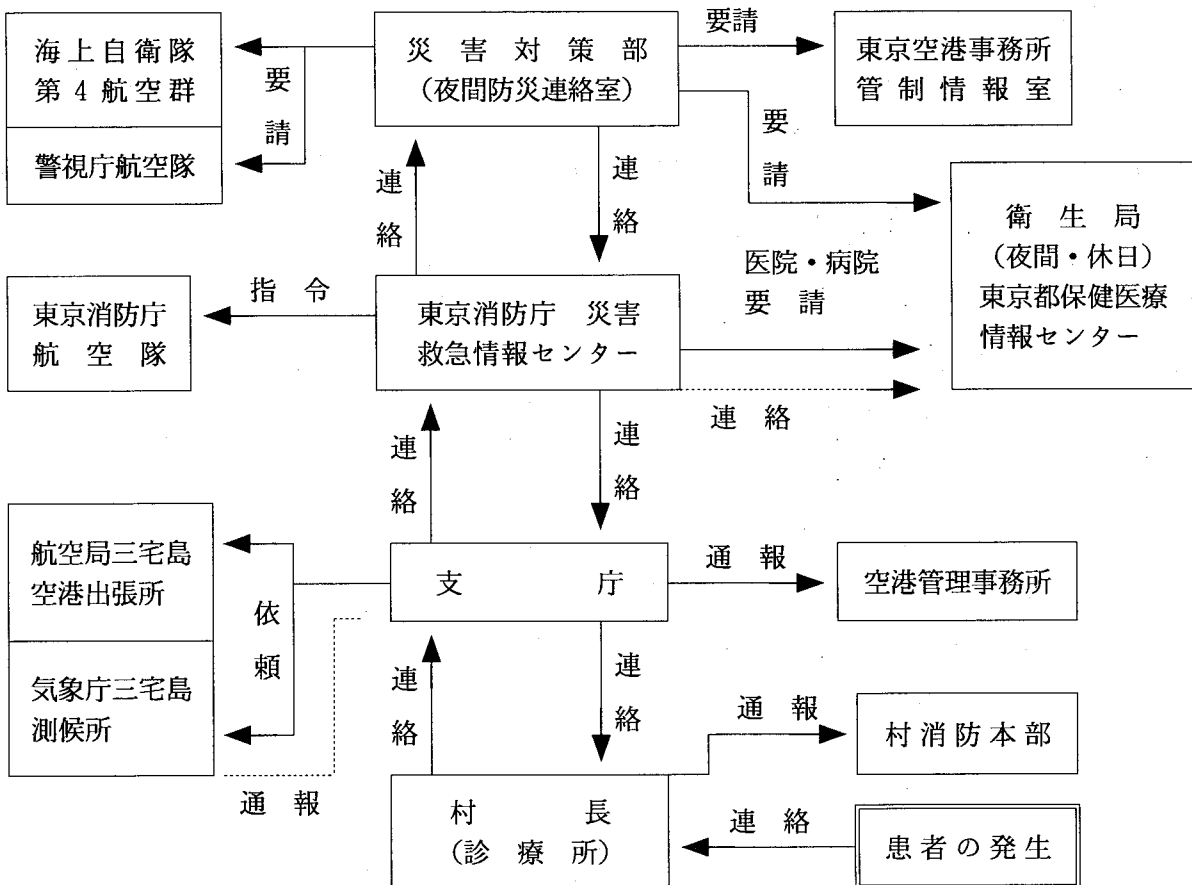
当庁では、村（診療所等）からの連絡により、都内等の病院搬送のため、総務課職員が即応態勢をとっている。

平成11年度 救急患者搬送実績（人員）

三宅村民	御蔵島村	合計
(8) 27	(0) 1	(8) 28

* () は、自衛隊機搬送人員

島しょ救急患者搬送要請経路（平成12年4月1日現在）



第3 村 行 財 政

第3 村 行 財 政

1. 行 政

(1) 議 会

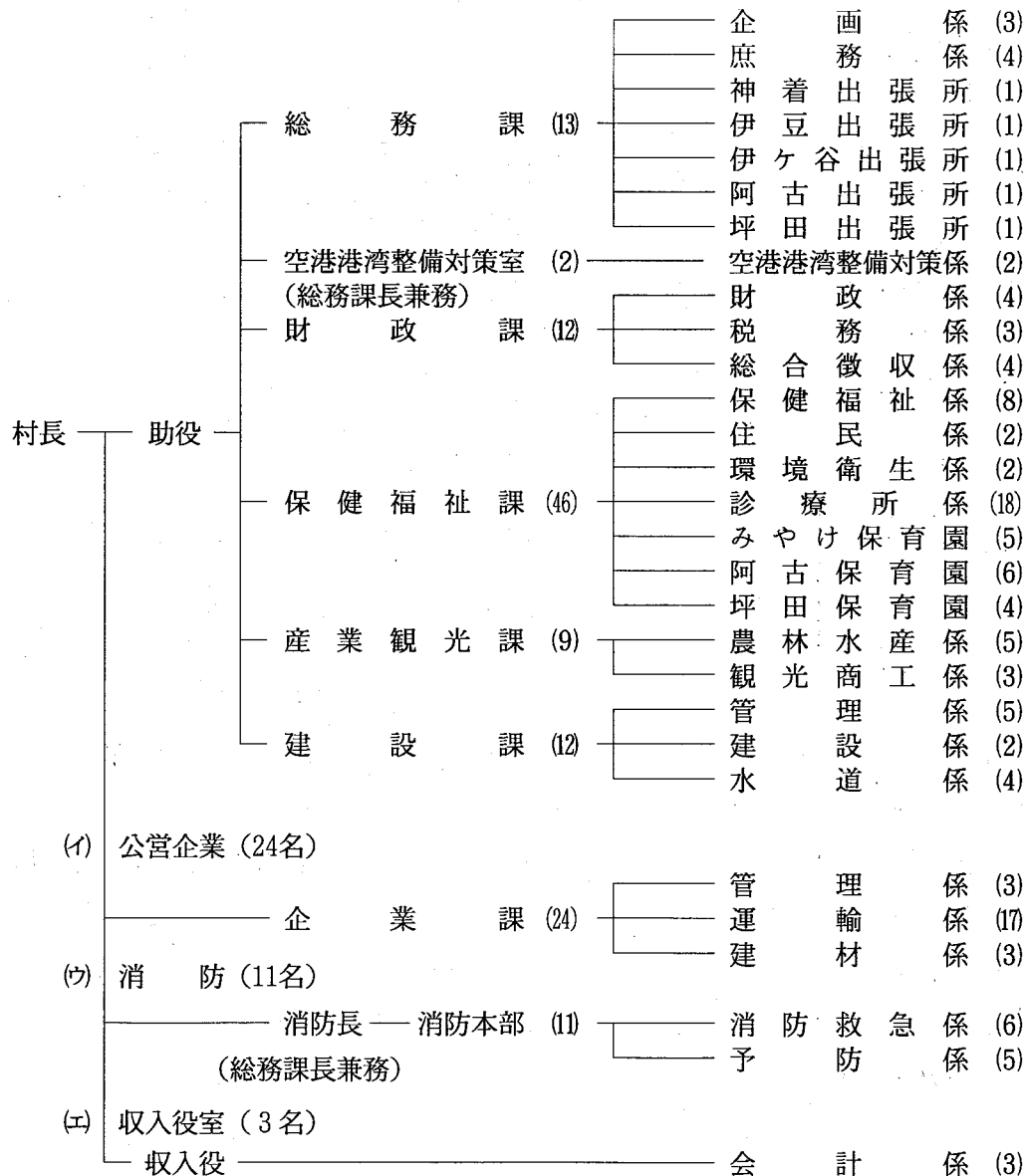
(12. 4. 1 現在)

区 分	三 宅 村	御 蔵 島 村
法 定 数	16	12
条 例 定 数	12	6
現 員	12	6

(2) 行政機関 (12. 4. 1 現在)

ア 三宅村 (職員数140名)

イ 村長部局 (94名)



(ウ) 行政委員会等の事務局（7名）

A 議会

議会議長 ————— 議会事務局 (2) ————— 議会係 (1)

B 教育委員会

教育長 ————— 教育課 (6) ————— 学校教育係 (3)
社会教育係 (2)

C 選挙管理委員会 ————— (兼 務)

D 監査委員会 ————— (兼 務)

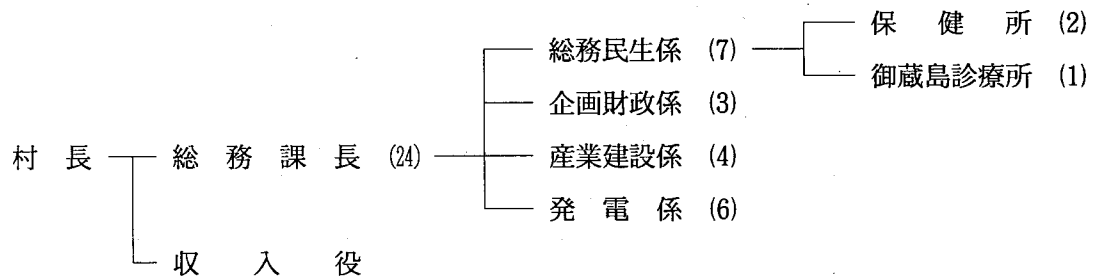
E 公平委員会 ————— 東京都市町村公平委員会へ加入

F 農業委員会 ————— (兼 務)

G 固定資産評価委員会 ————— (兼 務)

イ 御蔵島村（職員数25名）

(ア) 村長部局（24名）



(イ) 行政委員会等の事務局

A 村議会 ————— 事務局 ————— (兼 務)

B 教育委員会 ——— 教育長 ————— 事務 (兼 務)
給食作業員 (1)

C 選挙管理委員会 ————— (兼 務)

D 監査委員会 ————— (兼 務)

E 公平委員会 ————— 東京都市町村公平委員会へ加入

F 農業委員会 ————— (兼 務)

G 固定資産評価委員会 ————— (兼 務)

(注) () 内数字は職員数である。

2. 平成11年度 一般会計決算（普通会計）の状況

(1) 三宅村

① 歳入の状況

(単位：千円、%)

科目	11年度		10年度		対前年度増減額		増減率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	11年度	10年度	11年度	10年度
地方税	400,405	9.0	398,603	8.7	1,802	△19,717	0.5	△4.7
地方譲与税	23,127	0.5	22,778	0.5	349	△8,013	1.5	△26.0
利子割交付金	5,381	0.1	5,291	0.1	90	△521	1.7	△9.0
地方特例交付金	11,595	1.5	0	0.0	11,595	0		
地方交付金	1,531,234	34.5	1,495,578	32.5	35,656	58,561	2.4	4.1
特別地方消費税交付金	0	0.0	204	0.0	△204	92	△100.0	82.1
地方消費税交付金	40,248	0.9	43,252	0.9	△3,004	33,092	△6.9	325.7
自動車取得税交付金	25,476	0.6	29,037	0.6	△3,561	△6,376	△12.3	△18.0
交通安全対策特別交付金	1,705	0.0	1,672	0.0	33	△8	2.0	△0.5
分担金及び負担金	30,421	0.7	28,276	0.6	2,145	4,419	7.6	18.5
使用料	101,862	2.3	99,751	2.2	2,111	△6,226	2.1	△5.9
手数料	6,944	0.2	6,554	0.1	390	△163	6.0	△2.4
国庫支出金	367,665	8.3	464,706	10.1	△97,041	294,479	△20.9	173.0
都支出金	878,697	19.8	1,006,524	21.9	△127,827	△167,126	△12.7	△14.2
財産収入	10,736	0.2	39,783	0.9	△29,047	17,824	△73.0	81.2
寄附金	150	0.0	0	0.0	150	△100	皆増	△100.0
繰入金	85,998	1.9	246,210	5.4	△160,212	62,649	△65.1	34.1
繰越金	77,242	1.7	49,194	1.1	28,048	2,361	57.0	5.0
諸収入	74,317	1.7	86,775	1.9	△12,458	△30,851	△14.4	△26.2
地方債	769,700	17.3	577,000	12.5	192,700	377,900	33.4	189.8
歳入総額	4,442,903	100.0	4,601,188	100.0	△158,285	612,276	△3.4	15.3

② 歳出の状況

目的別内訳

(単位：千円、%)

科目	11年度		10年度		対前年度増減額		増減率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	11年度	10年度	11年度	10年度
議会費	61,243	1.4	66,251	1.5	△5,008	△1,071	△7.6	0.9
総務費	598,208	13.8	636,213	14.3	△38,005	△3,054	△6.0	3.9
民生費	827,179	19.1	749,069	16.9	78,110	49,976	10.4	4.9
衛生費	841,566	19.4	836,875	18.8	4,691	536,058	0.6	28.5
労働費	18,129	0.4	21,294	0.5	△3,165	6,840	△14.9	△215.7
農林水産業費	338,812	7.8	457,472	10.3	△118,660	△221,396	△25.9	0.9
商工費	441,866	10.2	296,142	6.7	145,724	51,840	49.2	27.0
土木費	370,415	8.5	575,087	12.9	△204,672	157,451	△35.6	8.9
消防費	107,097	2.5	119,112	2.7	△12,015	△18,228	△10.1	22.0
教育費	316,015	7.3	309,819	7.0	6,196	△13,302	2.0	△11.1
災害復旧費	6,287	0.1	11,479	0.3	△5,192	9,451	△45.2	△54.4
公債費	394,958	9.1	350,133	7.9	44,825	4,099	12.8	△9.5
諸支出金	12,500	0.3	15,000	0.3	△2,500	△2,436	△16.7	△31.2
歳出総額	4,334,275	100.0	4,443,946	100.0	△109,671	556,228	△2.5	3.9

(2) 御蔵島村

① 歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分 科 目	11年度		10年度		対前年度増減額		増 減 率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	11年度	10年度	11年度	10年度
地 方 税	31,912	1.4	30,806	2.4	1,106	△429	3.6	-1.4
地 方 譲 与 税	1,704	0.1	1,674	0.1	30	△598	1.8	-26.3
利 子 割 交 付 金	449	0.0	444	0.0	5	△12	1.1	-2.6
地 方 消 費 税 交 付 金	3,288	0.1	3,532	0.3	△244	2,713	-6.9	331.3
地 方 交 付 金	497,660	22.4	455,365	34.9	42,295	△21,812	9.3	-4.6
自 動 車 取 得 税 交 付 金	1,906	0.1	2,173	0.2	△267	△408	-12.3	-15.8
使 用 料	55,588	2.5	34,511	2.6	21,077	4,031	61.1	13.2
手 数 料	649	0.0	533	0.0	116	393	21.8	280.7
国 庫 支 出 金	526,394	23.7	123,473	9.5	402,921	1,833	326.3	1.5
都 支 出 金	384,208	17.3	299,613	22.9	81,595	△114,294	28.2	-27.6
財 産 収 入	20,494	0.9	31,398	2.4	△10,904	24,988	-34.7	389.8
分 担 金 及 び 負 担 金	2,498	0.1	1,977	0.2	521	352	26.4	21.7
繰 入 金	350,115	15.7	100,000	7.7	250,115	0	250.1	0
繰 越 金	33,858	1.5	25,719	2.0	8,139	△11,122	31.6	30.2
諸 収 入	112,439	5.1	95,046	7.3	17,393	△8,890	18.3	-8.6
地 方 債	200,000	9.0	100,000	7.7	100,000	50,000	100.0	100
合 計	2,223,162	100.0	1,306,264	100.0	916,898	△73,255	70.2	36.7

② 歳出の状況

目的別内訳

(単位：千円、%)

区 分 科 目	11年度		10年度		対前年度増減額		増 減 率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	11年度	10年度	11年度	10年度
議 会 費	138,860	0.6	12,516	1.0	1,344	187	40.7	1.5
総 務 費	527,430	24.1	355,861	28.0	171,569	△57,801	48.2	-14
民 生 費	112,315	5.1	73,070	5.7	39,245	△5,716	53.7	-7.3
衛 生 費	55,693	2.5	45,185	3.6	10,508	△4,938	23.3	-9.9
労 働 費	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0
農 林 水 産 業 費	136,142	6.2	192,703	15.1	△56,561	72,874	-29.4	60.8
商 工 費	180,194	8.2	7,381	0.6	172,813	△37,873	2341.3	-83.7
土 木 費	22,466	1.0	13,733	1.1	8,733	△362,591	63.6	-96.4
消 防 費	5,671	0.3	6,322	0.5	△651	106	-10.3	1.7
教 育 費	1,095,936	50.1	531,214	41.7	564,722	312,117	106.3	142.5
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0
公 債 費	39,369	1.8	34,421	2.7	4,948	,996	14.4	6.2
諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0
合 計	2,189,076	100.0	1,272,406	100.0	916,670	△81,639	72.0	-6

⑤ 村税賦課徴収等の状況（平成11年度）

ア 三宅村

（単位：千円、％）

税目		区分	調定額		収入額		収入歩合	
			現年課税分	滞納繰越分	現年課税分	滞納繰越分	現年	滞納
普通 税	村民税	個人	163,090	23,041	158,283	4,965	97.1	21.5
		法人	21,344	228	20,014	170	93.8	74.6
		計	184,434	23,269	178,296	5,135	96.7	22.1
	固定 資産 税	純固定資産税	148,360	29,610	143,679	6,955	96.8	23.5
		交付金	17,769	—	17,769	—	100.0	—
		計	166,129	29,610	161,449	6,955	97.2	23.5
		軽自動車税	6,827	1,970	6,354	542	93.1	27.5
		たばこ税	34,915	0	34,915	0	100.0	—
		特別土地保有税	0	0	0	0	—	—
		入湯税	6,759	0	6,759	0	100.0	—
	合計	399,064	54,848	387,773	12,632	97.2	23.0	
国民健康保険税			102,386	54,423	89,077	5,051	87.0	9.3

イ 御蔵島村

（単位：千円、％）

税目		区分	調定額		収入額		収入歩合	
			現年課税分	滞納繰越分	現年課税分	滞納繰越分	現年	滞納
普通 税	村民税	個人	13,188	805	13,056	—	99.0	0.0
		法人	1,646	—	1,646	—	100.0	—
		計	14,834	805	14,702	0	99.1	0.0
	固定 資産 税	純固定資産税	12,508	—	12,508	—	100.0	—
		交付金	844	—	844	—	100.0	—
		計	13,352	0	13,352	0	100.0	—
		軽自動車税	468	70	452	—	96.6	0.0
		たばこ税	3,406	—	3,406	—	100.0	—
		特別土地保有税	—	—	—	—	—	—
		入湯税	—	—	—	—	—	—
	合計	32,060	875	31,912	0	99.5	0.0	
国民健康保険税			6,551	36	6,452	—	98.5	0.0

3. 選挙関係
(1) 有権者数

区 分 投票所名	選挙人名簿 (12. 9. 2)			島部海区漁業調整委員会 選挙人名簿 (12. 12. 5)			農業委員会委員選挙人名簿 (12. 3. 31)				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	世帯数	
三宅村	神着投票所	328	320	648	60	9	69	69	102	171	105
	伊豆投票所	185	180	365	48	3	51	65	80	145	87
	伊ヶ谷投票所	102	112	214	27	3	30	53	72	125	77
	阿古投票所	506	536	1,042	100	8	108	136	167	303	184
御蔵島村	坪田投票所	465	440	905	104	25	129	122	149	271	154
	計	1,586	1,588	3,174	339	48	387	445	570	1,015	607
合計	1,687	1,692	3,379	678	48	452	502	640	1,142	648	

投資的事業一覧表

(単位：千円)

款別	補助単独別	事業名	事業量	事業費	財源内訳				
					国庫支出金	都支支出金	起債	その他	一般財源
民生費	単独	行政防災行政無線施設	バンザマスト交換2ヵ所	11,565		8,100		2,551	914
	単独	坪田ゲートボール場用地購入	A=2,371㎡	13,041			13,000		41
	単独	坪田保育園駐車場整備	アスファルト舗装	10,710		9,748			962
	補助	児童遊園遊具設置	遊具設置	4,743	4,742				1
	単独	老人福祉館厨房改修	厨房改修3ヵ所	8,085		6,695			1,390
	補助	坪田保育園窓ガラス改修	保育室窓ガラス入替	714	713				1
	単独	保健福祉総合センター整備	測量設計一式	3,629					3,629
	単独	火葬場大規模改修	防風柵・防護柵設置	22,607		16,500		4,000	2,107
	単独	公衆便所改修	水洗化1ヵ所	8,820		7,900			920
	単独	神着墓地建設	用地測量一式	1,365					1,365
衛生費	補助	ごみ処理施設建設	ごみ焼却場建設	614,009	66,998	109,066	431,300		6,645
	単独	ごみ処理施設周辺環境整備	用地購入 A=4,405㎡	4,099					4,099
	単独	ごみ集積所設置	ステーションボックス19基	5,984		2,991			2,993
	単独	焼却灰島外搬出用コンテナ整備	コンテナ購入	2,377		2,284			93
	補助	合併処理浄化槽設置	7人槽×1基、16人槽×1基	7,920	3,955	1,977			1,988
	補助	神着地区土地改良総合整備	貯水地整備	121,228		113,514			7,714
	単独	山辺農道整備	W=4.0m・L=200m	15,900		10,100			5,800
	単独	農道整備計画調査	農道調査委託一式	1,995					1,995
	単独	八重間農業用ポンプ補修工事	ポンプ補修工事	1,523					1,523
	単独	村営牧場整備	草地更新17.0ha	7,571		6,800			771
農林水産業費	補助	沿岸漁業活性化構造改善	漁協補助	56,473		43,880			12,593
	単独	三宅島漁業用地購入	用地購入 A=1,547㎡	12,371					12,371
	単独	錆ヶ浜海水浴場環境整備	用地測量一式	6,951					6,951
	単独	三七山温泉開発	逢ノ浜の湯建設(線越明許分)	246,297			227,200		19,097
	単独	三七山スポーツ公園環境整備	アスファルト舗装	14,366		12,000			2,366
	単独	案内板改修	案内板補修6ヵ所	5,985		5,592			393
	単独	伊ヶ谷地内道路排水施設整備	生活排水整備	2,946		2,600			346
	単独	三池幹線開設	W=5.2m、L=75.0m	14,427			14,000		427
	補助	伊豆海岸線改修	W=6.5m、L=493.0m、測量設計委託一式	147,000	74,250	26,200	41,000		5,550
	単独	雄山線	W=9.0m、L=177.0m、A=421㎡	54,415		29,400	20,000		5,015
土木費	単独	薄木5号線用地購入	W=m、L=m	1,115					1,115
	単独	ようが沢線	W=4.2m、L=50.0m	1,838			1,700		138
	単独	沖ヶ平1号線	W=4.2m、L=50.3m、A=149.4㎡	18,402			18,000		402
	単独	伊ヶ谷下原1号線	W=4.2m、L=150.0m	8,211					8,211
	単独	伊ヶ谷急傾斜地	砂防協会負担金	3,510					3,510
	単独	交通安全施設整備	カーブミラー設置25基	4,799		1,500			3,299
	単独	草木2号線物件移転補償	移転補償	695					695
	単独	別当原線用地購入	用地購入	155					155
	単独	草木2号線道路敷測量	測量委託一式	840					840
	補助	村営住宅大規模改修	3棟15戸	20,370	7,869				12,501
消防費	単独	焼場団地解体工事	1棟5戸	2,247					2,247
	単独	小型動力ポンプ購入	B-3級1台	1,196		292			904
	単独	投光機候入	5基	1,461		487			974
	単独	防火水槽擁壁設置工事	擁壁造成	1,239					1,239
	単独	防火水槽標識設置工事	10ヵ所	483					483
	単独	防火水槽用地分筆測量	測量一式	578					578
	単独	阿古小学校トップライト改修	トップライト改修	13,272		11,100			2,172
	単独	三宅小学校大規模改造	設計委託一式	8,925					8,925
	単独	小学校エアコン設置	エアコン7台設置	5505		4,600			905
	教育費	単独	阿古中学校プール内壁塗装	塗装工事一式	3,150		2,800		
単独		坪田中学校屋外環境整備	校内道路舗装	11,361		9,800			1,561
単独		中学校エアコン設置	エアコン8台設置	6,360		5,500			860
単独		森林災害復旧造林	下刈工(2ha)	722		454			268
単独		村道阿古幹線他災害復旧工事	補修工事	5,565		5,000			565
計				1,551,115	158,527	456,880	764,500	8,251	162,957

4. 消防の現況

消防団及び消防装備、施設の状況（12. 4. 1 現在）

区分	村別		三宅村						御蔵島村	合計	
	地区別		消防本部	神着分団	伊豆分団	伊ヶ谷分団	阿古分団	坪田分団			計
団員数			(12) 12	37	19	19	35	24	(230) 146	(35) 35	(265) 190
ポンプ数	ガソリンポンプ	四輪自動車	0	1	1	0	1	1	4	0	4
		小型動力ポンプ	0	3	1	3	4	4	15	5	20
		小型動力ポンプ付積載車	0	1	1	1	1	1	5	2	7
		水槽付ポンプ自動車	1	0	0	0	0	0	1	0	1
		化学消防車	東京都(1)	0	0	0	0	0	1	0	東京都(1)
	計		2	5	3	4	6	6	26	7	33
消火設備		消火栓								25	25
		防火水槽	—	18	12	8	20	22	80	5	84
		計	—	18	12	8	20	22	80	30	109

※団員数欄の（ ）内は条例定数である。

5. 外国人登録人口

登録人員（12. 1 末現在）

村別	性別		
	男	女	合計
三宅村	12	33	45
御蔵島村	0	1	1
合計	12	34	46

第4 離島振興事業

第1 離島振興事業

1. 平成11年度事業実施調

事業種別		箇所名	事業主体	着工年度	施行地又は 受益地
防 砂	火山防砂	伊ヶ谷沢	都	11	三宅村 伊ヶ谷
		西川	〃	11	御蔵島村 西川
	急傾斜地崩壊対策事業	伊ヶ谷急傾斜地	〃	11	三宅村 伊ヶ谷
治 山	山 地	(復旧) 大 路	〃	7	三宅村 伊 豆
		(復旧) 大久保	〃	7	〃
		(復旧) 川 田	〃	9	御蔵島村 川田
	保 安 林	(保育) 伊 豆	〃	4	三宅村 伊 豆
		(改良) 伊 豆	〃	4	〃
漁 業	沿岸漁場整備	三 宅 島	〃	10	三 宅 村
農 業	農業構造改善	三 宅 村	村	11	全 域
	促進事業基盤整備	神 着	〃	7	神 着
林 業	林業構造改善	三 宅 村	都	—	三 宅 村
漁 業	漁業構造改善	船 場 施 設	漁協	11	三 宅 村
漁 港 海 岸	局 改	三 池 港 海 岸	都	61	三宅村 坪 田
	環 境	阿 古	〃	61	三宅村 阿 古
一 般 都 道	特 殊 改 良	三宅循環線	〃	10	三宅村 伊 豆
		〃	〃	8	三宅村 神 着
		〃	〃	10	三宅村 小 倉
	舗 装 補 修	〃	〃	11	三宅村 阿 古
	改 築 防 除	御蔵島環状線	〃	9	御蔵島村 里
市 町 村 道	改 築	伊豆海岸線	村	10	三宅村 伊 豆
	改 築	三 池 港	都	42	三宅村 沖ヶ平
港 湾	地 方 港 湾	御 蔵 島 港	〃	44	御蔵島村里 浜
		阿 古 漁 港	〃	26	三 宅 村
港 湾	修 築	坪 田 漁 港	〃	28	三 宅 村
		大 久 保 漁 港	〃	58	三 宅 村
	高 度 化	伊ヶ谷漁港	〃	33	三 宅 村
		港湾環境整備	伊ヶ谷急傾斜地	〃	8
森林保全整備	造 林	三宅島地区	個・村・都	—	三 宅 村
	林 道 開 設	雄 山 環 状	都	5	三宅村 坪 田
水 道 施 設	簡 易 水 道	三 宅 村	村	10	全 域
		御 蔵 島 村	〃	11	〃
廃 棄 物 処 理	ご み 処 理	三 宅 村	〃	10	三 宅 村
		粗大ごみ処理	〃	10	三 宅 村
	合併処理浄化槽	〃	〃	62	三 宅 村
		御 蔵 島 村	〃	9	御 蔵 島 村
コミュニティアイランド推進事業		〃	〃	11	〃
文 教		御蔵島小学校	〃	10	〃
		御蔵島中学校	〃	10	〃
		御蔵島小中校給食施設更新	〃	10	〃
定住促進対策		御 蔵 島 村	〃	8	全 域
合		計			

(単位：千円)

事業内容	事業費	財源内訳		
		国費	都費	その他
工事用道路、用地買収	25,000	13,750	11,250	
工事用道路、ダム工の一部、用地買収	25,000	13,750	11,250	
	40,000	19,000	19,000	2,000
	35,000	19,250	15,750	
法枠工	60,000	33,000	27,000	
スリットダム1基	20,000	11,000	9,000	
下刈港	1,800	600	1,200	
防風工、植栽工	6,000	3,000	3,000	
	81,250	40,625	40,625	
	1,000	500	500	
	122,572	67,286	24,674	30,612
	396	198	198	
	21,000	8,400	12,600	
防潮堤 L=178m	37,000	18,500	18,500	
	120,000	40,000	80,000	
拡幅改良 L=110m	150,000	75,000	75,000	
拡幅改良 L=260m	294,000	147,000	147,000	
	165,000	82,500	85,500	
	77,000	38,500	38,500	
	60,000	33,000	27,000	
	70,000	35,000	35,000	
	135,000	74,250		60,750
岸壁建設(マウンド基礎)	360,000	216,000	144,000	
防波堤建設 小型船溜まり整備	1,100,000	880,000	220,000	
離岸堤建設 泊地整備	527,500	388,000	139,500	
防波堤建設 L=25m	165,000	132,000	33,000	
防波堤建設 L=5m 防波ブロック製作	100,000	80,000	20,000	
	210,000	126,000	84,000	
	24,000	12,000	12,000	
	14,471	4,340	10,131	
	68,000	34,000	34,000	
南風比良水源及び大路水源取水ポンプ設置	38,494	10,085	14,205	14,205
導水管敷設工事 L=990m	55,642	22,757	16,443	16,443
	492,057	58,504	216,777	216,777
	104,575	8,494	48,041	48,041
	9,000	4,500	2,250	2,250
	2,202	1,101	551	551
	181,891	56,700	125,191	
	175,228	96,375	78,853	
	321,490	176,820	144,670	
	58,853	11,083	47,770	
	62,800	31,900	30,900	
	5,618,221	3,124,768	2,101,827	391,627

2. 平成12～13年度事業計画

事業種別		箇所名	事業主体	着工年度	施行地又は 受益地	
防砂	火山砂防	伊ヶ谷沢	都	11	三宅村 伊ヶ谷	
		西川	〃	11		
治山	山地	(復旧) 大久保	〃	7	三宅村 伊豆	
		(復旧) 里	〃	12		
		鳥の尾	〃	13		
	保安林	(保育) 伊豆	〃	4	三宅村 伊豆	
		(改良) 〃	〃	4	〃	
港湾海岸	浸食	三池港海岸	〃	13	三宅村 坪田	
	局改	〃	〃	61	〃	
漁港海岸	環境	阿古		61	三宅村 阿古	
一般都道	特殊改良	三宅循環線	〃	10	三宅村 伊豆	
		〃	〃	8	三宅村 神着	
		〃	〃	11	三宅村 坪田	
	舗装補修	〃	〃	12	三宅村 阿古	
	改築	御蔵島循環線	〃	9	御蔵島村 里	
	特改一種	〃	〃	12	〃	
	災害防除	〃	〃	11	〃	
市町村道	改築	伊豆海岸線	村	10	三宅村 伊豆	
港湾	地方港湾	三池港	都	42	三宅村 沖ヶ平	
		御蔵島港	〃	44	御蔵島村 西川	
	修築	阿古漁港	〃	26	三宅村	
		坪田漁港	〃	28	三宅村	
	高度化	湯の浜漁港				
		大久保漁港	〃	58	三宅村	
		伊ヶ谷漁港				
		三宅村	〃	10	三宅村	
森林保全整備	造林	三宅島地区	個・村・	-	三宅村	
	林道開設	雄山環状	都	5	三宅村 坪田	
水道施設	簡易水道	三宅村	村	10	全 域	
		御蔵島村	〃	11	全 域	
廃棄物処理	合併処理浄化槽	三宅村	〃	62	三宅村	
		御蔵島村	〃	9	御蔵島村	
		御蔵島村	〃	13	御蔵島村字イナサ	

事 業 内 容	
平成12年度	平成13年度
工事用道路、用地買収	法面工
工事用道路、ダムの一部、用地買収	ダム工の一部
法枠工	—
スリットダム 1基	—
—	谷止工
下刈工	—
防風工、植栽工	—
—	—
—	防波堤 L=178m
—	—
拡幅改良 L=160m	用地買収
拡幅改良 L=220m	—
拡幅改良 L=160m	拡幅改良 L=60m
舗装打替 A=3000㎡	舗装打替 A=3000㎡
拡幅改良 L=130m	—
道路擁壁 L=520m	道路擁壁 L=140m
—	落石防止細工 A=3950㎡
—	—
岸壁建設 (マウンド基礎)	—
防波堤建設 小型船溜まり整備	—
防波堤建設 (-7.5) 岸壁 L=15m	泊地 (-3.0m) 浚渫、岸壁建設 (60m)
—	防波堤建設 L=20m
—	道路擁壁建設
—	防波堤建設 L=5m 消波ブロック据付
—	—
消波ブロック製作・据付	—
—	—
—	—
南風比良水源及び大路源取水ポンプ設置	—
導水管敷設工事 L=990m	—
—	—
—	—
—	—

3. 離島振興事業項目別調

(単位：千円)

事業項目		年 度				
		28～7	8	9	10	11
農 業		2,922,582	451,721	399,112	222,745	123,572
林 業		3,180,381	376,981	279,730	265,657	82,867
漁 業		21,035,997	1,332,560	1,214,934	1,192,152	1,047,500
道路・河川・公園		11,013,521	1,414,293	1,008,642	792,251	951,000
港 湾 ・ 空 港		20,172,783	1,270,516	1,184,706	485,605	1,617,000
生 活 環 境		2,692,843	173,473	22,184	825,755	1,502,232
計		61,018,107	5,019,544	4,109,308	3,784,165	5,618,221
負 担 区 分	国 費	42,989,695	2,930,003	2,941,374	2,026,265	3,124,768
	都 費	16,756,456	1,870,215	1,084,655	1,220,219	2,101,827
	他	1,271,976	219,326	83,279	537,681	391,626

第5 社 会 福 祉

第5 社会福祉

1. 組織及び特殊性

昭和26年10月社会福祉事業法の施行により、三宅福祉事務所が設置された。

昭和28年三宅支庁福祉課に統合、さらに昭和30年三宅支庁総務課福祉係となり、現在に至っている。

当福祉事務所の対象地区は三宅村及び御蔵島村で、人口は平成12年1月1日現在、三宅村3,845人、御蔵島村259人の小福祉地区で、離島という地理的条件から都内の社会資源の活用が困難であり、福祉需要への対応が著しく制限されている。

管内は生活保護の基準でいう3級地-1で、産業は農林水産業を基調に、観光に関連した第3次産業が中心で独自の地場産業比重が小さく、内地の景気変動・観光産業の影響を受けやすく、就労も不安定で住民の生活基準は極めて脆弱である。

平成5年4月、老人福祉法及び身体障害者福祉法に関する事務が町村に移譲され、当福祉事務所は、生活保護法、児童福祉法、知的障害者福祉法、母子及び寡婦福祉法に係る事務を分掌し、併せて町村に対する指導・助言を行っている。

2. 生活保護

(1) 概況

生活保護法の適用者は、平成12年4月1日現在で15世帯18人である。

保護率は4.7%と前年3.5%に比べ高くなった(全国平均8.0%(H11年12月))。しかし、保護世帯は高齢世帯(26.7%)及傷病障害世帯(66.6%)が主であり、一旦保護を受けると自立できない世帯が多い。

また、生活基盤の弱さから世帯主が疾病になると、直ちに生活保護に至る世帯が多いが、管内に適当な就労先がないこともあって、世帯主の疾病が治癒しても自立による廃止が困難なケースが特徴となっている。

近年の動向としては、高齢者・精神障害者の入院に伴う医療費の困窮及び疾病による生活費の困窮を理由として保護を開始するケースが多い。

平成11年度中に保護を開始した件数は4件で、また、保護廃止件数は1件となっている。なお、今後は、高齢化の進行により、傷病を理由とする保護開始ケースの増加が見込まれる。

④ 保護率は‰パーミル(人口1,000人当り)

(2) 扶助の種類別世帯と人員

12. 3. 31 現在

種 類	地 区		三 宅 村					御蔵島	合 計	
			神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田			計
生 活	世 帯		—	3	—	8	4	15	—	15
	人 員		—	3	—	10	5	18	—	18
教 育	世 帯		—	—	—	—	—	—	—	—
	人 員		—	—	—	—	—	—	—	—
住 宅	世 帯		—	—	—	(3)	(1)	(4)	—	(4)
	人 員		—	—	—	(4)	(1)	(5)	—	(5)
医 療	単 給	世帯	—	—	—	—	—	—	—	—
		人員	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他 との 併 給	世帯	—	(3)	—	(7)	(4)	(14)	—	(14)
		人員	—	(3)	—	(9)	(5)	(17)	—	(17)
合 計	世 帯	—	3	—	8	4	15	—	15	
	人 員	—	3	—	10	5	18	—	18	

(注) () 内数値は生活と併給のもの。

(3) 入院、外来、病類別医療扶助人員

12. 3. 31 現在

区 分	合 計				単 給				併 給			
	計	結 核	精 神	そ の 他	計	結 核	精 神	そ の 他	計	結 核	精 神	そ の 他
入 院	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—
外 来	16	—	2	14	—	—	—	—	16	—	2	14
計	17	—	3	14	—	—	—	—	17	—	3	14
比 率	100%	—	17.6	82.4	—	—	—	—	100.0	—	17.6	82.4

(4) 労働類型別被保護世帯

12. 3. 31 現在

区 分	合 計	単 身 世 帯				2人以上世帯					労働類型の比率
		計	高 齢	傷病・障害	精神・その他	計	高 齢	母 子	傷病・障害	精神・その他	
合 計	15	12	4	8	—	3	—	—	2	1	100%
世帯主が働いている世帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
世帯員だけが働いている世帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
働いている者がいない世帯	15	12	4	8	—	3	—	—	2	1	100.0
世帯類型の比率	100%	80.0	26.7	53.3	—	20.0	—	—	13.3	6.7	100.0

(5) 保護申請の状況

各年度中

年 度	申 請 件 数	開 始											取 下 げ		
		傷 病				高 齢			母 子			急 迫		そ の 他	合 計
		主入院	主病気	その他	計	単 身	その他	計	夫 死	その他	計				
7	4	2	—	—	2	1	—	1	—	—	—	—	1	4	—
8	4	2	2	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—
9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
10	1	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
11	4	—	2	—	2	1	—	1	—	—	—	1	—	4	—

(6) 保護廃止の状況

各年度中

年 度	原因別	収 入 増	傷病治ゆ	扶養活用	転 出	死 亡	そ の 他	計
7		1	2	1	1	1	1	7
8		1	—	—	—	1	1	3
9		1	—	—	1	—	—	2
10		—	—	—	1	1	3	5
11		—	—	—	—	1	—	1

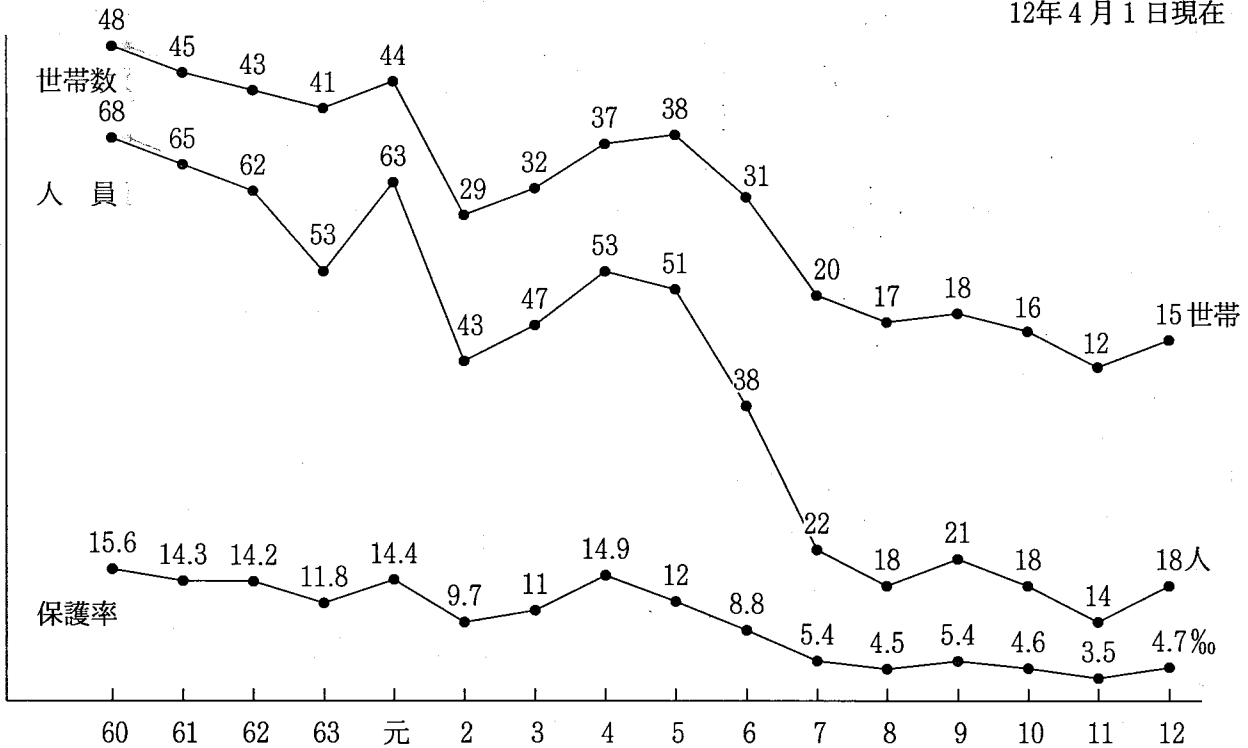
(7) 世帯類型

各年4月1日

年度 \ 区分		高 齢	母 子	傷 病	そ の 他	計
7	世 帯 数	6	1	12	1	20
	比 率 (%)	30.0	5.0	60.0	5.0	100
8	世 帯 数	4	—	9	4	17
	比 率 (%)	23.5	—	53.0	23.5	100
9	世 帯 数	4	—	9	5	18
	比 率 (%)	22.2	—	50.0	27.8	100
10	世 帯 数	7	—	8	1	16
	比 率 (%)	43.7	—	50.0	6.3	100
11	世 帯 数	3	—	8	1	12
	比 率 (%)	25.0	—	66.7	8.3	100
12	世 帯 数	4	—	10	1	15
	比 率 (%)	26.7	—	66.6	6.7	100

(8) 保護率等の推移

12年4月1日現在



(注) 保護率は、保護人員を各年1月1日の住民基本台帳人口で割った数値。

(9) 保護率の比較

12. 4月分

区 分	人 口	被保護世帯数	被保護人員	保護率 ‰	
				11年	12年
全 国 計	126,856,000	706,033	1,006,913	7.4	7.9
都 計	11,949,122	99,537	131,647	10.3	11.0
区 部 計	8,053,232	77,595	100,607	11.6	12.5
市 部 計	3,804,223	21,420	30,286	7.5	8.0
郡 部 計	60,673	331	504	8.2	8.3
島 部 計	30,944	191	250	7.2	8.1
大 島 支 庁	14,618	90	118	7.3	8.1
三 宅 支 庁	3,854	15	18	3.6	4.7
八 丈 支 庁	9,597	8	106	10.1	11.0
小 笠 原 支 庁	2,925	8	8	2.1	2.7

(注) 全国計は、厚生省保護速報11年10月分、都計以下は東京都福祉局業務統計12年4月分による。
 なお、本表の数値はその月における決裁日によるもので実数とは異なる。

3. 児童福祉

(1) 児童の概要

区 分	0 歳 ～ 18 歳 まで の 児 童 数	総 児 童 数 対 する 比 率	保 育 所 入 所 対 象 児 (2 歳 ～ 5 歳)		小 学 校 児 童 数	中 学 校 児 童 数	高 校 生 徒	施 入 所 (学) 設 児 数	0 歳 ～ 1 歳 まで	そ の 他
			入 所 児	未 入 所 児						
平成12年 1月1日	人 677	% 16.5	人 95	人 25	人 221	人 134	人 116	人 —	人 52	人 34

(2) 児童福祉施設の状況

管内には、村営の保育所4ヶ所のほかに児童福祉施設はなく、現在島外施設等に2名が入所している。

4. ひとり親家庭福祉

(1) 概 要

配偶者のない父母で、現に児童を扶養している者に対して身上相談に応じ、自立指導、助言を行うとともに、資金の貸付等を行ってひとり親家庭の福祉の増進に努めている。

(2) 母子福祉資金の貸付状況

12. 3. 31 現在

年度		資金別	修学資金	修学支度 資 金	住宅資金	事業開始 資 金	計
10	貸付件数		2件	1件	—	—	3件
	貸付金額		1,104,000円	370,000円	—	—	1,474,000円
計	貸付件数		4件	2件	—	—	6件
	貸付現在高		1,294,000円	383,332円	—	—	1,677,332円

5. 女性福祉

配偶者のない女子の経済自立を促進するための福祉資金の貸付及び女性の地位向上を図るための女性研究講座の開催等の事業を行っている。

(1) 女性福祉資金の貸付状況

12. 3. 31 現在

区 分		事業開始資金	住宅資金	事業継続資金	計
10	貸付件数	—	—	—	—
	貸付金額	—	—	—	—
計	貸付件数	1件	3件	—	4件
	貸付現在高	607,821円	972,384円	—	1,580,205円

6. 心身障害者福祉

(1) 現 況

身体障害者相談員3名、知的障害者相談員4名を委嘱し、担当ワーカーと協力して心身障害者（児）の相談に応じ、必要な指導・援護に当たっている。

管内においては、毎年1回、東京都心身障害者福祉センターによる「心身障害者（児）巡回相談」を実施し、手帳や補装具の交付・施設入所の要否判定及び年金・手当等受給のための診断等を行って、福祉の向上を図っている。

ただし、平成5年度から、身体障害者に対する更生医療の給付、補装具の交付・修理などの事務は、町村が実施することとなった。

なお、平成6年より、障害者の通所訓練事業が東京都と三宅村の補助事業として行われている。また、平成6年度より東京都と三宅村の補助金を受け、地域デイサービス事業を実施している。

(2) 手帳の所持者及び施設入所等の状況

12. 4. 1 現在

区 分	身 体 障 害 者 手 帳 (級)												
	視 覚						聴 覚				音 声 ・ 言 語		
障 害 程 度	1	2	3	4	5	6	2	3	4	6	2	3	4
人 員	4	2	2	2	2	2	5	—	5	6	—	3	—
う ち	施 設	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	生 保	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

身 体 障 害 者 手 帳 (級)											合 計
肢 体						内 部					
1	2	3	4	5	6	1	3	4	5	6	178
31	38	25	12	14	3	13	2	6	—	1	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

愛の手帳(度)			合 計
2	3	4	
6	17	10	33
5	6	4	15
—	2	—	2

(注) () は18歳未満再掲。

(3) 特別障害者（児）手当等受給者

12. 4. 1 現在

手 当 名	人 数	摘 要
特別障害者手当	—	在宅重度心身障害者
福祉手当（経過措置分）	—	精神障害入院患者
障害児福祉手当	—	在宅重度心身障害児

7. 高齢者福祉

管内の高齢者人口の比率は28.3%（三宅村29.0、御蔵島村18.7）で、都の15.5%（12. 1. 1）及び全国の16.7%（平成11年10月1日）を大きく上回っており、高齢者人口の推移でみると、昭和37年の7.0%に対し、昭和47年で9.8%、昭和57年で14.2%、さらに、平成4年には21.1%、平成10年では27.1%と高齢化が急速に進行していることが注目される。

現在、村を通じて65歳以上70歳未満の高齢者を対象に老人医療費の助成（70歳以上は国の制度）、6カ月以上のねたき老人（入院も含む）を対象とした老人福祉手当の支給、日常生活用具の給付、シルバーパス（70歳以上）の交付、老人家庭奉仕員の設置、老人クラブ運営費の補助等の事業を行っている。

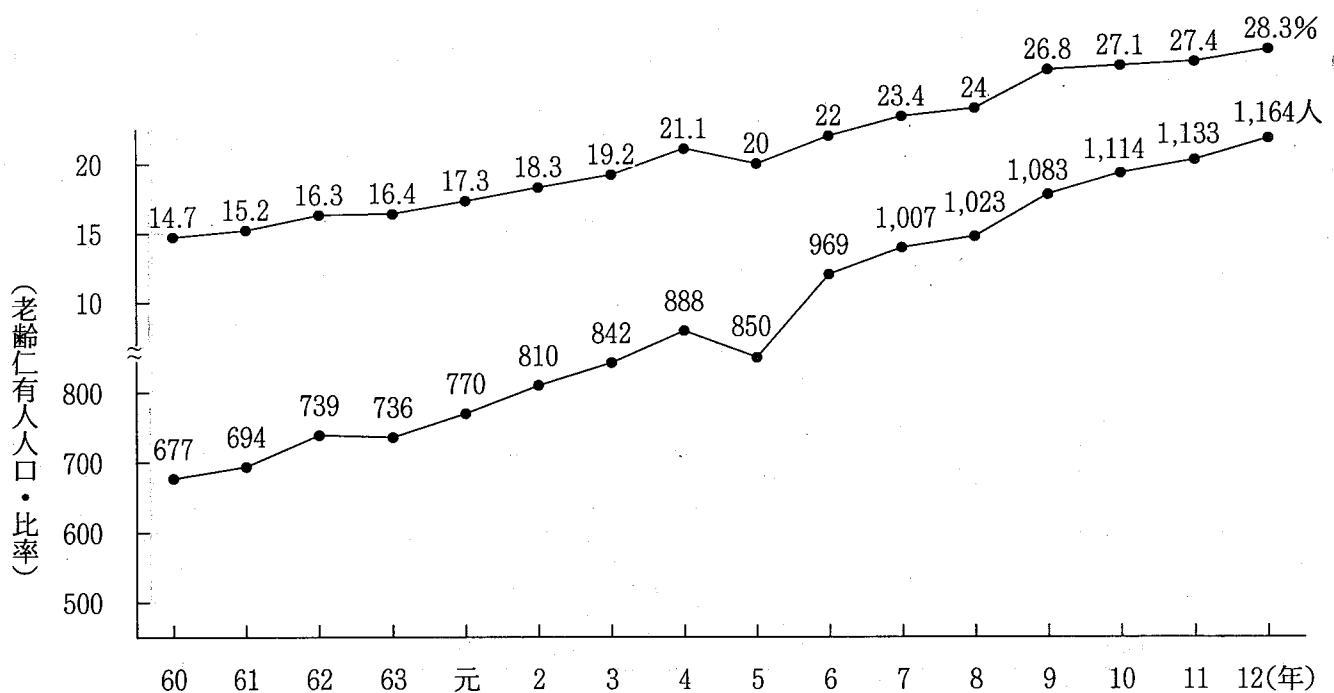
なお、高齢者に適した就労の場を確保するため、平成5年10月三宅村シルバー人材センターが設立され、会員数の増加とともに実績をあげている。また、平成6年4月より、高齢者福祉の拠点となる特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンターが開設されて、在宅サービスの利用者も順調に増えており、より一層の在宅福祉の中核としての活躍が期待されている。平成11年4月より在宅介護支援センターが開設された。

(1) 管内の老齢人口（65歳以上）

12. 1. 1 現在

区 分	神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田	三宅村	御蔵島	計
男	75	58	37	158	128	456	16	472
女	124	72	61	230	171	658	34	692
計	199	130	98	388	299	1,114	50	1,164

(2) 高齢者（65歳以上）人口の推移（各年1月1日現在）



(3) 特別養護老人ホーム

あじさいの里 (定員 50名)

(人)

年 月	11/4	5	6	7	8	9	10	11	12	12/1	2	3
入所者数	50	50	50	50	49	50	50	50	50	50	50	50

ショートステイ (定員 5名)

(人)

年 月	11/4	5	6	7	8	9	10	11	12	12/1	2	3
延利用者数	140	159	143	156	144	131	146	146	151	140	143	142

デイホームの利用日 週2回

(人)

年 月	11/4	5	6	7	8	9	10	11	12	12/1	2	3
延利用者数	262	208	273	249	295	279	260	247	210	215	210	225

訪問入浴サービス 週2回

(人)

年 月	11/4	5	6	7	8	9	10	11	12	12/1	2	3
延利用者数	7	6	9	10	7	10	10	8	9	11	12	7

(4) 老人クラブの現況

三宅島老人クラブ連合会の下、各地区（御蔵島を除く）に組織されていて、相互の親睦、健康管理、レクリエーション活動を定期的に行うほか、無形文化財の保存活動にも積極的に取り組んでいる。

なお、阿古地区は2クラブに分けている。

① 会員数

12. 4. 1 現在

地 区 名	神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田	計
会 員 数	74	38	43	31	36	88

8. 民生委員（児童委員）数

12. 4. 1 現在

地 区 名	神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田	御蔵島村	計
委 員 数	2 〔1名欠員〕	(1) 3	1 〔1名欠員〕	3	2 〔1名欠員〕	1	現員定員12 〔欠員3名含む〕

※ () 内は主任児童委員の再掲

9. 三宅児童厚生施設（仮称）

(1)

- ① 名 称 三宅児童厚生施設（仮称）
- ② 所在地 東京都三宅島三宅村神着420番地
- ③ 敷地面積 10,929,125㎡
- ④ 建物延面積 153.2㎡
- ⑤ 遊 具 鉄棒、ブランコ、ローラースケート場、プレイマウントコンビネーション、回転キノコ、丸太クライミング、トンネルネット、その他

(2) 建設に至る経緯

昭和47年2月 故浅沼稻次郎氏未亡人（享子氏）から生家土地の寄付 9,893.69㎡

(3) 建設計画の経過

東京都は、昭和48年を初年度とし、52年度開設を目途とする、都立児童会館を構想しそれへ向けて、生家の改修、取付道路、遊具施設等の工事を行った。しかし、その後、都の財政問題及び事務事業の移管等事業計画の全般的な見直しが行われ、建設計画は中止されている。

(4) 敷地一時開放 昭和54年7月26日

10. 社会福祉協議会

三宅島社会福祉協議会は昭和34年9月30日に発足し、昭和43年10月21日に法人組織となる。会員数1,118人（総世帯数の57.1%に当たる12.1.1現在）で、地域福祉推進の中核的団体として調査・研究及び各種援護事業を活発に実施している。

また、御蔵島社会福祉協議会が平成元年4月1日に発足した。（未法人化）

(1) 三宅島社会福祉協議会の概要

① 地区別会員数

(人)

地区名	神着	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	事務局	計
会員数	172	127	95	364	251	109	1,118

② 財 政

(円)

年度別	予 算		決 算	
	収 入	支 出	収 入	支 出
7 年 度	80,255,000	80,255,000	91,470,568	58,805,796
8 年 度	100,959,000	100,959,000	105,834,356	72,003,520
9 年 度	106,097,000	106,097,000	105,992,404	70,410,210
10 年 度	109,863,000	109,863,000	109,575,667	75,481,049
11 年 度	112,305,000	112,305,000	106,898,805	77,870,912

③ 活動状況 (11年度)

- ア. 調査研究 ひとり暮らしの高齢者に対する調査、紙オムツ利用状況調査等
島しょ社協連絡協議会開催
- イ. 連絡調整 社会福祉関係団体との連絡調整
- ウ. 普及宣伝 三宅島社協だより発行、配布、三宅島福祉まつりの開催
- エ. 老人援護活動 70歳以上に祝品、祝金の贈呈、高齢者ホームヘルプサービス、ひとり暮らし高齢者会食会
- オ. 障害者援護活動 在宅障害者のための地域デイサービス事業（年間実施日200日延べ利用者数1,496人・一日平均利用人員7.48人）
- カ. 児童援護活動 入・進学児童助成
- キ. 青少年援護活動 柔・剣道大会、マラソン大会助成
- ク. 歳末たすけあい事業 援護を必要とする世帯や長期入院入所者への歳末お見舞
- ケ. 心配ごと相談事業 取扱件数531件
- コ. ボランティア活動推進事業 原資140千円
- サ. 生活福祉資金貸付

11年度末の償還状況

(千円)

貸付中の世帯				償還中の の件数	滞 納 額	償還猶予 中の 件 数
件 数 A	貸付金額 B	償還済額 C	未償還額 B-C			
24件	26,316	13,295	13,021	24件	8,020	0件

11年度の貸付状況

(千円)

区分	更正資金	身体障害者 更正資金	生活資金	福祉資金	身障者自動車 購入資金	身体障害者 福祉資金	住宅資金	療養資金	災害資金	修学資金	計
件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
金額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

(2) 御蔵島村社会福祉協議会の概要

① 会員数

(12. 4. 1)

会 員 名	特別会員	事業所会員	賛助会員	正 会 員	計
会 員 数	9	1	41	10	61

② 財 政

年度別	予 算	決 算		
	収 入	支 出	収 入	支 出
7 年 度	1,404,000	1,404,000	2,685,692	2,685,692
8 年 度	1,420,000	1,420,000	2,765,579	2,765,579
9 年 度	2,128,000	2,128,000	2,832,336	2,832,336
10 年 度	2,225,000	2,225,000	2,226,027	2,226,027
11 年 度	2,784,000	2,784,000	2,777,734	2,777,734

第6 港 灣 關 係

第6 港 湾 関 係

1. 港湾、漁港、空港

三宅支庁管内には、次の港湾、漁港、空港がある。

- (1) 地方港湾 三池港、大久保港、御蔵島港
- (2) 漁 港 阿古漁港、坪田漁港、湯の浜漁港、伊ヶ谷漁港、大久保漁港
- (3) 空 港 三宅島空港

2. 現 況

昭和23年に阿古漁港の修築工事が着工されて以来、大久保港、坪田漁港、三池港、御蔵島港と逐次修築工事が実施されたが、厳しい気象、海洋条件等から工事は難航、多額の建設費を要し、事業の進捗は低調であった。昭和28年離島振興法が施行されると、この補助事業によりこれらの事業の促進が図られ、現在4,000 t 級船舶の接岸岸壁として三宅島の三池港及び阿古漁港が、さらに、御蔵島港が平成2年11月に完成し供用開始されている。三宅島には、東京・三宅島間を定期船すつれちあ丸（東海汽船^(株)）、その他貨物船が就航しており、御蔵島においては、三宅・御蔵島間を定期船えびね丸・黒潮丸（伊豆諸島開発^(株)）が生活航路として運航されており、平成3年10月より週1回すつれちあ丸の寄港も開始された。

漁港については、46年に湯の浜漁港、同53年に伊ヶ谷漁港、58年に大久保漁港が、三宅村から東京都へ逐次管理者の移管が行われ、以来都施行により修築工事が進められている。しかし、近年の海洋レジャーブームを反映し、ヨット、クルーザー等プレジャーボートの漁港利用が増加しており、漁港本来の漁船利用とこれらの船舶利用との競合等諸問題が生じているため、今後の施設建設及び管理面において、より現実的なこれらの対応策が要請されている。

空港は、昭和41年3月三宅島空港が開港し、羽田と三宅島を結ぶ定期航空路が開設され、現在、エアニッポン^(株)によりYS11型機が毎日2往復就航している。また、平成5年9月より伊豆諸島間ヘリコムター「東京愛らんどシャトル」が運航を開始し、青ヶ島・八丈島・御蔵島・三宅島・利島・大島間を毎日運航している。

東京－三宅島 定期便就航等の変遷

船		航 空 機	
就航年代	就 航 船 名	日 時	記 事
～昭和40年	東海汽船 ^(株) 藤丸 229 t	昭和41年3月4日	全日空 ^(株) が定期便（F-27）を1日1便就航
昭和34年～同46年	橘丸 1,772 t	昭和48年4月1日	全日空 ^(株) が定期便（YS-11）を大島経由で就航
昭和38年～同46年	あじさい丸 614 t	昭和52年7月1日	全日空 ^(株) が定期便（YS-11）を東京直行で1日1便就航
昭和46年～同61年	ふりじあ丸 2,286 t	昭和53年4月1日	全日空 ^(株) から日本近距離航空 ^(株) に路線移管
昭和53年～現在	すつれちあ丸 3,708 t	昭和53年6月8日	日本近距離航空 ^(株) が1日2便に増便
昭和39年12月30日	阿古漁港特定目的岸壁に橘丸初接岸	昭和62年4月1日	日本近距離航空 ^(株) がエアニッポン ^(株) に社名変更
昭和40年12月16日	三池港岸壁にあじさい丸初接岸		

3. 設備の概要

港名	種別	管理者	設備の概要
大久保港	地方港湾	東京都	<p>昭和28年3月10日 改修工事着工 昭和28年3月31日 港湾管理者設置 昭和33年10月4日 港湾隣接地域の指定 昭和34年7月2日 海岸保全区域の指定</p> <p>設備 物揚場延長 30m水深-3m~5m 道路延長 72.23m幅員7m 海岸護岸延長 570m天端高8~10.22m</p> <p>照明設備一式(昭和37年以降建設を中止し、現在は中止港)</p>
三池港	地方港湾	東京都	<p>昭和32年11月5日 港湾管理者設置 昭和35年10月11日 港湾隣接地域の指定 昭和35年12月1日 修築工事着工 昭和37年9月15日 海岸保全区域の指定</p> <p>設備 岸壁延長 245m水深-6.5m~5m 海岸護岸延長 168.3m天端高5.5m 防潮堤延長 90m天端高8m 野積場面積 1,507㎡ 駐車場面積 2,194㎡ 船客待合所 1棟 床面積 452.6㎡</p> <p>岸壁、駐車場等照明設備一式</p>
御蔵島港	地方港湾	東京都	<p>昭和32年11月5日 港湾管理者設置 昭和34年10月13日 港湾隣接地域の指定 昭和35年12月1日 改修工事着工 昭和37年9月15日 海岸保全区域の指定 昭和59年3月31日 供用開始 平成2年11月1日 供用開始</p> <p>設備 岸壁延長 175.0m水深-5m~6.5m 物揚場延長 70m水深-3.5m 船揚場面積 1,087㎡ 防波堤 (北) 20m (東) 24m</p> <p>照明設備一式</p>

港名	種別	管理者	設備の概要
大久保漁港	第1種	東京都	昭和27年7月29日 第1種漁港指定 昭和29年9月14日 漁港管理者指定(三宅村) 昭和58年4月26日 漁港管理者変更(東京都) 平成6年4月 第9次改修工事着工 設備 泊地面積 3,433㎡水深-2m 物揚場延長 100.5m 船揚場面積 1,800㎡ 防波堤延長 313.64m 防潮堤延長 35m 照明設備一式
伊ヶ谷漁港	第1種	東京都	昭和27年6月23日 第1種漁港指定 昭和29年9月14日 漁港管理者指定(三宅村) 昭和53年4月1日 漁港管理者変更(東京都) 平成6年4月 第9次改修工事着工 設備 岸壁延長 80m 物揚場延長 68m 船揚場面積 2,625㎡ 泊地面積 7,427㎡水深-2m 防波堤延長 254.5m 照明設備一式
湯の浜漁港	第1種	東京都	昭和30年10月21日 第1種漁港指定 昭和35年5月15日 漁港管理者指定(三宅村) 昭和46年8月31日 漁港管理者変更(東京都) 平成6年4月 第9次改修工事着工 設備 岸壁延長 204.8m 泊地面積 16,843㎡水深-2m 物揚場延長 70m水深-2m 防波堤延長 242m 防潮堤延長 324.1m 護岸延長 360.9m 船揚場 2,317㎡ 道路 1,128.9m 照明設備一式

港名	種別	管理者	設備の概要
坪田漁港	第2種	東京都	<p>昭和26年7月1日 第2種漁港指定 昭和28年1月6日 漁港管理者指定 昭和29年1月16日 修築工事着工 平成6年4月 第9次改修工事着工</p> <p>設備</p> <p>岸壁 220m 泊地 17,100㎡水深-2.5m 船揚場面積 4,051㎡ 防波堤延長 547.7m 防潮堤延長 100m 物揚場延長 251.5m水深-2.5m 便所面積 16.2㎡ 1棟</p> <p>照明設備一式</p>
阿古漁港	第4種	東京都	<p>昭和23年2月16日 修築工事着工 昭和26年7月10日 第4種漁港指定 昭和27年6月9日 漁港管理者指定 昭和51年10月30日 海岸保全区域の指定 平成6年4月 第9次改修工事着工</p> <p>設備</p> <p>特定岸壁延長 255m水深-5m~-7.5m 岸壁延長 664.6m水深-3m 物揚場延長 37m水深-3m~-5m 船揚場面積 3,090㎡ 泊地面積 34,436㎡水深-3m 護岸延長 921.4m天端高8~4.5m 道路延長 1,598.1m幅員6~12m 駐車場面積 1,751.4㎡ 野積場面積 2,332㎡ 海岸護岸延長 354.9m天端高10m 船客待合所面積 241.39㎡ 1棟 便所面積 7.83㎡ 1棟 便所面積 14.57㎡ 1棟</p> <p>岸壁、泊地等照明設備一式</p>

港名	種別	管理者	設備の概要
三宅島空港	第3種	東京都	<p>昭和38年2月28日 空港設置認可 昭和38年4月1日 空港建設工事着工 昭和41年2月27日 空港建設工事完了 昭和41年3月1日 供用開始(1,100m) 昭和52年3月31日 空港拡張工事完了(100m延長) 昭和59年7月5日 夜間照明施設供用開始 平成2年5月31日 航空灯火の型式変更</p> <p>設備</p> <p>着陸帯延長 1,320㎡ 幅員120m 滑走路延長 1,200m 幅員30m 誘導路延長 80m 幅員18m エプロン面積 8,350㎡ 2バース ターミナルビル面積 431.68㎡ 1棟 駐車場面積 2,652㎡ グルーピング延長 1,200m 幅員20m 防火水槽 40㎡ 4槽 電源局舎 419.1㎡ 1棟 空港用地告示面積 280,868㎡ 進入角指示灯 8基 末端識別灯 4基 飛行場灯台 1基 滑走路灯 38灯 滑走路末端灯 24灯 滑走路距離灯 6基 過走帯灯 10灯 誘導路灯 26灯 誘導出入口灯 4灯 風向灯 3基 エプロン照明灯 4基 航空障害灯 2灯</p>

※用語説明

- 第1種漁港 その利用範囲が地元の漁業を主とするもの
第2種漁港 その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの
第4種漁港 離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの
第3種空港 地方的な航空運送を確保するため、必要な飛行場であって、政令で定めるもの

4. 平成11年度三宅島空港定期航空便運航状況

区分 月	就航数	欠航数	就航予定数	就航率	乗客数	降客数	計	利用率	備考
4	52	8	60	86.7	2,447	1,518	3,965	59.6	
5	51	11	62	82.3	2,763	1,593	4,356	66.7	
6	56	4	60	93.3	2,757	1,489	4,246	59.2	
7	57	5	62	91.9	3,090	2,506	5,596	76.7	
8	62	0	62	100.0	3,875	3,339	7,214	90.9	
9	60	0	60	100.0	3,147	1,874	5,021	65.4	
10	59	3	62	95.2	3,093	1,839	4,932	65.3	
11	52	8	60	86.7	2,562	1,581	4,143	62.2	
12	51	11	62	82.3	2,304	1,374	3,678	56.3	
1	51	11	62	82.3	2,268	1,308	3,576	54.8	
2	40	18	58	69.0	1,728	1,010	2,738	53.5	
3	39	23	62	62.9	1,998	1,156	3,154	63.2	
計	630	102	732	86.1	32,032	20,587	52,619	65.3	
年	625	105	730	85.6	30,488	20,163	50,651	63.3	
度	611	120	730	83.7	30,002	21,142	51,144	65.5	
別	606	128	730	83.0	31,079	21,410	52,489	67.7	

* 臨時便は、就航率に算入していない。

5. 平成11年度東京愛らんどシヤトル運輸状況

月別	就航		就航数		欠航数	就航率	三宅島←御蔵島		三宅島→御蔵島		計		利用率					
	予定数	定期	臨時	乗客数			乗客数	降客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数	御蔵・三宅	三宅・御蔵	利島・三宅	三宅・利島
4	60	55	1	5	5	91.7	116	128	97	108	213	236	46.0	44.4	6.3	10.3		
5	62	56	1	6	6	90.3	108	129	87	89	195	218	42.9	35.3	11.9	16.7		
6	60	52	0	8	8	86.7	104	101	81	90	185	191	48.1	40.0	9.7	16.9		
7	62	55	0	7	7	88.7	96	119	111	116	207	235	38.1	47.7	10.7	18.8		
8	62	61	2	1	1	98.4	148	176	92	86	240	262	54.8	31.0	9.7	24.1		
9	60	57	3	3	3	95.0	113	140	87	86	200	226	44.8	33.0	12.3	11.5		
10	62	53	4	9	9	85.5	96	139	128	104	224	243	41.0	42.8	12.3	20.5		
11	60	54	2	6	6	90.0	109	150	125	120	234	270	44.9	49.4	13.6	17.7		
12	62	62	7	0	0	100.0	134	199	168	163	302	362	48.4	58.8	13.0	23.1		
1	62	58	7	4	4	93.5	94	148	162	134	256	282	36.0	51.3	11.9	22.2		
2	58	50	7	8	8	86.2	103	152	150	137	253	289	45.8	60.9	19.1	28.0		
3	62	60	14	2	2	96.8	159	219	175	150	334	369	58.9	57.5	17.2	35.9		
計	732	673	48	59	59	91.9	1,380	1,800	1,463	1,383	2,843	3,183	45.9	45.9	12.3	20.7		
平成10年	730	598	26	132	132	81.9	1,265	1,201	238	351	1,503	1,552	45.9	43.9	8.7	12.7		
対前年比	100.3	112.5	184.6	44.7	44.7		109.1	149.9	614.7	394.0	189.1	205.1	0.0	2.0	3.6	8.0		

※4月～9月は三宅と利島就航
10月～3月は三宅と大島就航

注1. 就航数は、御蔵島便及び利島便とも1日各1便とした。

注2. 就航率及び利用率には、臨時便は算入しない。

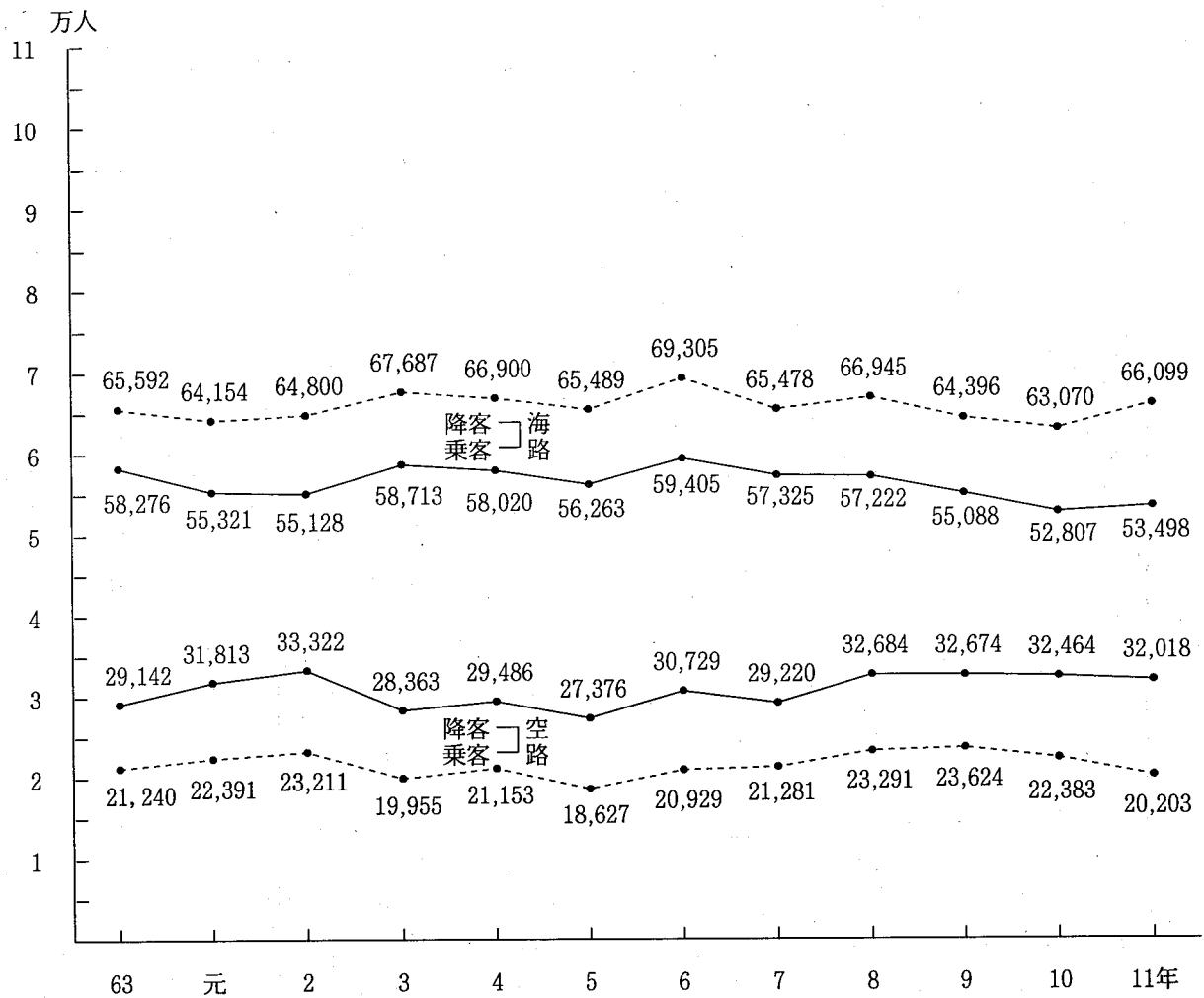
注3. 利用率には、乗り継ぎ客は考慮してない。(座席数は9席とする)

注4. 平成8年9月1日より毎日運輸となった。

6. 平成11年度三宅島定期船運航状況

区分	三池港						阿古漁港						合計		接岸数	欠航数	東京丸	東京行	三宅一八丈	
	接岸数	東京一三宅		三宅一八丈		小計	接岸数	東京一三宅		三宅一八丈		小計	入	出						
		入	出	入	出			入	出	入	出									
																				入
平成11年1月	51	2,412	2,312	86	84	2,498	2,396	10	419	344	16	5	435	349	2,933	2,745	61	0	—	1
2月	54	2,216	1,640	261	81	2,477	1,721	2	89	21	2	5	91	26	2,568	1,747	56	0	—	0
3月	16	814	700	89	30	903	730	41	2,360	1,659	313	77	2,673	1,736	3,576	2,466	57	2	—	1
4月	18	1,061	495	65	21	1,126	516	36	2,351	1,345	102	41	2,453	1,386	3,579	1,902	54	2	0	2
5月	43	4,949	4,650	196	101	5,145	4,751	17	1,621	1,150	61	34	1,682	1,184	6,827	5,935	60	1	0	0
6月	47	4,011	3,051	164	118	4,175	3,169	13	1,016	817	108	22	1,124	839	5,299	4,008	60	0	0	0
7月	43	6,347	3,889	156	118	6,503	4,007	19	1,686	2,092	50	36	1,736	2,128	8,239	6,135	62	0	0	0
8月	59	11,597	12,573	333	158	11,930	12,731	3	618	350	8	37	626	387	12,556	13,118	62	0	0	0
9月	42	4,859	3,867	140	101	4,999	3,968	15	1,064	995	34	38	1,098	1,033	6,097	5,001	57	1	1	0
10月	15	1,392	1,038	24	25	1,416	1,063	47	4,581	3,732	278	234	4,859	3,966	6,275	5,029	62	0	0	0
11月	23	1,733	1,590	80	105	1,813	1,695	33	2,553	1,547	248	134	2,801	1,681	4,614	3,376	56	2	0	0
12月	41	2,224	1,347	79	118	2,303	1,465	19	1,199	554	34	17	1,233	571	3,536	2,036	60	0	0	1
(11年の計)	452	43,615	37,152	1,673	1,060	45,288	38,212	255	19,557	14,606	1,254	680	20,811	15,286	660,99	53,498	707	8	2	5
平成12年1月	20	1,168	939	34	24	1,202	963	34	1,395	1,060	84	55	1,479	1,115	2,681	2,078	54	2	1	3
2月	35	1,821	1,282	113	90	1,934	1,372	12	509	210	7	6	516	216	2,450	1,588	47	3	2	3
3月	40	2,355	2,320	399	111	2,754	2,431	14	1,021	640	66	83	1,087	723	3,841	3,154	54	3	1	1
年度計	426	43,517	37,041	1,783	1,090	45,300	38,131	262	19,614	14,492	1,080	737	20,694	15,229	65,994	53,360	688	14	6	10
10年度	403	36,026	26,295	1,489	948	37,515	27,243	293	25,221	25,176	1,083	570	26,304	25,746	63,819	52,989	696	11	—	5
9年度	399	38,120	34,081	1,594	1,134	39,714	35,215	257	22,511	18,651	1,408	718	23,919	19,369	63,633	54,584	656	29	—	16
8年度	346	35,616	28,618	1,949	1,055	37,565	29,673	309	26,814	25,450	1,764	708	28,578	26,158	66,143	55831	655	31	—	18
7年度	472	46,260	41,663	2,633	1,404	48,893	43,067	197	15,651	13,825	1,333	490	16,984	14,315	65,877	57,382	669	25	—	—
6年度	371	35,865	33,782	2,432	981	38,297	34,763	291	26,118	22,051	3,189	733	29,307	22,784	67,604	57,547	662	30	—	—
5年度	425	39,489	36,724	2,748	1,226	42,237	37,950	257	22,063	18,886	1,849	690	23,912	19,576	66,149	68,526	682	19	—	—

7. 年別航路別乗降客の推移



8. 年別航路別出入貨物量

年	区分	三宅島				御蔵島	
		海路 (t)		空路 (kg)		海路 (t)	
		積量	卸量	積量	卸量	積量	卸量
5		27,192	185,323	58,062	72,360	2,104	35,209
6		29,273	239,743	67,980	83,890	2,215	46,277
7		36,288	222,743	64,279	113,582	2,339	33,246
8		50,940	196,314	73,762	137,969	1,537	30,098
9		40,665	198,998	75,834	146,027	2,091	37,218
10		100,207	148,011	56,263	122,570	1,802	27,394
11		47,306	95,366	45,160	122,692	2,724	54,296

9. 平成11年度御蔵島定期便乗降客数及び就航状況

月	えびね丸		黒潮丸		すとれちあ丸		へりこみ		運航日 (左-運航予定日数、右-運航日数)				
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	えびね丸	黒潮丸	すとれちあ丸	へりこみ	
4	128	131	114	27	1	4	5	197	254	451	254	4-1	30-28
5	402	403	140	109	13	2	15	172	243	415	243	3-1	31-29
6	309	296	100	111	12	1	13	141	192	333	192	5-3	30-27
7	608	597	197	121	休	休	-	188	209	397	209	休	31-29
8	742	748	364	301	休	休	-	159	275	434	275	休	31-31
9	417	437	130	105	20	26	46	192	287	479	287	4-2	30-29
10	385	210	116	160	6	0	6	219	270	489	270	4-1	31-27
11	109	131	64	37	0	0	0	223	258	481	258	4-0	30-29
12	36	62	46	38	3	3	6	297	378	675	378	4-1	31-31
1	67	67	36	7	0	0	0	322	257	579	257	4-0	31-31
2	32	28	19	7	0	0	0	319	325	644	325	5-0	29-25
3	52	57	7	19	18	6	24	402	480	882	480	4-3	31-30
合計	3,287	3,167	1,333	1,042	73	42	115	2,831	3,428	6,259	3,428	41-12	366-346
就航率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29.3	94.5
10	3,335	2,893	1,105	1,064	31	10	41	2123	2,596	4719	2,596	39-7	365-322
												17.9	88.2
9	3,051	2,499	976	859	119	38	157	2,297	2,646	4,943	2,646	41-16	365-318
												39.0	87.1
8	3,254	2796	869	746	81	79	160	2,173	2,689	4,862	2,689	37-14	327-300
												37.8	91.7

第7 産 業 経 済

第7 産 業 経 済

1. 農 業

(1) 概 要

三宅村の農業は海洋性の温暖な気候を活かし、南部地域での冬季の「きぬさやえんどう」、北部地域を中心とした「あしたば」、近年島内全域で生産の伸びているレザーファン等の「花き観葉類」が中心である。また、畜産部門では村営牧場での牛の放牧や養豚が行われている。

農家戸数は258戸で全世帯数の15%を占め主要な産業であるが、厳しい耕地条件のもと農家1戸当たりの平均経営面積は61アールと零細なため、副業的農家が全農家の66%を占めている。また、農家の高齢化が進み、主たる農業従事者の8割以上が60歳を越え、農作業に比較的手間のかからないあしたば等の栽培が増えている。一方、主業農家や後継者は、主に施設を利用した労働集約度の高い花き観葉の栽培を行っている。

村では昭和44年の農業振興地域の指定以降、農業者の育成と生産の振興を図るため、農業基盤整備や施設整備を積極的に進めている。平成10年度には新規就農者1名と認定農業者6名が認定され、今後は認定農業者を中心とした中核農家の育成と、新規就農の受け皿作りが急務である。

御蔵島村は、特産のニオイエビネ、榊等の生産普及に力を入れている。農家戸数は53戸で全世帯数の34%を占めているが、急峻な地形のため農地が少なく1戸当たりの平均耕地面積は36アールと極めて零細である。このため、ほとんどの農家が他産業に従事しながら営農する副業農家である。

村では農業を基幹産業として育成するため、ニオイエビネの栽培用温室や集出荷場等の整備を進めている。また、最近では地域資源である天然水や柘植等の利用を促進させる施設整備を行い、地域特産物の積極的な販売を行っている。

ア 農家戸数、農家人口及び就業人口

(単位：戸、人)

村名	項目	農 家 戸 数			農 家 人 口			就 業 人 口			
		総 数	主 業	準主業	副業的	総 数	男	女	総 数	男	女
三 宅 村		258	57	29	172	546	258	288	315	128	187
御 蔵 島 村		53	2	4	47	115	52	63	55	17	38
合 計		311	59	33	219	661	310	351	370	145	225

(農業センサス 平成7年)

イ 農地の現況

(単位：ha)

村 名	項 目	畑	樹 園 地	牧 草 地	計
三 宅 村		157	15	77	249
御 蔵 島 村		15	0	0	15
合 計		172	15	77	264

(耕地面積調査 平成11年)

ウ 農産物の生産状況

三宅村の農産物の生産状況は次のとおりである。

農作物— あしたば、きぬさやえんどう以外の作物は島内消費が主である。

あしたばは周年出荷され、昭和59年以降栽培面積が伸びてきており、現在伊豆諸島最大（国内最大）の産地である。きぬさやえんどうは11月下旬から5月下旬の冬季に出荷される特産物で、市場の人気は高いが、花き観葉に比べて労働生産性が低いため、近年は生産が減少している。

花き観葉類— レザーファンやタマシダ等の切葉が中心であり、栽培面積は年々増加している。

特に、施設でのレザーファンの栽培が増えており、あしたばと並んで村の基幹作目となっている。

畜産— 島内農家では肉豚・肉用牛の飼養、鶏卵の生産が中心である。一方、村営牧場では預託牛の飼養が継続して行われている。

養豚業は子豚の島外出荷が主な形態であるが、島内でのと畜も行われており島内で豚肉が流通している。肉用牛の多くは肥育素牛として島外出荷されている。

採卵鶏は自家用に飼養するだけでなく、島内の流通も行われている。また、近年健康食品として注目を集めているうこっけい卵の島外出荷も行われるようになった。

三宅村営牧場は、三宅島のほぼ中心雄山の中腹に位置し、総面積約171haの内牧草地約85haを有し、多摩地域の酪農家から乳牛後継牛の預託を行っている。あわせて酪農の歴史を紹介する展示館やふれあい牧場を整備し、公共牧場としての機能充実を図っている。

御蔵島村ではニオイエビネの生産の他に、あしたば、さといも及び鶏卵等を自給用に栽培している。

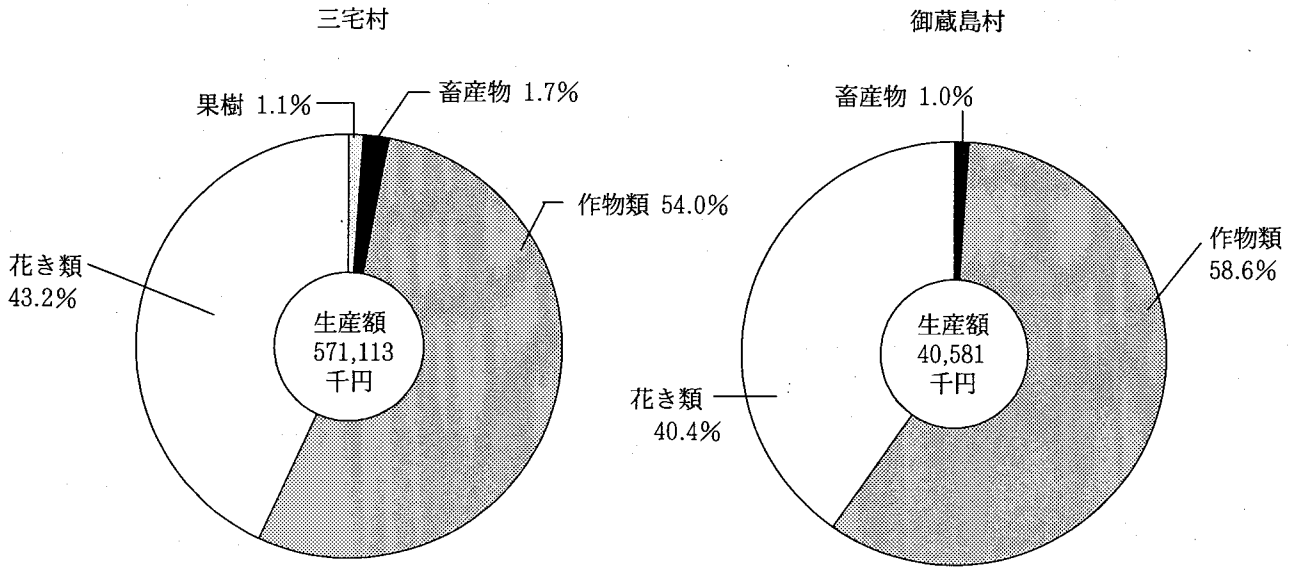
農産物生産状況（平成11年産）

（単位：ha、千円）

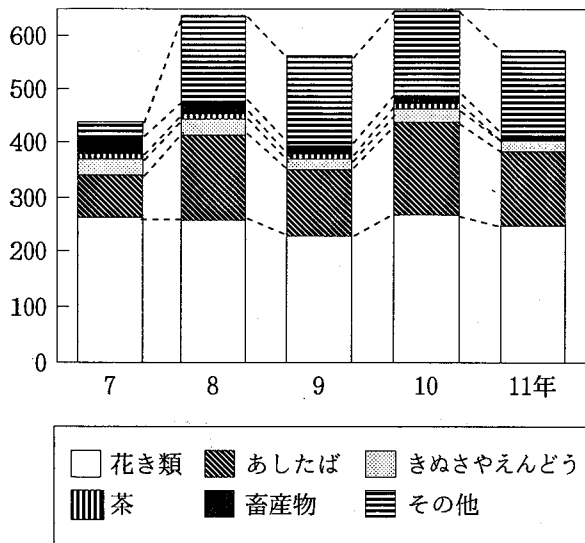
作目	村名	三宅村		御蔵島村		合計		
		栽培面積	生産額	栽培面積	生産額	栽培面積	生産額	
作物類	かんしょ	7	16,926	0	0	7	16,926	
	ばれいしょ	6	13,500	2	4,500	8	18,000	
	野菜類	さといも	14	55,633	2	7,948	16	63,581
		あしたば	38	138,852	3	10,926	41	149,814
		えんどう	4	21,072	—	—	4	21,072
		その他	38	62,260	0	360	38	62,620
小計	107	308,243	7	23,770	114	332,013		
花き類	レザーファン	11	161,280	—	—	11	161,280	
	その他切葉	15	45,150	—	—	15	45,150	
	その他	6	40,004	7	16,420	13	56,424	
小計	32	246,434	7	16,420	39	262,854		
茶	8	—	—	—	8	—		
果樹	7	6,550	0	0	7	6,550		
畜産物	—	9,886	—	391	—	10,277		
合計	154	571,113	14	40,581	168	611,694		

注1) 生産額には自家消費分を含めている。
 注2) 関東農政局統計情報部資料及び三宅支庁調べ
 注3) 茶生産額は資料収集できず不明
 このため生産額合計には茶を含まない。

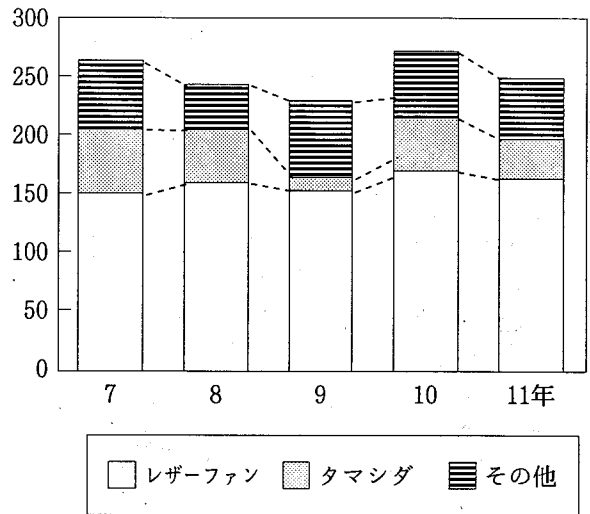
エ 平成11年度農産物生産割合



オ 三宅村の農産物生産額の推移 (百万円)



カ 三宅村の花き類生産額の推移 (百万円)



キ 家畜の頭羽数等

家畜家さんの飼養頭羽数および飼養戸数

(単位：頭、羽、戸)

区分 村名	乳用牛				肉用牛		豚			にわとり	
	経産	未經産	計	戸数	頭数	戸数	肉豚	繁殖豚	戸数	産卵鶏	戸数
三宅村	2	88 管外 受託牛 83	90	2	11	4	127	32	2	718	16
御蔵島村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	228	10
計	2	88	90	2	11	4	127	32	2	946	26

(平成11年家畜飼養頭羽数調査)

ク 畜産物の生産

畜産物生産状況（平成11年度）

村	項目	種 別	数 量	平均単価	金額（千円）	割合（％）	合計額（千円）
三宅村		牛 乳	0 kg	—	—	—	9,886
		牛	0 頭	—	—	—	
		豚	432 頭	27千円/頭	8,654	87.5	
		鶏 卵	—	—	1,232	12.5	
御蔵島村		鶏 卵	—	—	391	100	391
合 計							10,277

(2) 農地の移動並びに改廃の推移

(単位：a)

年 度	項 目	所有権の移転		転 用		転用のための所有権移転	
		件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積
9		6	200.55	2	18.66	9	101.96
10		5	59.61	4	36.50	9	40.04
11		10	220.46	5	25.36	12	75.41

(3) 農業金融関係

ア 農業改良資金

(単位：人、千円)

年 度	項 目	生産方式改善		青年農業者等		特定地域新部門導入		合 計	
		借受者	金 額	借受者	金 額	借受者	金 額	借受者	金 額
9		0	0	0	0	0	0	0	0
10		0	0	0	0	0	0	0	0
11		1	1,784	0	0	0	0	1	1,784

(4) 農業団体の概要

ア 農業協同組合

12. 3. 31 現在

農協名	項目 設立(登記) 年 月 日	組 合 員 数			役 員 数		職 員 数		
		正	准	計	理事	監事	参事	職員	計
三宅島	40. 12. 1	514	516	1,030	6	2	0	8	8
御蔵島村	23. 8. 7	68	0	68	4	2	0	2	2

イ 農業共済団体(三宅村)

平成11年度

共済別	項目	引受数	引受共済金額 千円	共済掛金 千円	支払共済金額 千円	職員数	評価委員数
園芸施設		38棟	24,032	464	945	3人	3人
家畜		136頭	17,388	386	498		

(5) 農畜産業生産基盤整備事業

ア 公共土地改良事業(土地改良総合整備)

地 区	事業主体	事 業 量	事業費(千円)	実施年度
神 着	三宅村	畑地灌漑用 貯水池整備	120,000	7~12

イ 小規模土地改良事業(農道整備)

地 区	事業主体	事 業 量	事業費(千円)	実施年度
阿 古	三宅村	山辺線 L=200m	11,000	9~11

ウ 離島振興施設整備事業

地 区	事業主体	事 業 量	事業費(千円)	実施年度
御 蔵	御蔵島村	リフトエレベーター	8,001	11

エ 農林漁業特別対策事業

地 区	事業主体	事 業 量	事業費(千円)	実施年度
御 蔵	御蔵島村	モノレール L=1,066m 農道(かんのう線) L=320m	63,000	8~12

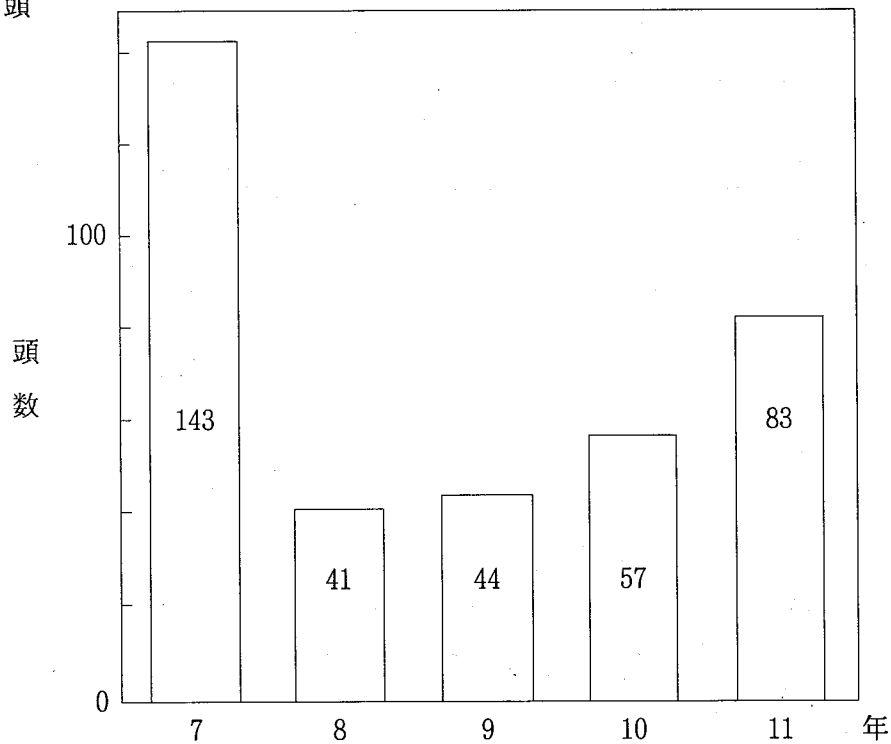
注) 旧事業名は農村地域定住促進事業

注) 事業費には事務費を含む。

(6) 農畜産業振興関係事業（ソフト事業）

事業名	事業主体	事業内容	事業費(千円)
地域農政特別対策	三宅村	地域農業推進事業一式	1,500
市町村農業基盤確立 支援推薦	三宅村	構造改善計画策定等推進活動	1,000
農業委員会交付金等	三宅村	農業委員会の運営	10,069
	御蔵島村	同上	11,466
農業経営基盤強化	三宅村	国有農地の管理経費	65
牧場広域利用推進	三宅村	放牧馴致、検討会等	1,190
農業共済団体補助	三宅村	農業共済事務	9,429
離島特別技術指導	東京都	御蔵島村での技術指導	620
特定農山村地域 市町村活動支援事業	御蔵島村	高付加価値型農業型農業の展開他	15,030

(7) 三宅村公共牧場預託実績
頭



(11年12月末現在 畜産統計)

2. 林 業

(1) 概 要

三宅島・御蔵島ともに、シイ、タブを主とする常緑広葉樹が多く、四季を通じて豊かな緑を誇っている。古くから薪炭生産が盛んで、冬場における唯一の産業として、島の経済を支える大きな柱となってきた。しかし、燃料消費構造の変化による需要の減少により、昭和38年頃より生産量は下降の一途をたどっている。また、島の特産としての柘、桑の生産も、三宅島においては資源の枯渇を招き、減産を余儀なくされている。一方、御蔵島は、柘、桑ともに豊富な蓄積を誇っているが、港、道路等の搬出施設が未整備なことで、需要が不安定なために、わずかしこ生産されていない。

両島ともに森林の所有規模の零細性が専門化をはばんでいる上に、労働者の高齢化、後継者難、賃金の高騰等、林業経営を阻害する要因が強まり、生産活動は後退している。しかし、スギを主体とする針葉樹を植栽しており、近い将来これらの生産が、活発になるものと期待されている。

また、特用林産物としてのシイタケ、椿油、また榊等の枝物の栽培が過去の薪炭生産に変わるものとして、わずかずつではあるが、増加の傾向にある。

このような状態にある林業を、今後いかにして森林の公益的、経済的機能を調和させながら振興を図って行くことが、これからの大きな課題となっている。

ア 所有者別林野面積

(単位 : ha)

村 別	所有区分 国 有 林	民 有 林		計
		村 有 林	私 有 林	
三 宅 村	109	1,307	2,756	4,172
御 蔵 島 村		1,260	495	1,755
計	109	2,567	3,251	5,927

(地域森林計画)

イ 民有林の規模別所有者数

村 別	総 数	1 ha 未満	1 ~ 5ha	5 ~ 20ha	20 ~ 50ha	50ha 以上
三 宅 村	2,407人	1,835人	468人	97人	3人	4人
	100%	76.2	19.5	4.0	0.1	0.2
御 蔵 島 村	29人	6	8	6	4	5
	100%	20.7	27.6	20.7	13.8	17.2
計	2,436人	1,841	476	103	7	9
	100%	75.6	19.5	4.2	0.3	0.4

(地域森林計画)

ウ 民有林森林資源表

(単位：面積ha、材積千m³)

区分		総数	立木地					
			総数			人工林		
			総数	針	広	総数	針	広
三宅村	面積	4,063	3,690	816	2,874	1,383	790	593
	材積	503	503	213	290	252	208	44
御蔵島村	面積	1,755	1,623	13	1,610	55	13	42
	材積	222	222	5	217	7	5	2

区分		立木地			竹 林	無立木地			更新 困難地	備 考
		天然林				総数	伐採 跡地	未立 木地		
		総数	針	広						
三宅村	面積	2,306	26	2,280	0	373		373	0	
	材積	245	5	240						
御蔵島村	面積	1,569	—	1,569	2	130		130	0	
	材積	215	—	215						

注) 森林総面積は(三宅村-国有林109ha)を除く。

(地域森林計画)

(2) 造林、伐採関係

三宅島において人工造林が積極的に行われたのは、昭和27年から昭和40年頃で、各地域とも競い合うようにして、スギ、ヒノキの造林を行った。その後労働力不足、収穫までの超長期性、木材価格の低迷等先行不安材料が重なり、昭和41年を境に大幅にダウンしてしまった。近年では別表のように年間1ha程度が造林されているが、造林者は固定化の傾向にある。

なお、これらの一般造林を刺激し、育林の模範を示すことを目的として、都行造林を昭和35年から実施しており、現在、噴火災復旧造林が16年目を迎えた。

伐採については、針葉樹は大部分が伐期に至らないため、小規模、散発的となっている。

ア 造林実績の推移

(単位：ha)

樹種	年度	9	10	11	計
スギ		0.68	0.10	0.50	1.28
ヒノキ		0	0	0	0
その他		0	0.14	0	0
計		0.68	0.24	0.50	1.28

注) 御蔵島、都行造林を除く。

イ 伐採の推移

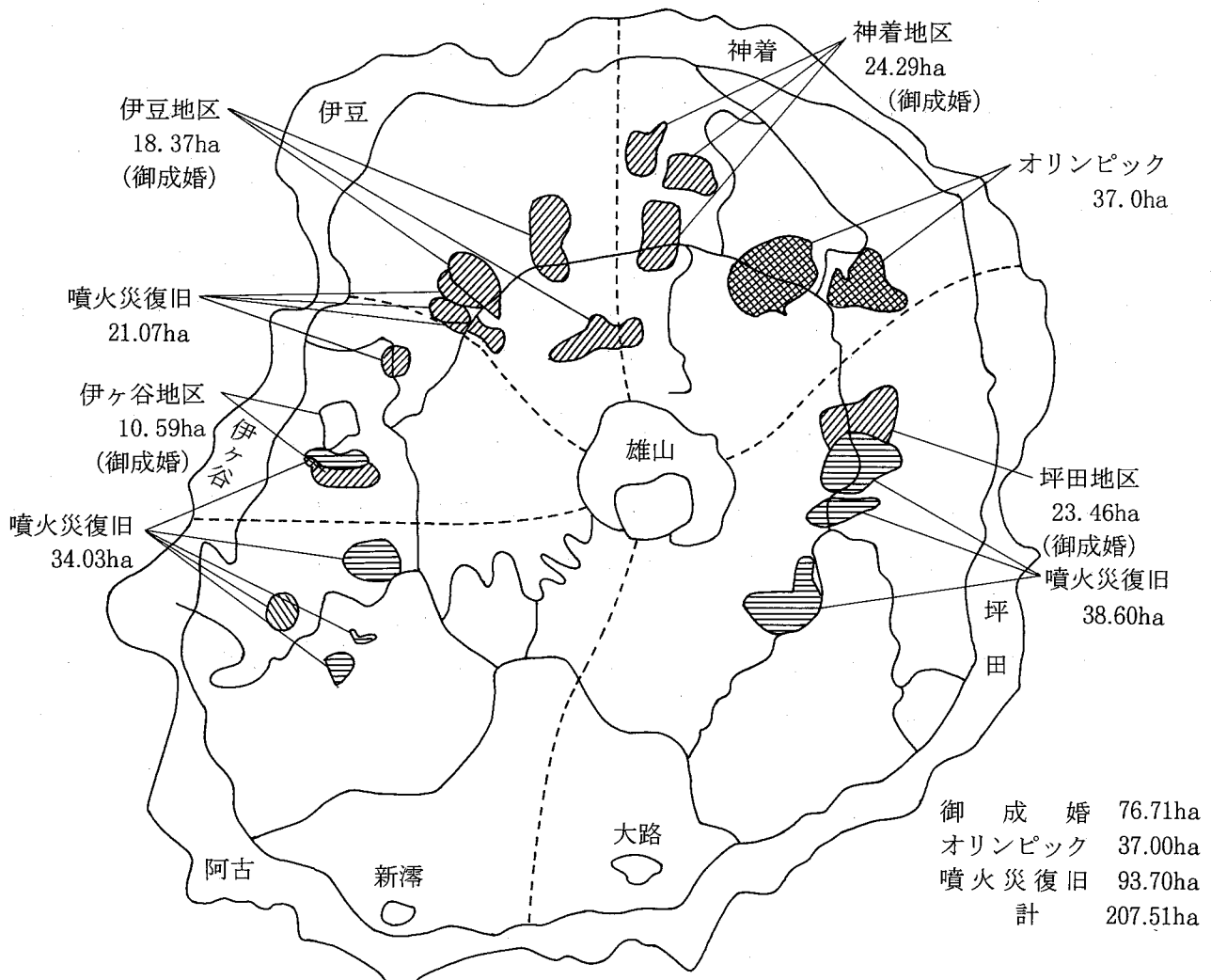
(単位：ha)

樹種	年度	9	10	11	計
針葉樹		0.14	0	0	0.14
広葉樹		0	0	0	0
計		0.14	0	0	0.14

注) 御蔵島を除く。

(伐採届出書)

ウ 都行造林の位置と面積



(3) 林業改良指導事業

島しょという特殊な環境条件に加え、零細、分散な所有構造のもとでは、林業経営は、どうしても副次的となり、管理も粗放となりやすい。当面は、自然環境、林木の生長特性に応じた適切な保育作業による森林整備、資源の良質化を図り、地域の特性を生かした島しょ林業の確立を目標に指導を進めることにしている。

11年度中における事業内容

- (ア) 森林病虫害について、調査、指導。
- (イ) 個人別森林の実態調査、把握。
- (ウ) キノコ類栽培の普及。

(4) 林野保護

三宅島の松くい虫被害は、阿古地区から発生し、今や全島に拡大している。

このため、平成11年度には、三宅村は補助事業で枯損木を対象とした伐倒駆除を110㎡、未被害木を対象とした薬剤の樹幹注入を100㎡の松に実施した。さらに、松枯れ跡地に抵抗性のある松を0.5ha植栽した。

今後も、被害調査を行い、被害が拡大しないよう防除に努める。

(5) 鳥獣保護と狩猟

管内における鳥類の特徴は、渡り鳥や旅鳥の種類が多いことその他、留鳥も含め個体数の多いことにあり、特にメジロ、アカコッコ、ウグイス、コマドリ等の留鳥、イイジママムシクイ、ホトトギス、アマツバメ等の夏鳥、ツグミ等の冬鳥がよく見られる。

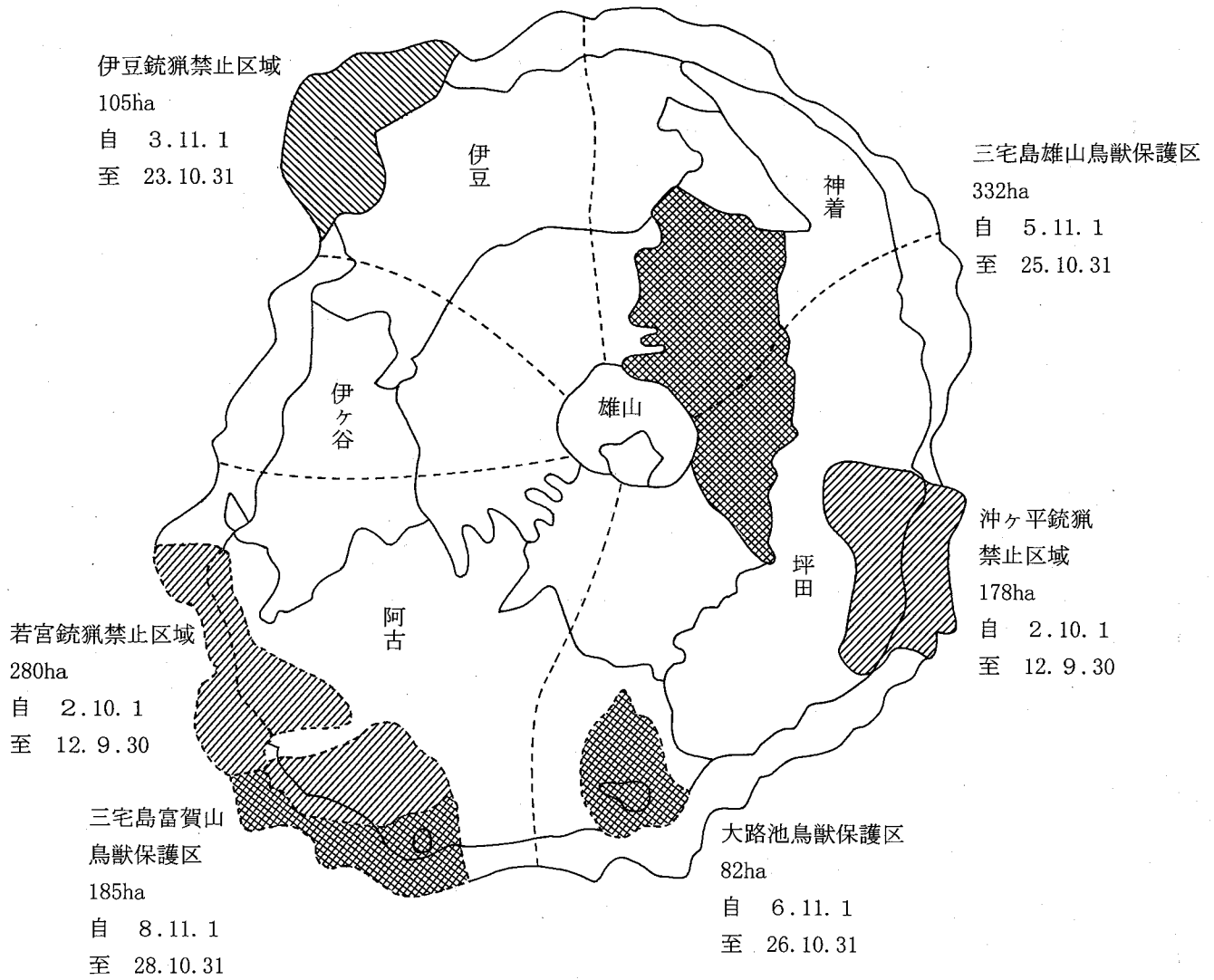
三宅島には、我が国でも珍しいほど多くの野鳥が生息しているため、そのコーラスを聞き、生態観察をしようと多くの人を訪れている。三宅村では、三宅の優れた自然を生かし、自然とのふれあいを深め、自然保護、鳥獣保護等の環境教育拠点として三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館を平成5年にオープンした。しかし、一方では野鳥による農作物の被害などもあり、有害鳥獣駆除を実施している。

御蔵島は、「渡り鳥条約」による国際保護鳥であるオオミズナギドリの繁殖地として有名で、この鳥の保護増殖を図るため、鳥獣保護区（特別保護地区を含む）が設定されている。しかし、この鳥は営巣のため、地中に穴を掘るので、林地、林木に被害が出ている。

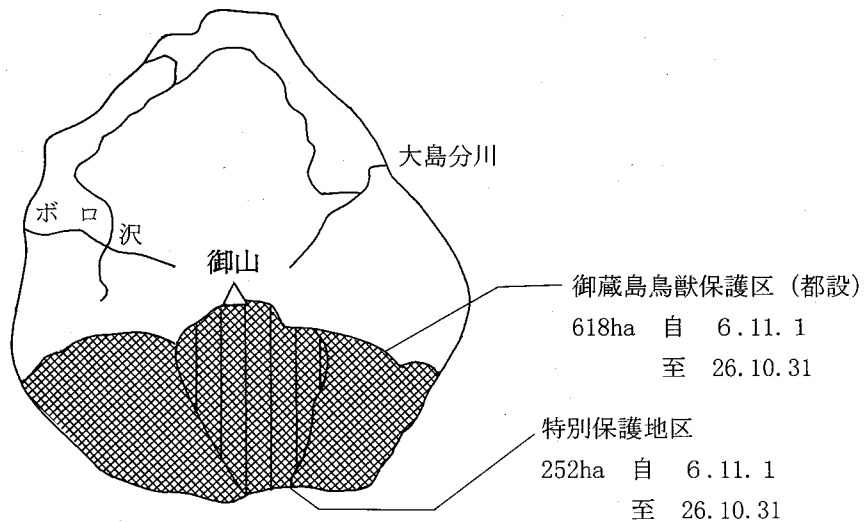
なお、三宅島の西方9kmに位置する大野原島には、世界的珍鳥である天然記念物「カンムリウミスズメ」が棲息している。

ア 鳥獣保護区等区域図

(ア) 三宅島



(イ) 御蔵島



注) 鳥獣保護区面積は、特別保護地区面積と重複する。

イ 狩猟免許試験及び狩猟免許更新状況

種 別	年 度	6		9		11	
		受 験 者	合 格 者	受 験 者	合 格 者	受 験 者	合 格 者
甲	種	0	0	0	0	—	—
乙	種	7	7	4	4	1	0
丙	種	1	1	1	1	—	—
	計	8	8	5	5	1	0

注) 3年ごとに実施

ウ 狩猟者登録数

種 別	年	9	10	11
		甲	種	0
乙	種	3	3	2
丙	種	0	0	0
	計	3	3	2

エ 狩猟免許による鳥獣捕獲数

種 類	コジュケイ	ヤマシギ	キ ジ	カ ラ ス	ス ズ メ	キジバト	カ モ 類	計
9	0	0	0	3	0	0	0	3
10	0	0	0	22	0	0	0	22
11	0	0	0	8	0	0	0	8

オ 特別許可状況

○学術研究（環境庁長官許可）

年度	鳥 獣 名、 捕 獲 員 数	区 域
9	アカコッコ 50羽	三宅村坪田・阿古
10	該当なし	
11	該当なし	

○有害駆除

9	オオミズナギドリ 900羽	環境庁長官	御蔵島村
	カラス 70羽	都知事	三宅村
10	オオミズナギドリ 930羽	環境庁長官	御蔵島村
	カラス 20羽	都知事	三宅村
11	オオミズナギドリ 930羽	環境庁長官	御蔵島村

カ 飼養許可状況

年 度	鳥 獣 名	件 数
9	メジロ	3
10	メジロ	2
11	メジロ	2

(6) 林業指導事業

木材の正量取引の促進、並びに公正化を図り、木材の使用または消費の合理化に寄与する目的で、木材業者及び製材業者を条例により登録するとともに、木材、薪炭の生産及び需給状況を調査してきたが、登録制度が平成10年4月から廃止された。

ア 製材工場の状況

村 別	工 場 数	設 備 状 況	備 考
三 宅 村	2	帯 鋸 3	
御 蔵 島 村	0		
計	2	3	

イ 林産物の生産状況

(ア) 三宅村

年度別 区分 生産品	9		10		11		備 考
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
木 材	121m ³	2,420 ^{千円}	155	3,100 ^{千円}	150	3,000 ^{千円}	杉・桧
木 炭	445俵	1,024	445	1,024	700	1,610	1俵10・15kg入
薪	m ³		—	—	—	—	
椿 油	661kg	1,474	667	1,484	1,375	3,066	
生シイタケ	2,900kg	2,900	2,000	2,000	1,400	1,400	
榲・シキミ	68千本	13,260	141	31,068	49	24,500	
計		21,078		38,676		38,576	

(イ) 御蔵島村

年度別 区分 生産品	9		10		11		備 考
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
木 材	m ³	^{千円}	50	1,000 ^{千円}	0	— ^{千円}	杉
柘 材	178m ³	35,600	153	30,600	86	17,200	
桑 材	137m ³	27,400	147	29,400	240	48,000	
椿 油	0kg	0	0	0	0	0	
生シイタケ	3,000kg	3,000	3,600	3,600	2,000	2,000	
計		66,000		64,600		67,200	

三宅村 御蔵島村 合計	87,078		103,276		105,776	
----------------	--------	--	---------	--	---------	--

(7) 治山事業

台風、低気圧等による被害の復旧と災害から人命や財産を守るための予防工事等を下表のとおり行っている。

ア 治山事業実施状況

事業区分	9 年 度			10 年 度			11 年 度		
	施工箇所	数 量	工事費	施工箇所	数 量	工事費	施工箇所	数 量	工事費
復 旧 治 山	三宅村伊豆 (大久保)	法粹工	千円 46,700	三宅村伊豆 (大久保)	法粹工	千円 46,410	三宅村伊豆 (大久保)	法粹工	千円 59,115
	御蔵島村 (川 田)	土留工 4基 特モル その他	68,565	御蔵島村 (川 田)	堰堤工 1基 護岸工	77,910	御蔵島村 (川 田)	谷止工	20,685
	三宅村坪田 (大 路)	法粹工	17,000	三宅村坪田 (大 路)	厚層基材吹付工	33,460	三宅村坪田 (大 路)	法粹工 モルタル吹付工	33,495
保安林改良	三宅村伊豆	防風工	5,880	三宅村伊豆	防風工	5,880	三宅村伊豆	防風工	5,880
保安林保育	三宅村伊豆	下刈工	1,568	三宅村伊豆	下刈工	1,568	三宅村伊豆	下刈工	1,764
治山施設 災害復旧				御蔵島村 (川 田)	特殊モルタル吹 付工	25,620			
都単治山施設 災害復旧	御蔵島村 (鳥の尾)	土留工	2,925						
都 単 治 山	三宅村伊豆 (大久保)	床固工 1基 水路工	2,875	三宅村神着 (釜の尻)	谷止工 1基	4,410	釜 の 尻	床固工 2基	4,900
計			145,513			195,258			125,839

イ 民有保安林の現状 (国有林を含む)

(単位 : ha)

区 分	土砂流出 防備林	土砂崩壊 防備林	防 風 林	干 害 防 備 林	潮 害 防 備 林	計
三 宅 島	(10ヶ所) 61.38	(4ヶ所) 13.75	(3ヶ所) 21.16	(1ヶ所) 7.35	(5ヶ所) 63.84	(23ヶ所) 167.48
御 蔵 島	(3ヶ所) 79.62			(1ヶ所) 5.34		(4ヶ所) 84.96
計	141.00	13.75	21.16	12.69	63.84	252.44

(8) 林道事業

三宅島については、雄山環状線を幹線として、他に下表のとおり縦線が9路線あり、御蔵島では、黒崎高尾線を幹線として、他に1路線ある。これら林道は、本来の目的以外に観光等多目的に活用されている他、緊急避難道路としての整備の要請も強く交通量の増大、車輛の大型化への対応が今後の課題となっている。

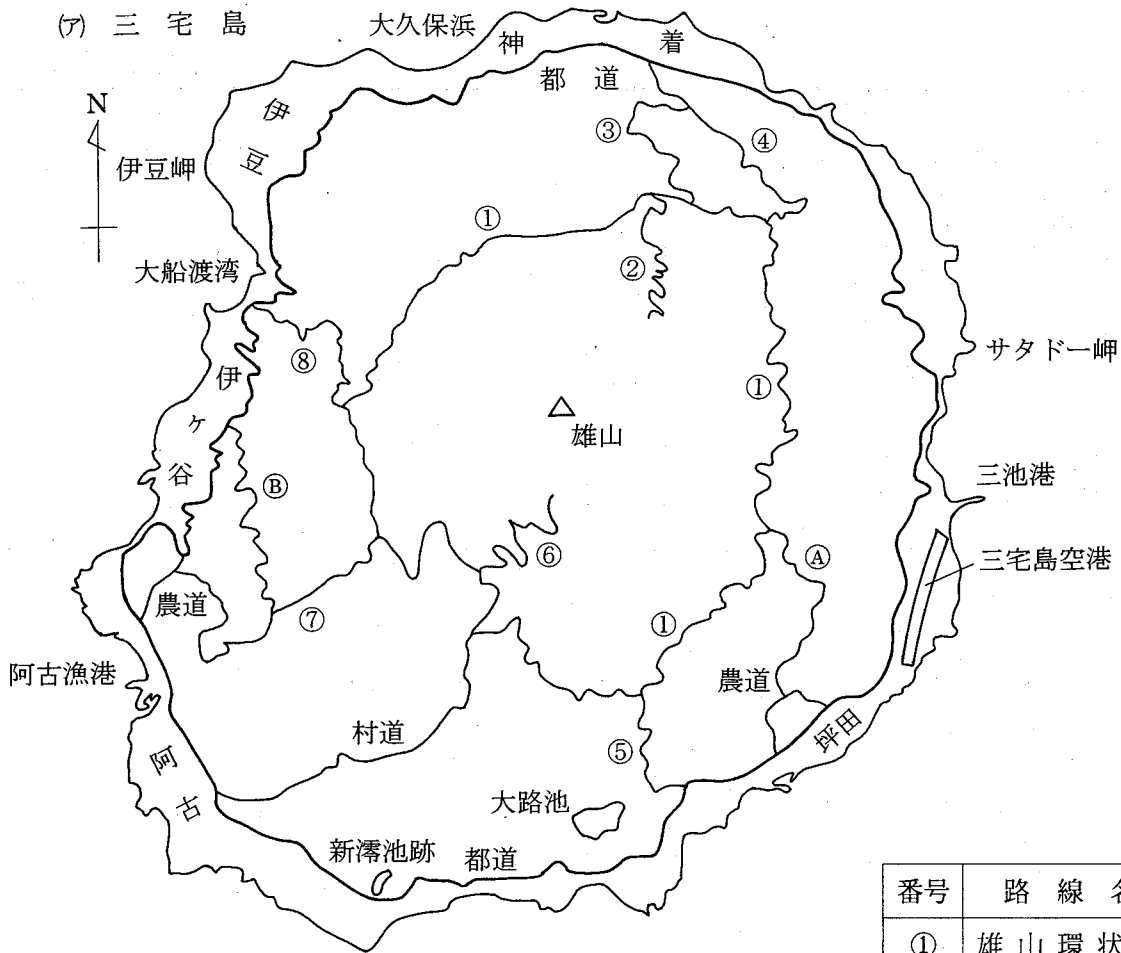
ア 林道の現況

(単位：延長・幅員m、工事費千円、利用区域 ha)

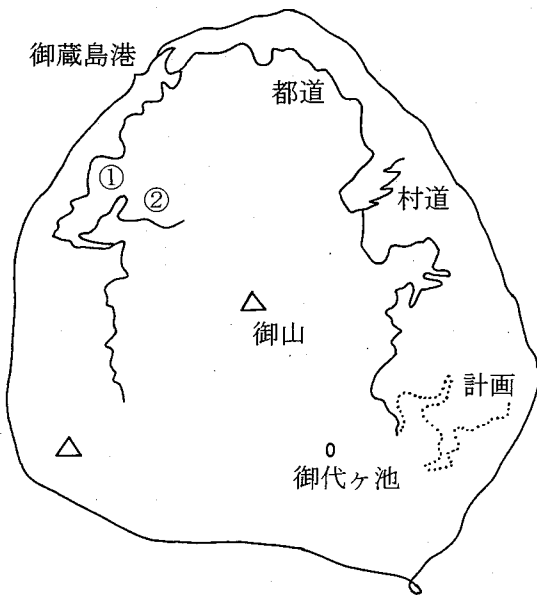
路線名	既 設			年度別工事費			備 考
	延 長	幅 員	利用区域	9	10	11	
雄山環状線	20,819	3.6・4.0	1,042	61,410	87,330	71,948	改築、災害 測量委託
神 着 線	2,845	3.6		3,983	6,531	7,000	
神 着 線	120	4.0	264				村 営
三の宮線	1,900	4.0	120				
土 佐 線	3,180	3.6・4.0	202	4,725	5,618	4,000	改 良
坪 田 線	1,347	4.0	41				
阿 古 線	2,377	3.6	317		2,993		
南 戸 線	3,077	3.6・4.0	140				
伊ヶ谷線	2,539	3.6	86	5,075			
上 山 線	1,977	4.0	56				村 営
清 水 線	4,544	4.0	116	14,300			村営、開設
計	44,725		2,384	89,493	102,472	82,948	
黒崎高尾線	6,000	3.0・4.0	576	7,718	7,069	5,000	
鳥の尾線	1,675	3.0	78				改 良
計	7,675		654	7,718	7,069	5,000	
合 計	52,400		3,038	97,211	109,541	87,948	

イ 林道位置図

(ア) 三宅島



(イ) 御蔵島



番号	路線名	管理
①	雄山環状線	都
②	神着線	〃
③	三の宮線	〃
④	土佐線	〃
⑤	坪田線	〃
⑥	阿古線	〃
⑦	南戸線	〃
⑧	伊ヶ谷線	〃
A	上山線	村
B	清水線	〃
計	10 路線	

①	黒崎高尾線	都
②	鳥の尾線	〃
計	2 路線	

(9) 森林組合の概要

ア 現 況

平成11年末現在

組合別	設立認可 年月日	所在地	出資金	組合員数	役員数			
					常 勤		非 常 勤	
					理 事	監 事	理 事	監 事
三宅村 森林組合	S 27. 7. 1	三宅村 役場内	千円 1,252	162人	0	0	8	2
御蔵島村 森林組合	S 27. 8. 4	御蔵島村 役場内	0	53	0	0	3	2

イ 事業実績

事業内容	年 度	9	10	11
造林事業受託		千円 41,142	47,274	47,145
苗木斡旋事業		本 29,700	22,650	23,630
造林補助金取扱		千円 2,185	980	980
購買品取扱（林業機械）		千円 3,092	918	409

(三宅村森林組合調べ)

3. 水産業

(1) 概要

三宅島の漁業は、トビウオ、タカベ、イセエビなどの刺網漁業、ムロアジの棒受網、定置網などの網漁業、カジキの突棒漁業、カツオ・マグロなどのひきなわ漁業、シマアジ・イカ・タイ類などの釣漁業、テングサ・トサカノリ・トコブシなどの採貝藻漁業が操業されている。

御蔵島では、タカベ・イセエビなどの刺網漁業、トサカノリなどの採藻漁業が少量であるが操業されている。

漁業を取りまく環境は、漁海況の変動による漁獲の低迷、漁業資材の高騰による漁家経営の圧迫、漁業者の後継者不足など、厳しさを増してきている。そのため三宅島の水産業は、資源管理型漁業の推進を図るとともに、地域の特性にあわせた漁家経営を確立し、もって漁協経営の安定を図ることが求められている。

漁業生産をみると、平成11年の漁獲量は523トンで8%の減少となり、生産額は253百万円で18%減少した。

漁船については、沿岸漁業改善資金（無利子）などの融資制度により資金の調達が容易になり、漁船の大型化や漁業用機器の近代化が進んでいる。

(2) 漁業協同組合の概要

組合員等の状況

平成11年12月31日現在（単位：人）

島 別	項 目	設 立	組 合 員 数			役 員 数		職 員 数
			正	准	計	理 事	監 事	
三 宅 島		45.12.16	172	918	1,090	9	3	13
御 蔵 島 村		25. 2. 6	72	0	72	5	2	2

（三宅島、御蔵島村漁協業務報告書）

(3) 漁業調整

管内の漁業は、磯根資源を対象とした共同漁業権漁業、網漁業を中心とした知事認可漁業及びひきなわ、底魚釣り等自由漁業に大別される。

ア 漁業権の免許内容

平成9年12月31日現在

免許 番号	漁業権の 種類	権利者の 名称	漁場の位置	漁業権の内容となる漁業名称	存続期間
共 16 号	第1種 共同漁業	三宅島 漁協	三宅島距岸 沖合 1,500mの周囲	いせえび、とこぶし、さざえ、あ わび、くぼがい、ばていら、ひろ せがい、てんぐさ、いわのり、は ばのり、とさかのり漁業	自平成5年9月1日 至平成15年8月31日
共 17 号	第2種 共同漁業	三宅島 御蔵島村 漁協	〃	たかべ建切網漁業 たかべ刺網漁業 いそ魚底刺網漁業	〃
共 18 号	第3種 共同漁業	三宅島 漁協	三宅村伊豆 大久保浜地	地びき網漁業	〃
共 19 号	第1種 共同漁業	三宅島 漁協	大野原島地先 距岸沖合1,500m の周囲	いせえび、とこぶし、さざえ、あ わび、くぼがい、ばていら、ひろ せがい、てんぐさ、いわのり、は ばのり、とさかのり漁業	〃
共 20 号	第2種 共同漁業	三宅島 御蔵島村 漁協	〃	たかべ建切網漁業 たかべ刺網漁業 いそ魚底刺網漁業	〃
共 21 号	第1種 共同漁業	御蔵島村 漁協	御蔵島村地先 距岸沖合1,000m の周囲	いせえび、とこぶし、くぼがい、 ばていら、てんぐさ、いわのり、 はばのり、とさかのり漁業	〃
共 22 号	第2種 共同漁業	三宅島 御蔵島村 漁協	〃	たかべ建切網漁業 たかべ刺網漁業 いそ魚底刺網漁業	〃

(4) 漁船の概要

ア 登録漁船の推移

各年12月31日現在

年 度	三 宅 管 内			平 均	
	隻 数	ト ン 数	馬力数 (PS)	ト ン 数	馬力数 (PS)
9	203 (6)	648.38	10,489	3.19	51
10	203 (0)	674.71	10,620	3.32	52
11	204 (0)	697.53	10,776	3.42	53

注) () 内は木船の隻数

(三宅支庁産業課調べ)

イ 地区別トン数ランク別登録漁船の数構成

平成11年12月31日現在 (単位: 隻)

地 区	トン数ランク	トン数ランク					計
		1トン未満	1～3トン	3～5トン	5～10トン	10トン以上	
神 着		18	15	7	1	2	43
伊 豆		10	7	3	2	1	23
伊 ケ 谷		16	5	0	0	1	22
阿 古		2	14	10	13	10	49
坪 田		7	3	9	8	3	30
御 蔵 島 村		24	9	0	1	0	34
計		77	53	29	25	17	201

(三宅支庁産業課調べ)

ウ 漁業許可及び委員会指示届出

地 区	漁業種類	漁業種類								合 計	
		あ じ ば 棒受網	底 立 て はえ縄	底 魚 一本釣	ひき縄	かつお まぐろ	い か つ り	浮 き はえ縄	は ご つ り		か に か ご
神 着		0	0	0	0	0	3	0	3	1	7
伊 豆		0	0	1	1	1	2	2	3	0	10
伊 ケ 谷		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
阿 古		2	2	0	0	0	10	5	20	1	40
坪 田		0	1	0	0	0	8	0	16	1	26
御 蔵 島		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2	3	1	1	1	23	7	43	3	84

(三宅支庁産業課調べ)

エ 取締実績

平成11年度三宅支庁管内の漁業取締実績

回数	種類	海上	陸上	やしお	みやこ	合計
	計	10	30	39	46	125

(5) 漁業近代化資金（利子補給）貸付実績

(単位：千円)

種類	年度	9	10	11
漁船		7,900	—	7,700
その他		—	—	—
合計		7,900	—	7,700

(6) 沿岸漁業改善資金（無利子）貸付実績

(単位：千円)

種類	種 目	9	10	10
経営改善資金	操船作業省力化機器等設置資金	1,000	—	735
	漁労作業省力化機器等設置資金	—	—	630
	補助機関等駆動等機器設置資金	—	—	—
	漁船衝突防止機器等購入等資金	—	—	—

(7) 沿岸漁業構造改善事業および島しょ漁業振興施設整備事業

(単位：千円)

事業種類	事業量	総事業費	国費	都費	地元負担
漁業近代化施設整備事業	船場施設 一式	19,950	7,980	6,982	4,988
流通等改善施設整備事業	製氷・冷蔵付帯設備	6,000	—	4,500	1,500
	簡易蓄養施設	32,500	—	24,375	8,125

(8) 沿岸漁場整備開発事業

(単位：千円)

事業種類	事業量	総事業費	国費	都費	地元負担
地先型増殖場造成事業	異型シェークブロック20 TON型 134基製作 育成礁（割栗石1～2 t） 3,700 m ³	80,650	40,325	40,325	—

(9) 漁獲量

ア 主要魚種別漁獲量、生産額の推移

(単位：漁獲量 kg
金額 千円)

年度		8	9	10	11
種別	数量				
	金額				
さば	数量	996	1,264	814	290
	金額	192	173	129	49
とびうお	数量	14,461	8,088	15,951	7,787
	金額	5,074	3,230	4,250	2,495
むろあじ	数量	32,189	38,542	40,502	14,640
	金額	11,326	13,305	9,577	2,499
まあじ	数量	73	398	226	0
	金額	45	171	109	0
しまあじ	数量	965	759	808	392
	金額	3,752	3,617	4,050	1,457
たかべ	数量	19,780	29,113	24,037	30,775
	金額	34,973	34,367	25,496	26,840
いさき	数量	573	841	885	1,320
	金額	827	1,177	1,032	1,535
かつお類	数量	40,901	33,774	38,027	10,091
	金額	25,711	18,834	21,394	4,895
まぐろ類	数量	33,541	15,474	34,932	6,709
	金額	22,942	14,863	23,251	5,947
かじき類	数量	411	5,503	1,264	6,765
	金額	317	8,839	1,949	6,753
きんめだい	数量	27,155	25,187	19,821	13,724
	金額	25,511	24,744	18,885	12,140
ひめだい	数量	751	773	394	713
	金額	887	866	413	660
はまだい	数量	1,296	170	525	31
	金額	3,400	362	1,334	72
あおだい	数量	3,486	3,149	5,199	2,903
	金額	3,895	3,684	7,981	3,354
めだい	数量	12,995	8,690	7,393	7,277
	金額	11,735	6,719	5,244	5,463
あこうだい	数量	2,370	604	124	3,605
	金額	3,272	811	172	3,214
まだい	数量	145	215	169	94
	金額	285	419	326	182
ひらまさ	数量	4,765	8,767	4,157	5,780
	金額	6,947	11,900	4,929	5,781

種 別		年 度			
		8	9	10	11
か ん ば ち	数 量	5,764	4,805	8,606	4,618
	金 額	10,926	9,773	12,277	6,243
さ わ ら	数 量	764	1,789	10,911	3,244
	金 額	414	1,062	4,363	1,387
む つ	数 量	1,434	2,870	515	1,453
	金 額	2,136	2,587	557	1,706
さ め 類	数 量	25	—	—	—
	金 額	5	—	—	—
ぶ り 類	数 量	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—
ひ ら め	数 量	10	24	26	6
	金 額	28	56	69	10
ぼ ら 類	数 量	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—
その他の魚類	数 量	42,338	41,262	19,301	22,969
	金 額	31,427	26,105	14,742	16,026
魚 類 計	数 量	247,188	232,061	234,587	145,186
	金 額	206,027	187,664	162,529	108,708
か め	数 量	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—
い か	数 量	7,861	4,302	2,096	5,057
	金 額	14,253	7,752	4,431	10,185
い せ え び	数 量	6,575	10,295	11,971	9,517
	金 額	49,320	77,222	42,026	30,596
と こ ぶ し	数 量	790	1,440	2,340	1,856
	金 額	2,764	5,125	8,511	6,699
そ の 他	数 量	1,667	154	36	676
	金 額	485	101	29	391
水産動物計	数 量	16,893	16,191	16,443	17,106
	金 額	66,822	90,200	54,997	47,871
て ん ぐ さ	数 量	280,888	231,952	260,728	299,920
	金 額	64,886	52,655	67,399	71,307
と さ か の り	数 量	5,994	59,269	59,065	60,506
	金 額	3,494	44,739	23,465	25,233
その他の藻類	数 量	2,495	2,393	—	—
	金 額	8,734	8,379	—	—
藻 類 計	数 量	289,377	293,614	319,793	360,426
	金 額	77,114	105,773	90,864	96,540
合 計	数 量	553,458	541,866	570,823	522,718
	金 額	349,963	383,637	308,390	253,119

イ 地区別魚種別漁獲量 (平成11年)

(単位: 漁獲量 kg
生産額 千円)

種別 \ 地区	神 着	坪 田	阿 古	伊ヶ谷	伊 豆	三宅島	御蔵島	合 計
さ ば	7	0	106	174	3	290	0	290
とびうお	1,651	4,326	1,713	0	97	7,787	0	7,787
むろあじ	0	0	5,789	8,851	0	14,640	0	14,640
しまあじ	30	71	165	123	0	389	3	392
た か べ	212	47	22,811	5,719	0	28,789	1,986	30,775
か つ お	1,060	670	6,587	86	571	8,974	34	9,008
そうだがつお	62	2	732	287	0	1,083	0	1,083
きはだ	18	927	579	43	4,205	5,772	0	5,772
かじき	129	4,338	1,354	0	944	6,765	0	6,765
め じ	0	783	122	0	0	905	0	905
た い 類	0	9	33	46	6	94	0	94
きんめだい	38	9	9,766	0	3,911	13,724	0	13,724
め だ い	30	794	3,507	0	2,946	7,277	0	7,277
ひめだい	371	30	284	6	22	713	0	713
はまだい	2	11	7	0	11	31	0	31
あおだい	455	386	1,991	27	44	2,903	0	2,903
ひらまさ	20	16	4,533	1,188	12	5,769	11	5,780
かんぱち	61	0	2,455	2,052	15	4,583	35	4,618
その他の魚類	1,773	4,423	17,081	7,832	1,485	32,594	35	32,629
魚 類 計	5,919	16,842	79,615	26,434	14,272	143,082	2,104	145,186
魚 類 金 額	4,277	13,538	60,298	16,483	11,947	106,543	2,165	108,708
い か	82	1,984	2,358	434	199	5,057	0	5,057
え び	1,851	3,164	1,827	78	2,110	9,030	487	9,517
とこぶし	504	585	432	294	41	1,856	0	1,856
その他の水産動物	0	0	361	0	0	361	315	676
水産動物計	2,437	5,733	4,978	806	2,350	16,304	802	17,106
水産動物金額	7,497	16,242	12,215	2,215	6,261	44,430	3,441	47,871
てんぐさ	77,968	153,924	55,808	6,364	5,856	299,920	0	299,920
とさかのり	10,446	13,687	20,415	8,412	1,178	54,138	6,368	60,506
その他の藻類	0	0	0	0	0	0	0	0
藻 類 計	88,414	167,611	76,223	14,776	7,034	354,058	6,368	360,426
藻 類 金 額	23,112	42,612	21,279	4,839	1,913	93,755	2,785	96,540
数 量	96,770	190,186	160,816	42,016	23,656	513,444	9,274	522,718
金 額	34,886	72,392	93,792	23,537	20,121	244,728	8,391	253,119

ウ 漁業種類別漁獲量 (平成11年)
(単位: kg)

漁業種類	漁獲量
とび流し刺し網	0
とび流しまき網	0
たかべ刺し網	6,200
建 切 網	17,433
あじさば棒受網	0
底 魚 釣 り	40,522
い か つ り	2,447
ひ き な わ	24,558
突 ん 棒	2,737
えび刺し網	9,517
その他の刺し網	6,602
定 置 網	47,725
採 貝	2,532
採 藻	360,426
そ の 他	2,019
合 計	522,718

4. 商 工 業

(1) 中小企業、商工業者経営指導

管内の商工業者数は、下表のとおりである。これら島内商工業の消長が島の経済に与える影響は極めて大きく、島民生活の安定に大きな影響を及ぼす。そのため、商工会を中心に経営相談、金融あっせん、企業診断等指導を行い、中小企業の振興を図っている。

ア 業種別商工業者数

11. 4. 1 現在

業種別 地区別	建設業	製造業	卸・ 小売業	金 融 保険業	運 輸 通信業	電気・ガ ス水道業	サービ ス 業	その他	計
神 着	9	4	18	3	6	0	22	0	62
伊 豆	4	4	6	0	2	1	7	0	24
伊ヶ谷	1	0	4	0	1	0	4	0	10
阿 古	15	3	45	0	5	0	51	0	119
坪 田	15	3	40	1	3	0	46	3	111
御蔵島	3	4	6	0	0	0	8	0	21
計	47	18	119	4	17	1	138	3	347

(三宅村商工会調べ)

イ 商工会の概況

11. 4. 1 現在

設 立	設立総会 46. 1. 18 認可 46. 4. 15 登記 46. 6. 3				
会 員 数	設立時 108 現在 286 組織率 82.4%				
役員、職員数	役員30名 (会長 副会長 理事 監事) 1 2 25 2) 職員5名 (事務局長 経営指導員 補助員 記帳専任) 1 2 1 1)				
平成11年度 一般会計総額	50,639千円	都補助金 28,949千円	村補助金 9,210千円	特別会計繰入金 3,000千円	会費その他収入 9,480千円
特 別 会 計 商 工 会 館	1,015千円	一般会計繰入 0千円	使用料収入 572千円	繰越その他 443千円	
労 働 保 険	5,304千円	事務手数料 2,244千円	繰越金 1,974千円	そ の 他 1,086千円	

(2) 中小企業短期事業資金等融資あっせん状況

種別：中小企業短期事業資金、設備近代化資金、制度融資資金

実績

(単位：件、千円)

種別	年度別	8	9	10	11
	中小企業短期事業資金	件数	-	-	-
金額		-	-	-	20,000

(3) 産業保安対策

ア 火薬類の消費許可状況（平成11年度）

許可権者	件数	爆薬	雷管	その他
知事	7	1,919.5kg	20,225個	(煙火) 1,525個
支庁長	6	42.4	1,018	(残火薬処理) 6発 519.9kg
計	13	1,961.9	21,243	-

(三宅支庁産業課調べ)

5. 観 光

(1) 概 要

ア 三 宅 島

三宅島は、周囲を流れる黒潮海流の影響をうけて、四季を通じて温暖多湿な海洋性気候となっていて、富士箱根伊豆国立公園に編入されて以来、観光地として脚光をあびている。

三宅島は他の島にくらべて、非常に複雑な火山島で側火口の数が多い点では、わが国火山史上に類を見ない烈火山といわれ、火口湖が存在し、ことに火山線や餅溶岩は非常に珍しいものといわれている。また、伊豆諸島の中でも豊かな自然を保持している。他島に比べ野鳥の種類が豊富であるため、バードウォッチングを目的とする来島者数も多く、また周辺海域は良好な漁場でもあり、海中さんご礁の景観も良く、一年を通して釣客やダイバーが来島している。昭和58年10月の噴火により、温泉をはじめ野鳥の生息地である大路池、新濤池等、壊滅的な被害をうけた生態系もようやく復元しつつある。

観光客数は、昭和48年をピークに減少しているため、新たな観光振興策が求められており、都は、東京都観光事業審議会の「多摩・島しょ地域の観光活性化方策」の答申を受けて、各関係団体との連携を図りつつ、振興策を具体化して来た。平成4年7月、東京都島しょ振興構想懇談会の報告もあり、今後さらにきめ細かな振興策が実施されることを期待する。

イ 御 蔵 島

御蔵島は、鐘状火山島で中央に御山(850.8m)があり、山頂より急峻な山峡が海岸線まで続く複雑な地形である。温暖多雨な海洋性気候の影響で、東南の山腹には火口湖もあり、豊富な水資源に恵まれて、ハチジョウグワの老木とスダジイ、ツゲの天然木が全島をおおい、至る所に小河川が存在している。降雨期になると高い落差から飛瀑となって海に落下する滝は、他に類を見ない壮観な自然美である。

また、都道、林道の整備も進み、ツゲ、ハチジョウグワ等の素材搬出が容易となって、高級な木工品の製作も行なわれている。一方、オオミズナギドリ(別名カツオドリ)群生地としても有名で、島の東南部に営巣し、「渡り鳥条約」による国際保護鳥に指定されている。

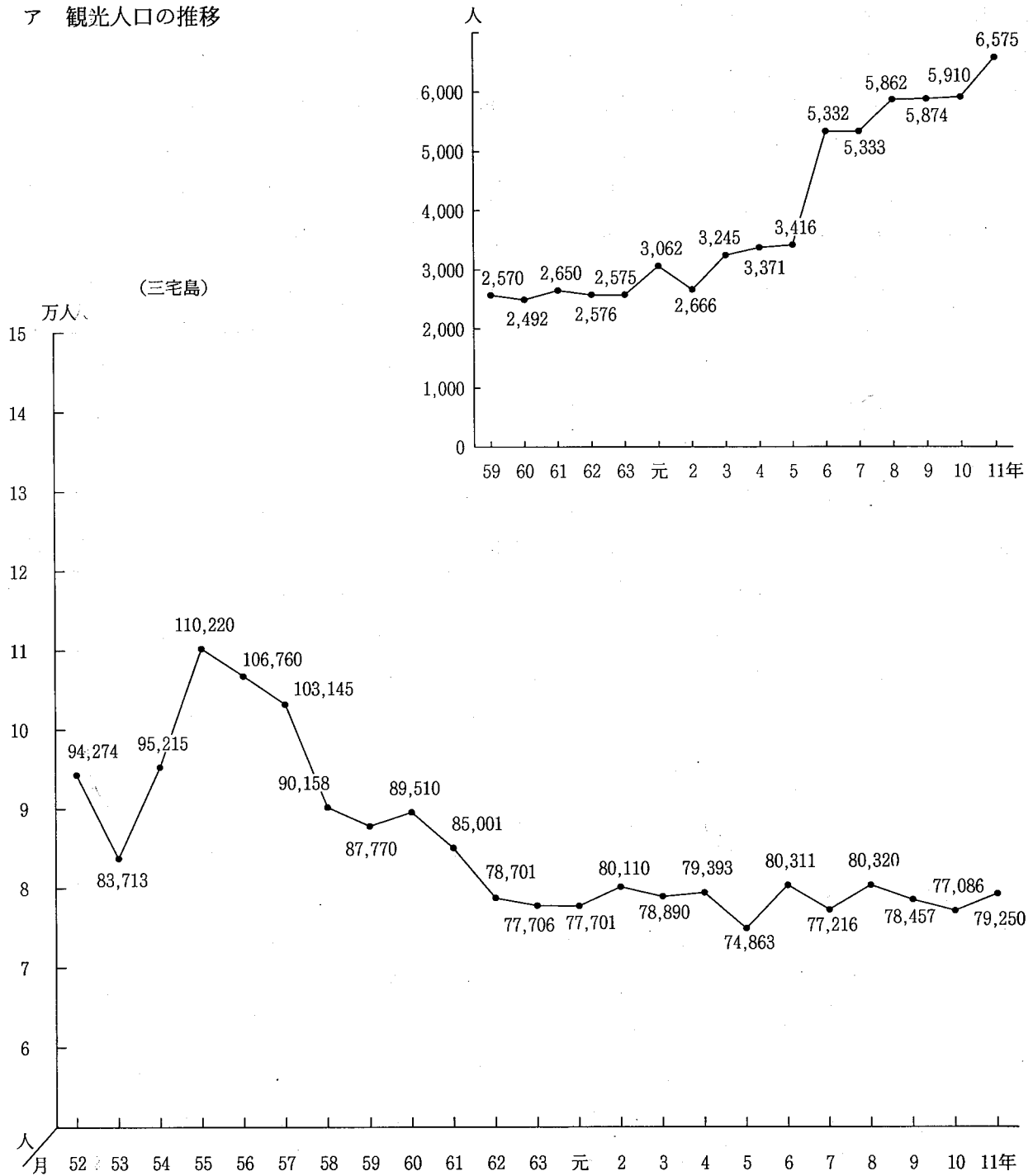
ウ 各島間の交通

平成元年度から行ってきた「ヘリ・通勤ター」の定期航空路が5年度から開設され、伊豆諸島の島々を結ぶ交通体系が確立し、各島間のネットワークが拡大した。

管内においても、「ヘリ・通勤ター」のネットワークにより、八丈島～御蔵島～三宅島～利島への直接往復、またその先の島へのネットと飛躍的に拡大した。

(2) 来島者の状況

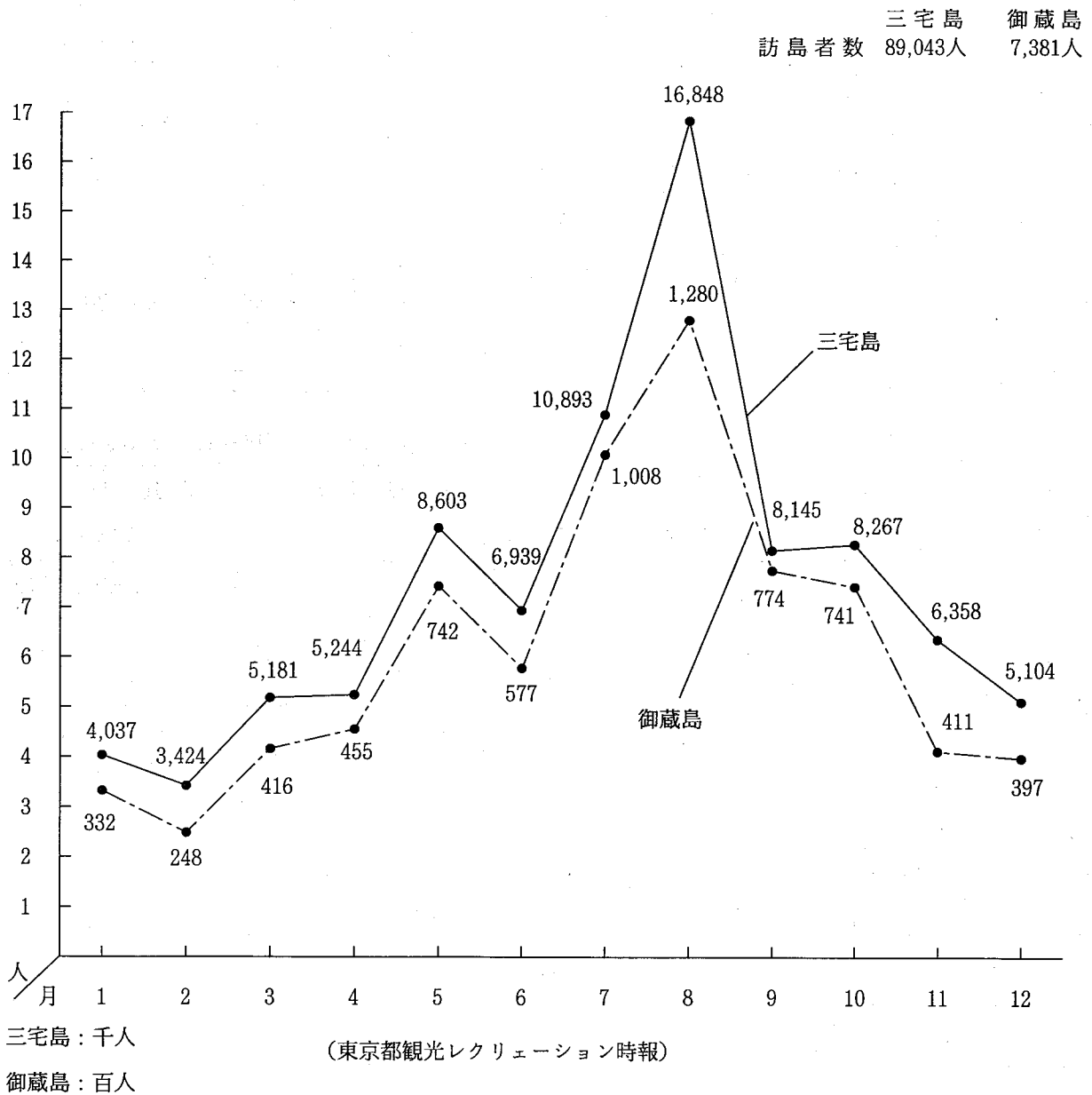
ア 観光人口の推移



イ 年別、交通機関別来島者の状況

交通機関		年	9	10	11
航空機	三宅島		23,624人 (26.8)%	27,620人 (30.5)	22,226人 (25.0)
	御蔵島		2,337 (35.7)	2,181 (31.4)	2,438 (33.0)
船舶	三宅島		64,530 (73.2)	63,070 (69.5)	66,817 (75.0)
	御蔵島		4,204 (64.3)	4,773 (68.6)	4,943 (67.0)
計	三宅島		88,154 (100.0)	90,690 (100.0)	89,043 (100.0)
	御蔵島		6,541 (100.0)	6,954 (100.0)	7,381 (100.0)

ウ 平成11年月別訪島者の推移



(3) 宿泊施設の状況

ア 種別宿泊施設と収容人員

11. 12. 31現在

地区	種別	旅館		民 宿		ユースホステル		キャンプ場		合 計
		ホテル	通年	季節	公営	民営	公営	民営		
三宅	軒数	23	69	—	—	—	—	4	—	96
	定員	703	1,560	—	—	—	—	360	—	2,623
御蔵	軒数	—	6	—	—	—	—	1	—	7
	定員	—	92	—	—	—	—	20	—	112

(東京都観光レクリエーション時報)

(4) 交通機関

ア 船 便

運行機関	就航船名	運行区間	備 考
東海汽船	すとれちあ丸	東 京⇔三宅島	(東京発前日22:30) (着) 5:00 (発) 14:10 (火曜日 御蔵島寄港のため (発) 14:50)
		三宅島⇔八丈島	(発) 5:30 (八丈島発10:10) (着) 13:50 火曜日 御蔵島寄港のため (着) 14:20
		三宅島⇔御蔵島	(発) 5:30 (御蔵島発13:40) (着) 14:30 毎週火曜日就航 (夏季を除く)
伊豆諸島海運	黒 潮 丸	三宅島⇔御蔵島	(発) 6:00 (御蔵島発8:00予定) (着) 9:00 毎週月・木曜日就航 (御蔵島発時刻は不定時)
	えびね丸	三宅島⇔御蔵島	(発) 8:30 (御蔵島発9:40) (着) 10:25 月曜日 (発) 14:00 (着) 16:15 木曜日運休

(三宅支庁調べ)

イ 航空便

運 行	機 種	運行区間	備 考
エアーニッポン	Y S 11 (定員64名)	東 京⇔三宅島	1日2便 就航ダイヤ時刻は、季節により変更
愛らんどシャトル	アエロスペシャル (定員9名)	八丈島⇔御蔵島 御蔵島⇔三宅島 三宅島⇔利 島 利 島⇔大 島	就航ダイヤ・時刻は、季節により変更

(三宅支庁調べ)

第 8 土 木

第 8 土 木

1. 概 況

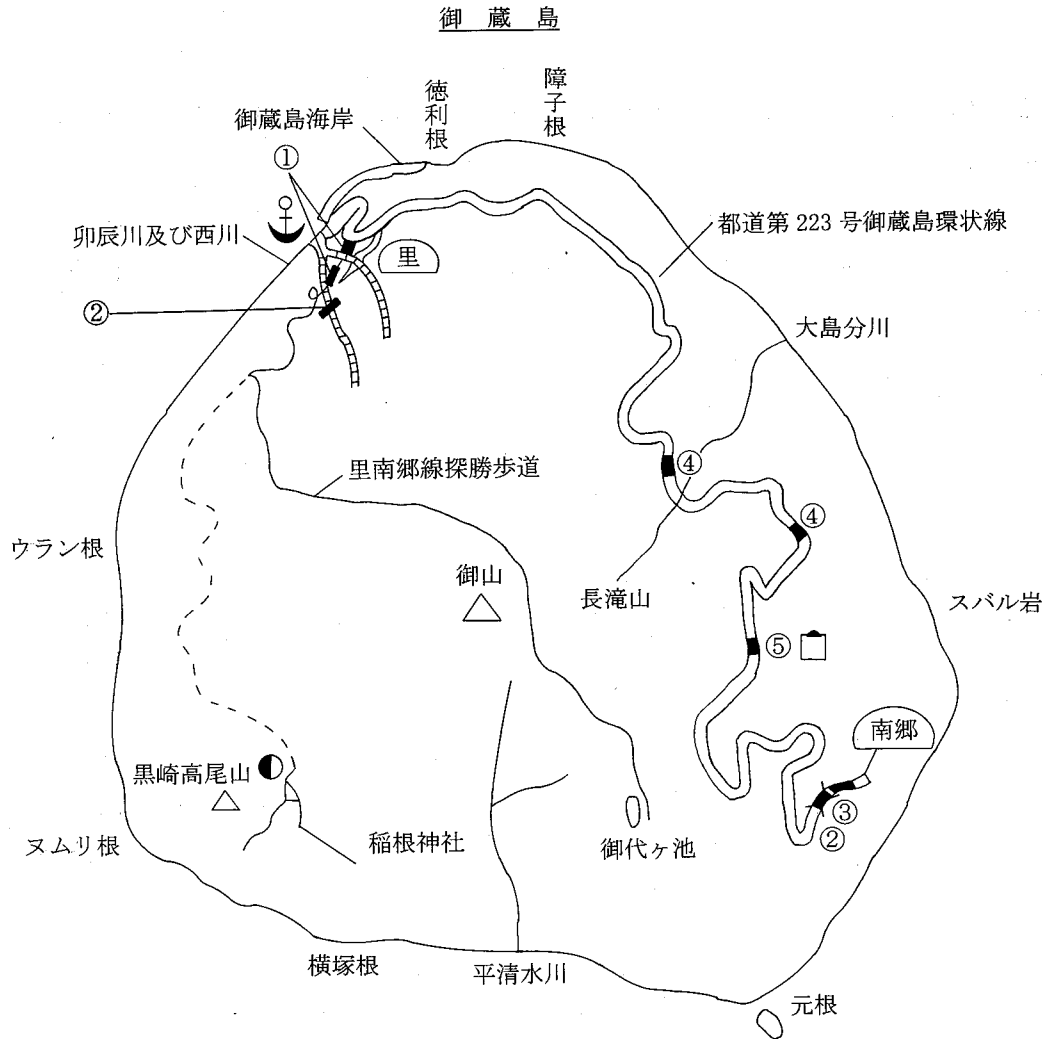
三宅島、御蔵島島民の生活、社会・経済活動の基盤である道路をはじめ、橋梁、砂防海岸、公園施設の建設並びにこれら施設の管理などの土木事業を進めている。

道路事業についてみると管内の道路は、全般的に屈曲が多いうえ勾配の急な箇所が多く、また、集落内道路の幅員の狭小、歩車道の未分離、視距の不良、海側路肩の軟弱化、山側の法面崩壊の危険性など、多くの課題を抱えている。これらの対策として、道路の拡幅・勾配の緩和・視距の改良などの改修工事及び歩道設置などの交通安全施設の整備とともに、既設道路の適正な維持管理のため、道路清掃や沿道及び植樹帯の除草等を実施している。

砂防海岸事業では、降雨時の水害及び土石流による、公共施設や集落などへの被害を防止するため、砂防施設の整備に努めている。また、浸食性の海岸部においては波浪による浸食から生活環境を保全するため、海岸保全施設の整備を行っている。

公園事業については、三宅・御蔵両島とも自然公園法により海岸から1キロメートル沖合い以内が国立公園（集落地を除く）に指定されており、その優れた自然景観の保全に努めている。また、自然公園は憩いと安らぎの場及びレクリエーションの場としても大きな効用を持っており、近年の余暇時間の増大等とあいまって、その必要性が一層高まっていることを背景に、園地内トイレや休憩施設等の整備、補修など、自然公園施設の整備促進に努めている。

2. 管内施設図

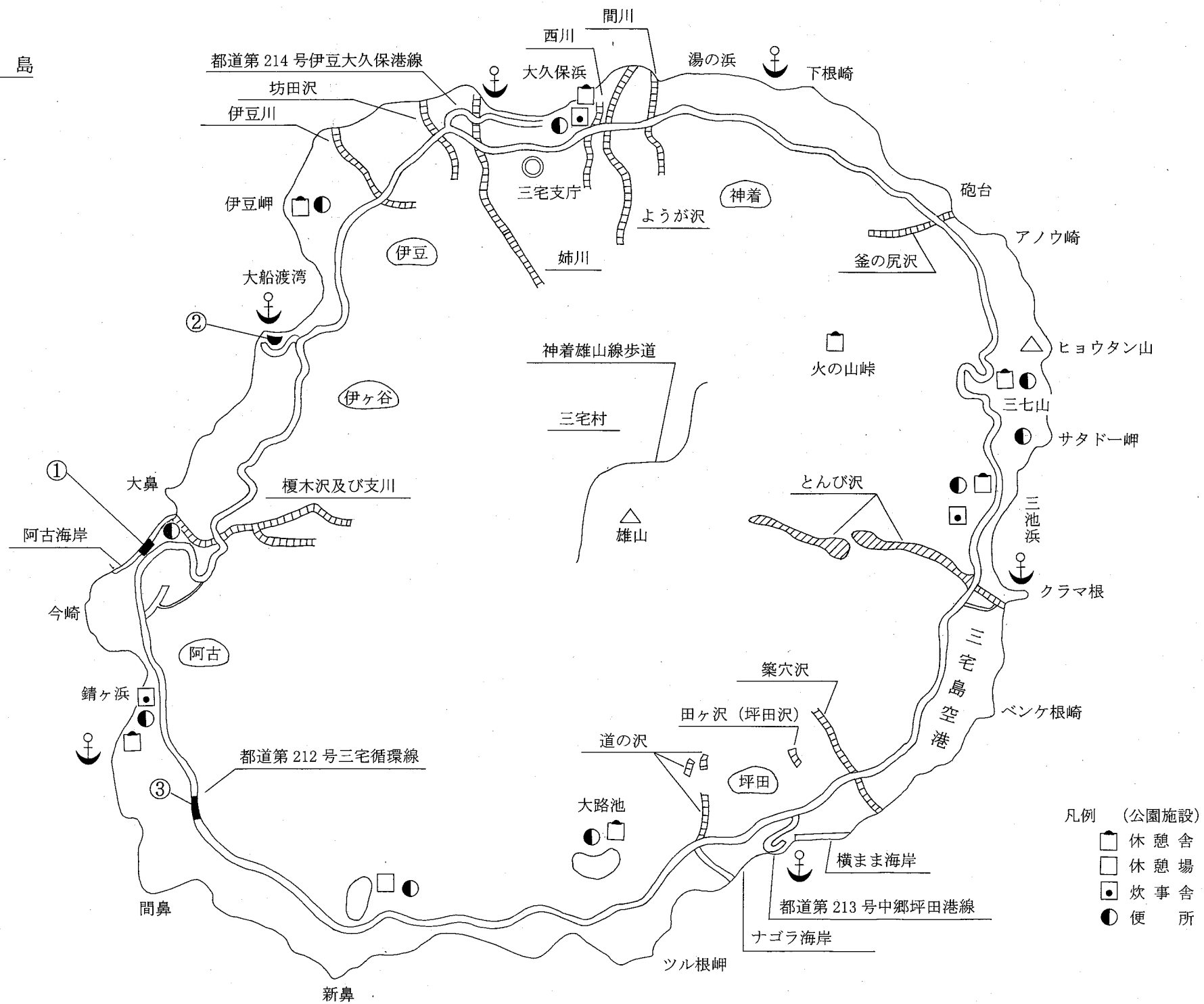


平成11年度主要事業

図面 番号	工 事 名	事 業 内 容
①	道路改修工事（三-里の5）	道路改修
②	道路改修工事（三-御蔵島港の1）	道路改修
③	御蔵島西川砂防ダム工事（その1）	工事用道路、土工
④	御蔵島道路災害防除工事	落石防止網・法枠設置

平成11年度 主要事業

三宅島



図面番号	工事名	事業内容
①	阿古海岸護岸整備工事(その1)	護岸ブロック製作
②	伊ヶ谷地区急傾斜地崩壊対策工事(その3)	落石防護柵設置
③	歩道設置工事(薄木の2)及び路面	歩道設置、車道改修
④	補修工事	

3. 道 路

(1) 路線及び延長

12. 4. 1 現在

整理番号	路線名	起 終 点	延 長
都道第212号	三宅循環線 (通称 三宅一周道路)	三宅村神着～神着	32,896m
都道第213号	中郷坪田港線	三宅村坪田中郷 三宅循環線交差点～坪田港	867m
都道第214号	伊豆大久保港線	三宅村伊豆 三宅循環線交差点～大久保港	1,205m
小 計			34,968m
都道第223号	御蔵島環状線	御蔵島港～中町21先	(認定延長) 26,000m

注 1 三宅循環線(神着～神着)は一周道路で100m間隔で距離標を設置してある。

2 三宅循環線には伊ヶ谷漁港に通じる枝線793.68m及び、三池港に至る枝線319.02mを含む。

(2) 道路状況

ア 三宅島

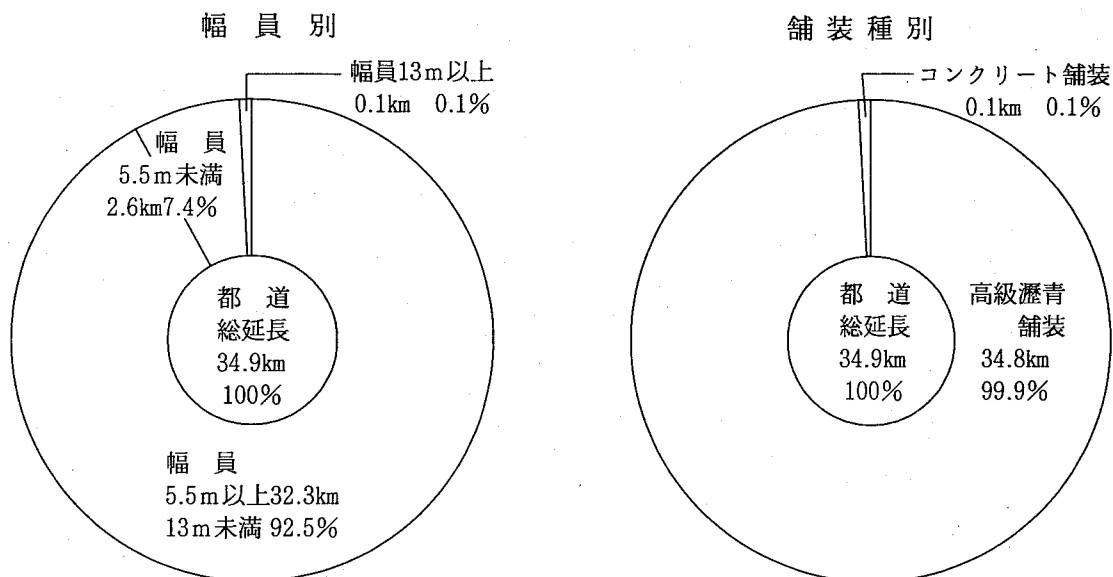
三宅島の都道は、都道第212号(三宅循環線)を軸として、港湾に通じる都道第213号(中郷坪田港線)、都道第214号(伊豆・大久保港線)からなっている。

都道の総延長は約35.0kmであり、舗装率は100%である。

幅員別整備状況を見ると、5.5m以上の改良済延長は32.3kmで都道総延長の約92.6%、5.5m未満の改良済延長は2.6kmで約7.4%となっている。

従来より歩道の設置工事とともに拡幅整備工事を進めており、これに伴って道路改良率も年々向上している。

三宅島(12. 4. 1 現在)

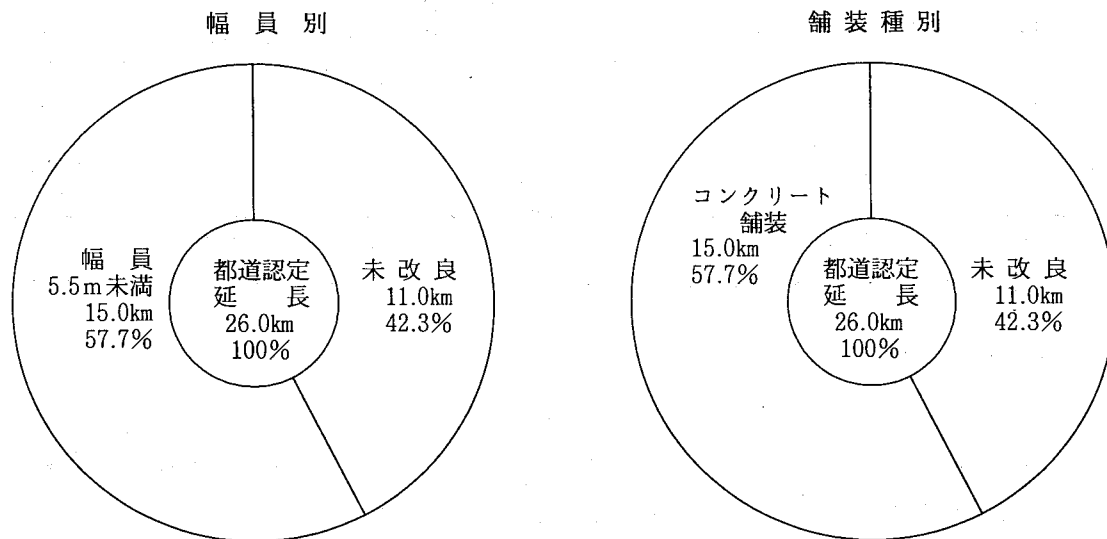


イ 御 蔵 島

都道第223号（御蔵島環状線）の認定延長は26kmである。このうち、幅員3.5m以上の改良道路の延長は15.0kmであり、他は幅員1m内外の未改良道路である。

御蔵島の都道の整備は、島内の森林資源の開発、産業の発展に資するため、急峻な地形、厳しい気象条件の下で進められている。

御 蔵 島 (12. 4. 1 現在)



(3) 道路の管理

ア 道路台帳

道路台帳については、47年度に整備し、道路台帳、平面図（地下埋設物台帳を含む）、道路台帳調書、橋りょう調書を備え、改修事業の進捗に伴って補正を加えている。

イ 道路監察

道路をとおして生活圏が形成され、公的又は私的な諸活動が展開される結果、道路を交通以外の目的に使用し、道路管理者の許可を受けずに、他の目的に使用する等の事例があるため、道路監察を行い、道路機能の保持に努めている。

ウ 道路の維持補修

8年4月現在三宅島内の都道の総延長は約34.9キロメートル、御蔵島内の改良済都道延長は15.0キロメートルである。

道路の維持補修事業としては、応急補修を中心とした道路維持と、路面及び道路施設の損傷、機能低下の回復を図る道路補修を行っている。

(4) 交通安全施設の整備

交通安全施設の整備としては、歩行者と自動車を分離する歩道の設置、視距の改良及び歩行者の安全を確保する歩行帯の設置、その他防護柵、街路灯、道路標識類の整備を行っている。

交通安全施設現況

12. 4. 1 現在

区 分	三 宅 島	御 蔵 島
歩 道	19,933m	0m
防 護 柵	12,799m	8,743m
街 路 灯	963灯	79灯
反 射 鏡	79本	104本
道 路 標 識	97基	21基

(5) 橋の現況

12. 4. 1 現在

区 分	橋 の 数	延 長	面 積
三 宅 島	23ヶ	460.3m	4,437.7㎡
御 蔵 島	34	431.3	2,686.6
計	57	891.6	7,124.3

(6) 交通量

平成9年10月26日調査

種類 観測地点	歩 行 者 人	自 転 車 台	動 力 付 二 輪 車 台	自 動 車		
				大型車類 台	そ の 他 台	自動車類計 台
伊豆三宅支庁前	29 (41)	5 (3)	48 (18)	124 (262)	1,420 (1,469)	1,544 (1,731)
阿古横座前	185 (134)	17 (23)	51 (36)	113 (93)	1,615 (1,428)	1,728 (1,521)
坪田三池浜前	35 (120)	1 (12)	39 (28)	200 (234)	1,743 (1,872)	1,943 (2,106)
坪田中学校前	90 (81)	5 (7)	19 (12)	71 (20)	484 (394)	555 (414)
伊ヶ谷診療所下	13 (48)	0 (0)	7 (2)	34 (16)	203 (219)	237 (235)

- 注 1 下段 () 内は平成6年11月14日調査である。
2 午前7時から午後7時までの12時間交通量である。

4. 砂防海岸

(1) 砂防

ア 砂防現況

三宅島、御蔵島の両島で砂防指定を受けている河川は、13河川である。御蔵島の西川を除き晴天時の流水はないが、降雨時の土砂の流出による災害を防止するため、堰堤や流路工などの整備事業を実施している。

イ 緊急砂防事業

平成12年の噴火活動により、泥流被害が島の名所で発生しており、12年度から13年度にかけて初期に被害の発生した16沢について砂防ダム、流路工の整備を緊急に進めることに加え、家屋等への泥流被害拡大防止のため、ブロックや土のう積等により、面的な整備を実施する。

ウ 砂防指定地

区分	指定河川の名称	延長 m	告示年月日	所在
1	とんび沢	2,477	昭和25. 6. 1	三宅村 坪田
2	西川	594	" 33. 3. 3	" 神着
3	間川	750・380	昭33. 3. 3・平7. 2. 22	" "
4	卯辰川及西川	1,380	昭和34. 5. 20	御蔵島村
5	榎沢及支川	1,500	" 37. 11. 13	三宅村 阿古
6	姉川	2,000	" 37. 11. 13	" 伊豆
7	伊豆川	1,320	" 41. 8. 16	" "
8	釜の尻沢	183	" 41. 8. 16	" 神着
9	坊田沢	940	" 45. 10. 7	" 伊豆
10	ようが沢	1,500	" 47. 11. 24	" 神着
11	道の沢	109	" 59. 1. 28	" 坪田
	"	108	" 60. 12. 21	" "
	"	706	" 62. 1. 26	" "
12	田ヶ沢（坪田沢）	200	" 59. 1. 28	" "
13	筑穴沢	160	" 59. 1. 28	" "
	"	666	" 60. 12. 21	" "

※ 緊急砂防事業の実施に併行して、追加指定の手続を行う予定である。

(2) 海岸保全

ア 海岸保全区域として指定されている箇所は、三宅島3（横ま、ナゴラ海岸、阿古海岸）、御蔵島1（御蔵海岸）計4箇所であり、海岸浸食から生活環境を保全するため、コンクリート護岸、消波堤等の整備事業を実施している。

横ま海岸は59年度、御蔵海岸は平成9年度、ナゴラ海岸は平成10年度に事業を完了している。阿古海岸は平成11年度より、緩傾斜護岸の整備事業を実施している。

イ 海岸保全区域指定地

区 分	指定河川の名称	延 長 m	告示年月日	指 定 庁
1	阿 古 海 岸	900	昭和34. 11. 10	東 京 都
2	御 蔵 海 岸	300	” 34. 11. 10	”
	”	380	” 61. 7. 28	”
3	横 ま ま 海 岸	500	” 41. 12. 22	”
4	ナ ゴ ラ 海 岸	420	平成 3. 3. 22	”

5. 自然公園

三宅島、御蔵島の両島は、すぐれた自然環境を持つことから、富士箱根伊豆国立公園に指定され、これら自然環境の保護とその利用の増進が図られている。

(1) 指 定

- 昭和30年4月1日 国定公園指定（伊豆七島国定公園）
- 昭和32年10月 特別地域指定
- 昭和39年7月7日 国立公園指定（富士箱根伊豆国立公園に編入）
- 昭和59年5月25日 御蔵島の公園計画を変更
- 平成6年11月7日 三宅島の公園計画を変更

三宅島の公園計画の変更は、再検討中の昭和58年10月に島の南西部で火山爆発が生じ、島内の自然及び社会状況に著しい変化をもたらしたため、再検討の対象から除外され、それ以降公園計画の変更は行われていなかった。

一方、三宅島を取り巻く社会経済情勢は、指定当時と比較すると、航路、空路の輸送力の増大、地元産業の発展等大きく変化し、この地域の優れた自然を求める利用者が増大するとともに、その利用形態も多様化してきている。

このような公園区域内外の社会経済情勢の変化に対応して、適正な保護と利用を図るため、三宅島に係る公園計画の変更が行われたものである。

(2) 公園区域の現況

公園計画に基づいて、公園区域内（海面を除く。）に特別地域（特別保護地区を含む。）を指定し国立公園の風致の維持と適切な利用を図っている。また、公園区域内の優れた海中景観の保護を図るため、伊豆諸島地域では初の海中公園地区を三宅島に指定している。

〔陸域部分、単位：面積(ha)、比率(%)〕

区 分	三 宅 島		御 蔵 島		
	面 積	構 成 比	面 積	構 成 比	
特 別 地 域	特 別 保 護 地 区	371	6.7	342	17.4
	第 1 種 特 別 地 域	560	10.1	182	9.3
	第 2 種 特 別 地 域	1,288	23.4	361	18.3
	第 3 種 特 別 地 域	2,520	45.7	1,022	51.9
	小 計	4,739	85.9	1,907	96.9
普 通 地 域	444	8.1	46	2.3	
公 園 区 域 総 面 積	5,183	94.0	1,953	99.2	
公 園 区 域 外 面 積	331	6.0	16	0.8	
総 面 積	5,514	100.0	1,969	100.0	

〔陸域の公園区域の地先海面、単位：面積(ha)〕

海 中 公 園 地 区	51.6	(2地区)	—	—
-------------	------	-------	---	---

(3) 自然公園の維持管理

ア 許可届出等に関する事務

- (ア) 特別地域内における工作物の新築、改築、増築を許可し、これに必要な条件を付すこと。
- (イ) 特別地域内における行為の届出の受理に関すること。
- (ウ) 普通地域内における行為の届出を受理し、これに係る必要な措置をとること。
- (エ) 上記事項に係る原状回復命令等を行うこと。

(以上、東京都支庁長委託規則に定める範囲内の事務に限る。)

- (オ) 知事、環境庁長官の権限に属する申請書、届出書に係る調査及び副申に関すること。
- (カ) その他、各種行為、届出に係る申請書、届出書の作成指導及び各種相談に関すること。

イ 公園施設の維持管理業務

12年4月1日現在、休憩舎8棟、炊事場3棟、公衆便所11棟外の公園施設を設置している。

また、これら施設の快適な利用を図るため、清掃等の維持管理業務を年間を通じて行っている。

6. 用地取得補償関係

(1) 事業別用地買収状況

11年度における用地取得面積は6,794㎡、物件補償は39件である。

種 別	件 数	筆 数	買収面積
道 路 用 地	42件	55筆	6,794㎡
砂 防 用 地	0	0	0
橋 梁 用 地	0	0	0
物 件 補 償	39	—	—
計	81	55	6,794

7. 事業実績

(1) 11年度事業別実績表

(単位：千円)

事業別		金額
道路事業	道路管理費	4,725
	道路維持費	113,019
	橋梁維持費	12,674
	道路補修費	228,159
	交通安全施設費	112,035
	道路災害防除費	93,240
	道路整備費	136,605
	小計	700,457
河川海岸事業	河川維持費	31,500
	河川防災費	0
	砂防海岸整備費	184,804
	小計	216,304
公園事業	自然公園管理費	21,158
	自然公園整備費	7,045
	小計	28,203
用地	用地買収事業費	437,297
	小計	437,297
合計		1,382,261

(2) 土木事業費の推移

注1 ()内は、昭和62年度を100とした指数である。

2 単位：千円

年度		
62	1,861,794	(100)
63	2,071,476	(111)
元	2,244,018	(121)
2	2,464,435	(132)
3	2,949,509	(158)
4	2,507,124	(135)
5	2,766,043	(149)
6	2,757,591	(148)
7	2,777,666	(149)
8	3,253,607	(175)
9	3,159,424	(170)
10	2,022,992	(109)
11	1,382,261	(74)

第9 勤劳福祉会館

第 9 勤労福祉会館

三宅勤労福祉会館は、主として中小企業で働く勤労者の福祉の向上を図ることを目的として、各種集会や文化・教養活動の場として、ボウリング室・体育室・和室・洋室等の施設を提供するとともに、体育・リクリエーション事業として各種の主催事業を実施している。

1. 概 要

- ア 名 称 (財)東京都勤労福祉協会
東京都三宅勤労福祉会館
- イ 所 在 地 東京都三宅島三宅村神着106番地
☎ 04994-2-0680
- ウ 構 造 鉄筋コンクリート 地上3階
- エ 敷 地 面 積 5,805.62㎡
- オ 建物延床面積 1,430.11㎡
(1階639.63㎡、2階666.82㎡、3階123.66㎡)
- カ 業 務 開 始 昭和48年11月28日
- キ 休 館 日 毎週水曜日及び12月29日から1月3日まで、ただし水曜日が祝祭日にあたる場合は翌日。

ク 施設の内容

(平成5年11月4日利用料金改正)

施設名		面積	利用単位		利用料	摘要
集 会 室	洋 室	66.72	午前 (午前9時～正午)		900円	定員 45名
			午後 (午後1時～午後5時)		1,200円	
			夜間 (午後5時30分～午後9時30分)		1,200円	
	第一和室	53.20	午前 (午前9時～正午)		700円	20畳床の間付 定員 25名
			午後 (午後1時～午後5時)		1,200円	
			夜間 (午後5時30分～午後9時30分)		1,200円	
	第二和室	28.42	午前 (午前9時～正午)		400円	15畳水屋付 定員 15名
			午後 (午後1時～午後5時)		600円	
			夜間 (午後5時30分～午後9時30分)		600円	
体 育 室	284.40	貸 切	午前 (午前9時～正午)		1,100円	舞台 シャワー付
			午後 (午後1時～午後5時)		1,800円	
			夜間 (午後5時30分～午後9時30分)		1,800円	
			卓球一式 1回		130円	
		個人	1人 1時間	100円		
ボウリング室	342.00	午前10時～午後9時		1人1ゲーム 200円	4レーン	
野 外 コ ー ト	1,119.57	貸切	1団体 1時間	400円	テニスコート	
		個人	1人 1時間	100円	1面	
		屋外照明	1時間	100円		
娯楽談話室	151.50			無 料	テレビ 囲碁、将棋	

2. 利用状況

ア 平成11年度施設別利用状況

区分	施設名		時間帯		午 前		午 後		夜 間		合 計	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
団体利用	集会室	洋室	37	632	56	1,088	84	1,150	177	2,870		
		和室	58	669	53	778	81	1,139	192	2,586		
	体育室		21	1,012	31	2,257	111	3,796	163	7,065		
	屋外コート		121	973	180	1,255	321	1,752	622	3,980		
	計		237	3,286	320	5,378	597	7,837	1,154	16,501		
個人利用	体育室		21	89	106	804	58	398	185	1,291		
	ボウリング室			2,392		9,874		10,468		22,734		
	屋外コート		10	63	36	128	22	93	68	284		
	計		31	2,544	142	10,806	80	10,959	253	24,309		
合 計			268	5,830	462	16,184	677	18,796	1,407	40,810		
娯楽談話室				2,040		5,548		2,921		10,509		

イ 平成11年度目的別団体利用状況

利用目的	使用者内訳	労働者	事業所	官公庁 労使団体	その他	合 計
		件数	件数	件数	件数	件数
労働組合活動		3	—	1	—	4
研修会・学習会		3	25	6	49	83
文化・ レクリエーション 活動	趣味・教養活動	56	—	29	118	203
	親睦行事	13	1	17	41	72
	スポーツ活動	460	0	1	293	754
その他		0	11	6	21	38
合 計		535	37	60	522	1,154

ウ 平成11年度施設別、月別利用状況

区分	施設名	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
団体利用	集会所	件数	18	15	18	5	13	20	15	12	18	13	18	177
		人数	182	155	302	42	244	309	296	106	219	268	582	2,870
	和室	件数	9	12	14	15	6	8	20	7	19	33	23	192
		人数	139	181	142	127	139	119	239	88	272	446	337	2,586
	体育室	件数	14	10	13	8	4	9	20	11	14	19	27	163
		人数	624	442	418	411	308	388	729	450	547	925	1,368	7,065
	屋外コート	件数	34	67	56	52	49	83	77	67	32	29	37	622
		人数	161	443	298	257	276	682	497	564	179	145	236	3,980
	計	件数	75	104	101	80	72	120	132	97	83	94	105	1,154
		人数	1,106	1,221	1,160	837	967	1,498	1,761	1,208	1,217	1,784	2,523	16,501
個人利用	体育室	件数	102	99	22	41	230	60	130	111	66	78	125	1,291
		人数	1,740	1,779	1,527	1,519	2,710	1,386	1,962	1,737	1,487	2,063	2,312	22,734
	屋外コート	件数	771	812	729	700	1,342	593	880	836	654	965	1,171	10,681
		人数	20	30	6	17	51	15	63	17	6	14	13	284
	計	人数	893	941	757	758	1,623	668	1,073	964	726	1,057	1,309	12,256
合	計	件数	75	104	101	80	72	120	132	97	83	94	105	1,154
		人数	1,999	2,162	1,917	1,595	2,590	2,166	2,834	2,172	1,943	2,841	3,832	28,757
娯楽談話室		869	721	688	823	1,159	848	918	830	729	858	1,229	10,509	

エ 年度別施設利用状況

区分	施設名		年度	6	7	8	9	10	11
団 体 利 用	集 会 室	洋 室	件 数	200	170	198	191	181	177
			人 数	2,829	3,612	3,583	3,360	2,807	2,870
		体 育 室	件 数	101	130	171	161	173	192
			人 数	1,727	2,689	2,577	2,380	2,387	2,586
	屋外コート	件 数	169	161	159	190	205	163	
		人 数	8,448	7,648	8,088	7,838	7,944	7,065	
	計	件 数	1,085	967	631	436	515	622	
		人 数	7,567	5,984	3,633	2,531	3,019	3,980	
	計	件 数	1,555	1,432	1,159	978	1,074	1,154	
		人 数	20,571	19,933	17,881	16,109	16,157	16,501	
	個 人 利 用	体 育 室	人 数	1,682	1,544	1,531	958	1,006	1,291
		屋外コート	人 数	374	426	226	323	292	284
ボウリング室		ゲーム数	43,216	35,275	31,284	23,525	21,120	22,734	
		人 数	18,549	16,189	14,388	11,018	9,967	10,681	
計		人 数	20,605	18,159	16,145	12,299	11,265	12,256	
合 計 (人数)			41,176	38,092	34,026	28,408	27,422	28,757	
娯 楽 談 話 室 (人数)			11,862	11,413	11,230	10,379	10,890	10,509	
利 用 料 (調定額)			9,210,700	7,540,350	6,822,265	5,413,766	4,911,880	5,043,670	

3. 会館主催事業

※平成11年度実施状況

事業名		期 間	参 加 人 数
ボウリング	個人戦	予選 平成11年6月10日～6月18日 決勝 平成11年6月20日	予選 78人(男49人、女29人) 決勝 24人(男12人、女12人)
	個人戦	予選 平成12年1月20日～1月28日 決勝 平成12年1月30日	予選 100人(男68人、女32人) 決勝 24人(男12人、女12人)
	団体戦	予選 平成12年2月3日～2月11日 決勝 平成12年2月13日	予選 75人(男44人、女31人) 決勝 40人(男25人、女15人)
	職場対抗	予選 平成11年11月21日～11月27日 決勝 平成11年11月28日	予選 66人(男49人、女17人) 決勝 40人(男28人、女12人)
テニス	テニス大会 ダブルス戦	平成11年5月15日～5月16日	20人(男10人、女10人)
	テニス大会 ダブルス戦	平成11年9月18日～9月19日	34人(男22人、女12人)
囲碁大会		平成11年7月4日	10人
		平成12年3月12日	7人
卓球教室		平成11年10月15日～10月17日	63人(男45人、女18人)
生花教室		平成11年12月23日	50人(男2人、女48人)
将棋大会		平成11年7月4日	6人
		平成12年3月12日	7人

第10 教 育

第10 教 育

1. 教育庁三宅出張所の概要

(1) 沿 革

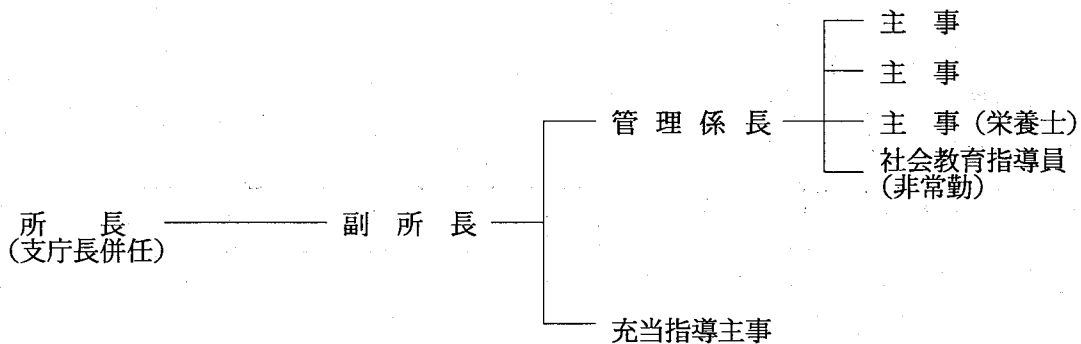
昭和23年教育委員会法施行、同年11月教育庁が設置され、これに伴い三宅支庁内に教育庁三宅出張所が開設された。所長、副所長、その他職員計4名が配置されたが、何れも三宅支庁職員の兼務であった。

- 昭和26年1月 一般職員専任となる。
- 昭和31年4月 専任副所長（係長）配置
- 昭和34年4月 充当指導主事配置
- 昭和41年4月 栄養士配置
- 昭和42年4月 主査配置となり、現在の体制となる。
- 昭和44年4月 社会教育指導員（非常勤）配置

昭和35年5月大字伊豆友地所在の経済局所管建物の一部を庁舎とする。

昭和47年12月三宅支庁舎の完成に伴い、新庁舎の一部を借用し移転した。

(2) 機 構



(3) 職 員

職名 区分	所長	副所長	係長	指導主事	主任	主事	社会教育 指導員	嘱託員	計
専任		1	1	1		3	1		7
併任	1								1

(注) 定数は、副所長1、係長1、主事3（内栄養士1）。

所 長 三宅支庁長が併任。

充当指導主事 学校職員で三宅村立三宅中学校所属。

社会教育指導員 非常勤職員で1ヶ月16日勤務、任期は1年。

(4) 予 算 (都 費)

(単位：千円)

科目	年度	8	9	10	11
教 育 費		64,143	61,959	53,296	55,554
教育管理費		10,754	9,942	11,293	15,294
小中学校費		22,962	23,811	24,717	23,116
(小学校管理費)		(10,587)	(10,721)	(11,139)	(9,304)
(中学校管理費)		(12,375)	(13,090)	(13,578)	(13,812)
高等学校費		22	22	22	22
福利厚生費		24,450	18,950	10,700	12,480
教育指導奨励費		4,804	8,055	4,861	3,608
社会教育費		827	843	852	803
保健体育費		324	336	851	231

2. 村教育委員会

(1) 委員会及委員

区分	村別	三 宅 村	御 蔵 島 村	合 計
委 員 会 数		1	1	2
委 員 数		5	3	7

(2) 事務局職員

村別	職種別	教育長	課 長	主 事	運転手	調理員	用務員	計
三 宅 村		1	1	5	(1)	(6)	(6)	7(13)
御 蔵 島 村		1		1		1	(1)	3(1)

() は、臨時職員で外書。

(3) 村別教育関係予算

平成11年度決算額 (歳出)

(単位：千円)

科 目 \ 村 別		三 宅 村		御 蔵 島 村	
		金 額	比 率	金 額	比 率
一 般 会 計 決 算 額		4,389,175	100.0	2,124,194	100.0
教 育 費		318,906	7.3	1,093,947	51.5
教 育 費 の 内 訳	教 育 総 務 費	56,948	17.9	1,029,962	48.5
	小 学 校 費	108,175	33.9	7,215	0.3
	中 学 校 費	94,021	29.5	6,478	0.3
	社 会 教 育 費	5,814	1.8	4,764	0.2
	保 健 体 育 費	12,773	4.0	1,084	0.05
	校 舎 管 理 費	0	0.0	14,976	0.7
	学 校 給 食 費	41,175	12.9	29,468	13.7

平成12年度予算額 (歳出)

(単位：千円)

科 目 \ 村 別		三 宅 村		御 蔵 島 村	
		金 額	比 率	金 額	比 率
一 般 会 計 予 算 額		3,867,924	100.0	1,162,695	100.0
教 育 費		516,003	13.3	225,351	19.4
教 育 費 の 内 訳	教 育 総 務 費	64,192	12.4	184,724	82.0
	小 学 校 費	299,373	58.0	2,443	1.1
	中 学 校 費	86,898	16.8	4,282	1.9
	社 会 教 育 費	8,547	1.7	5,116	2.3
	保 健 体 育 費	14,228	2.8	1,455	0.6
	校 舎 管 理 費	0	0.0	14,371	6.4
	学 校 給 食 費	42,765	8.3	12,966	5.7

3. 学校教育の概要

(1) 小中学校の現況

ア 小学校・中学校

12. 5. 1

区分		学校名	三宅小	阿古小	坪田小	計	三宅中	阿古中	坪田中	計	御蔵島小・中	
教 職 員 数	校 長	男	1	1	1	3	1	1	1	3	0	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教 頭	男	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1
		女	4	5	4	13	4	4	4	12	2	3
	事務職員	男	1	1	0	2	0	1	1	2	1	0
		女	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0
	栄養職員	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
教 職 員 計			13	14	12	39	14	14	15(1)	43(1)	9	13
その他職員	用 務 員	女	1	1	1	3	1	1	1	3	1	0
児 童 ・ 生 徒 数		男	46	27	30	103	25	22	18	65	7	9
		女	44	35	27	106	21	17	17	55	6	5
		計	90	62	57	209	46	39	35	120	13	14
学 級 数			6	6	6	18	3	3	3	9	4	3
教 室 数	普 通		6	7	6	19	3	3	3	9	6	3
	特 別		5	5	6	16	8	9	7	24	1	2
	計		11	12	12	35	11	12	10	33	7	5
体 育 館			1	1	1	3	1	1	1	3	0	1
プ ー ル			1	0	0	1	1	1	1	3	0	1

注 () は長期研修生数で内数

イ 児童数の推移 (学校基本調査)

年度	学年	1	2	3	4	5	6	計
10		28(0)	40(3)	46(2)	40(1)	49(7)	44(2)	247(15)
11		30(3)	27(0)	35(3)	45(2)	43(1)	48(7)	228(16)
12		33(3)	33(3)	34(1)	36(3)	44(2)	42(1)	222(13)

注 () は御蔵島小学校内数

ウ 生徒数の推移 (学校基本調査)

年度	学年	1	2	3	計
10		46(5)	35(3)	48(3)	129(11)
11		40(2)	47(5)	37(3)	124(10)
12		47(7)	41(2)	46(5)	134(14)

注 () は御蔵島中学校内数

(2) 学校給食の現況

概 要

管内学校給食の沿革は古く、昭和10年頃から神着小学校においてミルク給食が開始されている。その後、戦争による食糧事情の悪化等の理由により7年間中断された。

三宅村における給食の再開は、昭和25年の伊ヶ谷小学校をかわきりに、33年には全小学校がミルク給食を始めた。

昭和41年には、完全給食の実施にむけて、三宅村学校給食共同調理場が設置され、同年9月から完全給食を開始した。

昭和58年の噴火災害による調理場の埋没時も学校給食は中断されることなく、昭和60年には新施設が完成し、献立内容の多様化を含めていっそうの内容充実に努めている。

一方御蔵島においては、昭和51年に給食調理室を整備し、同年9月から小中学校合同での完全給食が開始された。また、昭和59年4月には栄養士も配置され、一層の充実が図られた。小規模校という特色を生かし、パンを含めて全てが手作りによる給食を行っている。

平成6年度にはこれまでの実績が評価され、「東京都学校給食優良校」として表彰された。さらに給食開始20周年をむかえた平成8年度にも二度目の表彰を受けた。

実施状況（参考：東京都教育委員会発行「平成10年度東京都における学校給食の実態」）

(1) 三宅村（共同調理場方式）

学 校 別	給食の型		給食実施人数(人)			給食費(円)				1人1回当たり栄養素の平均供給量													
	完全給食	週実施回数	児童・生徒数	教職員	調理場職員等	合計	低学年	中学年	高学年	中学校	エネルギー kcal	たんぱく質		脂質		カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				食物繊維 mg	食塩 g
												動物性 g	計 g	動物性 g	計 g			A IU	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg		
小学校	○	5	232	41	8	442	3846	4006	4166	-	709	17.3	30.0	12.8	22.9	352	3.7	1389	0.45	0.64	27	5.7	4.6
中学校	○	5	118	43			-	-	-	4572	823	18.7	34.3	13.4	25.3	378	4.3	1662	0.55	0.76	31	6.9	5.3

※ 給食費は保護者負担分と補助金の合計金額

(2) 御蔵島村（小・中学校親子方式）

学 校 別	給食の型		給食実施人数(人)			給食費(円)				1人1回当たり栄養素の平均供給量													
	完全給食	週実施回数	児童・生徒数	教職員	調理場職員等	合計	低学年	中学年	高学年	中学校	エネルギー kcal	たんぱく質		脂質		カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				食物繊維 mg	食塩 g
												動物性 g	計 g	動物性 g	計 g			A IU	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg		
小学校	○	5	15	9	2	50	3892	3892	3892	-	666	16.8	28.1	14.2	21.1	335	3.5	1401	0.84	0.69	30	4.0	3.4
中学校	○	5	11	13			-	-	-	4102	866	21.8	36.5	17.9	27.4	378	4.6	1821	1.09	0.89	36	5.0	4.4

※ 給食費は補助金のみ

4. 中学卒業者の動向 (平成11年度)

進路別 学校別	進 学 者		そ の 他		卒業生数	進 学 率 %
	都立三宅 高等学校	島 外	島 内	島 外		
三 宅	12	1	0	0	13	100
阿 古	9	2	0	0	11	100
坪 田	9	1	0	0	10	100
御 蔵 島	1	2	0	0	3	100
計	31	6	0	0	37	100

5. 都立三宅高等学校

(1) 生徒在籍数

12. 5. 1

学科 学年 性別	1 学 年			2 学 年			3 学 年			合 計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
普 通 科	16	9	25	10	19	29	20	15	35	46	43	89	
併 合 科	農 業	7	0	7	2	0	2	5	0	5	14	0	14
	家 政	0	1	1	0	9	9	0	3	3	0	13	13
合 計	23	10	33	12	28	40	25	18	43	60	56	116	

(2) 進路状況

摘要 卒業年度	島 内		島 外		合 計
	自営・その他	就 職	進 学	就職・その他	
6	0	1	18	21	40
7	0	0	18	14	32
8	0	1	26	11	38
9	1	1	17	9	28
10	0	0	17	9	26
11	0	1	23	12	36

6. 社会教育

島しょの社会教育は、都区部に比較して財政面、人員面、施設面など、その格差は大きいものとなっている。

管内各地域における最近の動向は、青年団、体育協会、婦人会等によるスポーツ、レクリエーション活動や各種の集会、交流学习が積極的に行われており、地域社会での連帯意識の高まりが見られる。

一方高齢化の進む管内にあっては、中高年者の心身の健康増進面から、スポーツ、レクリエーション事業はもとより、幅広い生涯教育の場を提供するとともに、これら施設の積極的な整備拡充が望まれる。

(1) 管内教育機関

ア 公的な機関

12. 9. 1

	三宅村	御蔵島村	計
青少年委員	5人	—	5人
体育指導委員	10人	2人	12人

イ 民間機関

11. 9. 1

団体別	内容	団体数	所属会員数	設置目的
三宅島体育協会		1	1,755	島民スポーツの向上をはかる。
御蔵島体育会		1	40	〃
青年団		5(1)	80(5)	資質の向上と相互の親睦をはかる。
婦人会		5(1)	150(25)	教養を高め、会員相互の親睦をはかる。
老人クラブ		5	343	会員相互の親睦をはかる。
P T A		8(1)	519(35)	学校教育の向上と会員資質の向上をはかる。
保育園保護者会		4(1)	99(10)	会員相互の向上をはかる。

注 () は、御蔵島団体、会員内数。

(2) 管内社会教育事情 (平成11年度)

事業細目	対象者	開設時期	開設場所	開設者名
三宅島軟式野球大会	一般住民	4月	三宅村	三宅島軟式野球連盟
三宅島少年ソフトボール大会	小学生	4月	〃	各地区体育連盟
東京都中体連柔剣道大会	中学生	8月～9月	都内	三宅島柔剣道連盟
小中学柔剣道大会	小中学生	7月～8月	〃	防犯協会・母の会
三宅島バレーボール大会	一般市民	4月	三宅村	三宅島バレーボール連盟
御蔵島柔剣道大会	小中一般	2月	御蔵島村	御蔵島体育会
御蔵島村マラソン大会	小中父兄	1月	〃	〃

(3) 視聴覚教育

日比谷図書館より16ミリ映画フィルムの長期貸出しを受け、御蔵島も含め、幼児、小中学生の教材として、あるいは一般住民の鑑賞用として多く利用されている。

フィルム本数	成人・青少年	児童・幼児	合 計	備 考
70 本	125 人	608 人	733 人	平成11年4月 ～ 平成11年7月

(各利用報告書による)

7. 文 化 財

管内には有形無形文化財が多く、学術的にも貴重なものがある。こうしたなかで、民俗文化財（特に芸能）は近年保存の必要性が問われ各地区に保存会が発足し、連合体も組織され、その伝承や保存を行うとともに、機会あるごとに発表を行い活動も大変活発である。

一方住民の間には貴重な文化財を保存するための施設、特に郷土資料館の設置について極めて強い要望があり、一日も早い実現が待たれている。

7. 文化財

(1) 国指定

区分	文化財名	指 定 日 年 月	所 在	備 考
有形文化財	銅製観音菩薩像	32. 2. 29	三宅村	坪田(海蔵寺)
天然記念物	カンムリウミスズメ	50. 6. 26	地域を定めず指定	
	アカコッコ	50. 2. 13		
	イイジマムシクイ	50. 6. 26		

(2) 東京都指定

区分	文化財名	指 定 日 年 月	所 在	備 考	
有形文化財	絵 画	板絵着色神馬図類(多賀朝湖)	御蔵島村	稲根神社	
		板絵着色大森彦七図類(多賀朝湖)	御蔵島村	稲根神社	
	工 芸 品	銅製鍍金銚子	32. 2. 21	三宅村	神着(御笏神社)
		銅製提子	32. 2. 21	三宅村	神着(御笏神社)
		陶製黒釉瓶子	32. 2. 21	三宅村	神着(御笏神社)
		銅鏡(鸚鵡双綬鏡外10面)	32. 2. 21	三宅村	神着(御笏神社)
		銅鏡(籬二菊花双鳥鏡外3面)	32. 2. 21	三宅村	神着(浅沼方)
		銅鏡(菊花双鳥鏡外32面)	32. 2. 21	三宅村	神沢神社(島沢方)
		銅鏡(菊花双方文)	32. 2. 21	三宅村	伊ヶ谷(后神社)
		銅鏡(松喰鶴鏡外17面)	32. 2. 21	三宅村	坪田(二宮神社)
		銅鏡(蓬萊双鶴文外1面)	32. 2. 21	三宅村	坪田(松村方)
		銅鏡(山吹双鳥文)	32. 2. 21	三宅村	坪田(田中方)
		銅鏡(秋草双鳥文)	32. 2. 21	御蔵島村	小林方
	彫 刻	木造楽面(2面)	32. 2. 21	三宅村	伊豆(御祭神社)
		木造薬師如来座像	51. 1. 16	三宅村	伊豆(薬師堂)
	古 文 類	三宅島民政資料(303冊、172通)	32. 2. 21	三宅村	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都三宅支庁 ・東京都公文書館 ・神着(浅沼方)
		三宅島民政資料(107点)	52. 4. 5	三宅村	
	民 俗	板絵着色島民生産労働図類	52. 4. 5	御蔵島村	稲根神社
	無形民俗文化財	御笏神社の神事	32. 2. 21	三宅村	神着
		御祭神社の神事	32. 2. 21	三宅村	伊豆
三宅島の歌と踊		32. 2. 21	三宅村		
御蔵島の歌と踊		32. 2. 21	御蔵島村		
三宅村坪田のヨミンチャラ		53. 3. 16	三宅村	坪田	
史 跡	三宅島役所	57. 3. 26	三宅村	神着(壬生方)	
	三宅島大里遺跡	58. 5. 6	三宅村	坪田(弥生中期)	
旧 跡	三宅島ココマ遺跡	32. 2. 21	三宅村	坪田(弥生中期)	
	ゾウ遺跡	32. 2. 21	御蔵島村	里(縄文期)	

区 分	文 化 財 名	指 定 日 年 月 日	所 在	備 考
天然記念物	神着の大ザクラ	11. 3. 4	三 宅 村	神着
	ビャクシン	11. 3. 4	三 宅 村	神着（浅沼方）
	堂山のシイ	11. 3. 4	三 宅 村	伊豆（御祭神社）
	御蔵島鈴原の湿原植物群落	32. 2. 21	御蔵島村	鈴原
	三宅島椎鳥神社の樹叢と溶岩流	60. 3. 18	三 宅 村	神着

(3) 村 指 定

区 分	文 化 財 名	指 定 日 年 月 日	所 在	備 考	
有形文化財	彫 刻	善光寺式阿弥陀如来像	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）
	工 芸 品	普濟院銅鉦	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）
		ヨイト船	47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷（笹本方）
		刀剣	47. 2. 20	三 宅 村	阿古（沖山方）
		御笏神社御刀	47. 2. 20	三 宅 村	神着（御笏神社）
	古 文 類 書	小金井小次郎自筆証文（2通）	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（池田方）
井上正鉄の書		47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷（高松方）	
旧 跡	竹内式部の墓	47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷（大林寺）	
	不受不施派僧の墓	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（山本方）	
	小金井小次郎の首切り地蔵	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）	
	井上正鉄の墓	47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷	
	生島新五郎の墓	47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷	
	小金井小次郎建立の地蔵尊	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（會利川墓地）	
	小金井小次郎井戸	47. 2. 20	三 宅 村	伊豆	
	処刑場跡	47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷	
天然記念物	大路藻	47. 2. 20	三 宅 村	大路池	
	迷子椎	47. 2. 20	三 宅 村	大路湖畔	
	普濟院の大桜	47. 2. 20	三 宅 村	普濟院（池田方）	
	普濟院の蘇鉄	47. 2. 20	三 宅 村	普濟院（池田方）	
	ハコネコメツツジ	47. 2. 20	三 宅 村	雄山山頂	
	リュウビンタイ	47. 2. 20	三 宅 村	神着地区	
	オオシマハイネス	47. 2. 20	三 宅 村	阿古海岸地帯	
	三池浜の松	47. 2. 20	三 宅 村	三池浜	
	ミヤケコゲラ	47. 2. 20	三 宅 村	三宅村一円	
	オーストンヤマガラ	47. 2. 20	三 宅 村	三宅村一円	
	タネコマドリ	47. 2. 20	三 宅 村	三宅村一円	
	モスケミノサザイ	47. 2. 20	三 宅 村	三宅村一円	
	ウチャマセンニュー	47. 2. 20	三 宅 村	三宅村一円	
シチトウメジロ	47. 2. 20	三 宅 村	三宅村一円		

※敬称は省略させていただきます。

第11 保 健 衛 生

第11 保 健 衛 生

1. 保健所出張所概要

昭和23年1月保健所法の施行に伴い、同年10月1日発足した。島しょの地域は、中央保健所がこれを管轄し、大島、三宅、八丈の三支庁管内にそれぞれ出張所がおかれた。

当初、三宅支庁庁舎内において業務が行われていたが、昭和26年11月25日、三宅出張所庁舎が三宅村伊豆に新築落成し、職員の陣容も逐次整備され、本格的に保健衛生活動が行われてきたが、地方自治法の一部改正により、昭和50年4月中央保健所が特別区へ移管されたため、新たに島しょ保健所が設置され、その出張所となった。

(1) 施設の概要

ア 土地、建物

種 類	種 目	数	量	備 考
土 地	庁 舎 敷 地		3,784.88㎡	
	計		3,784.88㎡	
建 物	庁 舎	1 棟	405.49㎡	(延面積)
	車 庫	1 棟	47.85㎡	
	職 員 公 舎	3 棟	230.54㎡	
	計	5 棟	683.88㎡	

注：職員公舎のうち、副所長公舎1棟（86.72㎡）は総務局所管

イ 平成10年度決算

(単位：円)

歳 入			歳 出			
科 目			科 目			
款	項	目	金 額	項	目	金 額
		使用料及手数料	6,128,800		衛生管理費	824,864
		使 用 料	4,142,800		管 理 費	824,864
		衛生使用料	4,142,800		地域保健対策費	24,816,167
		保健所	4,142,800		”	24,816,167
		土地建物	0		健康推進費	297,132
		手 数 料	1,986,000		健康づくり推進費	10,000
		衛生手数料	1,986,000		高齢保健対策費	0
		証明閲覧	0		母子保健指導費	287,132
		診断書その他	1,031,600		生活環境費	1,210,340
		栄養士免許等	7,200		環境衛生費	673,059
		畜犬登録等	197,970		食品保健費	417,859
		食品衛生	612,230		動物保護管理費	119,422
		環境衛生	126,000		医療対策費	0
		医薬品等許可	11,000		医療対策費	0
		病院等開設並使用許可	0		医療福祉費	3,753,920
		毒物劇物登録並試験	0		精神保健福祉費	1,227,000
		諸 手 数 料	0		特殊疾病対策費	208,918
		情 報 公 開	0		結核感染症対策費	2,318,002
		財 産 収 入	0		公害保健対策費	0
		財 産 運 用 収 入	0		施設整備費	-
		財 産 貸 付 収 入	0		一般施設整備費	-
		職 員 住 宅 収 入	0			
		諸 収 入	370,715			
		都 預 金 利 子	0			
		都 預 金 利 子	0			
		物 品 売 払 代 金	0			
		不 用 品 売 払 代 金	0			
		雑 入	370,715			
		動物飼養管理収入	17,300			
		雑 入	353,415			
		合 計	6,499,515		合 計	30,902,423

2. 医 療

(1) 医療施設及び医療関係者数

(12. 4. 1 現在)

区 分	医 療 施 設				医 療 関 係 者							
	診 療 所	歯 診 療 科 所	助 産 所	計	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	助 産 婦	保 健 婦	看 護 婦	循 看 護 婦	計
神 着	1	1		3	3	1	1	1		3	4	13
伊 豆	※2			2	1(1)				2			3(1)
伊 ケ 谷	1			1	(1)							(1)
阿 古	2			2	(2)				1	5		5(2)
坪 田	1			1	(1)		1					1(1)
御 蔵 島	1			1	1					2		3
計	9	1		10	5(5)	1	2	1	3	10	4	25(5)

※ 伊豆地区診療所2ヶ所のうち1ヶ所は保健所

() は兼務

3. 環 境 衛 生

(1) 環境衛生関係業態数

(12. 4. 1 現在)

区 分	総 数	理 容 所	美 容 所	ク リ ー ニ ン グ 所	旅 館 業				公 衆 浴 場	プ ル	簡 易 水 道	温 泉 利 用 施 設	墓 地	火 葬 場
					旅 館	下 宿	簡 易 宿 所	季 節 (再 掲)						
神 着	17	1	1	1	4		4			1			2	
伊 豆	9		2	1			3			2			1	
伊 ケ 谷	9				2		4						2	
阿 古	53	3	3	2	8		30		2	1		2	1	1
坪 田	48	3	3	1	8		26		1	2	1	1	2	
小 計	136	7	9	5	22		67		3	6	1	3	8	1
御 蔵 島	11		2		1		6				1		1	
合 計	147	7	11	5	23		73		3	6	2	3	9	1

(2) 食品衛生関係業態数

(12. 4. 1 現在)

区 分	神 着	伊 豆	伊 ヶ 谷	阿 古	坪 田	雄 山	小 計	御 蔵 島	合 計
総 数	53	25	19	103	123	—	323	26	349
飲食店営業(旅館以外)	17	6	2	22	34	—	81	2	83
“ (旅 館)	8	2	6	38	35	1	89	6	95
菓 子 製 造 業	2	—	1	4	3	—	10	1	11
喫 茶 店 営 業	—	—	—	—	2	—	2	—	2
食 品 の 冷 蔵 業	1	—	—	1	1	—	3	1	4
酒 類 製 造 業	—	1	—	—	—	—	1	—	1
豆 腐 製 造 業	—	—	—	—	1	—	1	1	2
清涼飲料水製造業	—	—	—	—	—	—	—	1	1
氷 雪 製 造 業	—	—	—	1	—	—	1	1	2
氷 雪 販 売 業	1	—	—	1	1	—	3	—	3
乳 類 販 売 業	4	4	3	7	15	—	33	3	36
食 肉 販 売 業	5	3	2	5	8	—	23	3	26
魚 介 類 販 売 業	4	2	2	5	7	—	20	4	24
魚 介 類 せ り 売 業	—	—	—	1	1	—	2	—	2
そ う ざ い 製 造 業	1	1	—	1	—	—	3	—	3
乳 製 品 製 造 業	—	—	—	1	—	—	1	—	1
食 肉 処 理 業	1	—	1	—	—	—	2	—	2
食 用 油 脂 製 造 業	1	—	—	—	—	—	1	—	1
食 料 品 等 販 売 業	6	3	2	12	15	—	38	3	41
魚 介 類 加 工 業	2	2	—	4	—	—	8	—	8
粉 末 食 品 製 造 業	—	1	—	—	—	—	1	—	1

(3) 獣医衛生

ア 狂犬病予防事業成績

(平成11年度)

区 分	登 録 数	狂 予 防 犬 注 射 病 射	野 犬 捕 獲		こ う 傷 犬		畜 犬 苦 情 処 理	
			回 数	頭 数	届 出 件 数	検 診 数	放 し 飼 い	そ の 他
三 宅 島	179	167	53	2	1	1	5	4
御 蔵 島	13	13	—	—	—	—	—	—
合 計	192	180	53	2	1	1	5	4

4. 予防関係

(1) 結核健康診断実施状況

(平成11年度)

区 分	ツベルクリン 反 応 検 査	B C G	X 線 検 査		発 見 さ れ た 患 者 数
			間 接	直 接	
総 数	113	35	759	253	—
乳 児 数	—	—	—	—	—
学 校	105	27	49	3	—
事 業 所	8	8	687	230	—
住 民 検 診	—	—	15	—	—
業 態 者 検 診	—	—	8	7	—
患 者 家 族	—	—	—	2	—
管 理 検 診	—	—	—	2	—
接 触 者 検 診	—	—	—	9	—

(2) 衛生教育活動

(平成11年度)

種 目	総 数		対 象	開 講 方 式
	回 数	人 員		
食 品 衛 生 講 習 会	6	176	営 業 者、一 般 住 民	講 義・ビ デ オ
精 神 関 係 講 習 会	5	62	一 般・家 族・関 係 機 関	講 義・ビ デ オ
難 病 関 係 講 習 会	6	51	難 病 在 宅 療 養 者	〃
栄 養 関 係 講 習 会	2	66	一 般 住 民	講 義
環 境 衛 生 講 習 会	4	370	営 業 者、一 般 住 民	講 義
介 護 教 室・そ の 他	3	37	一 般 住 民	講 義・ビ デ オ・実 技

(3) 人口動態

ア 出生・死亡

(11. 1. 1 ~ 11. 12. 31)

区 分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 生	三宅村	20	3	2	2	3	1	1	2	2	—	1	1	2
	御蔵島村	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	計	21	3	2	2	3	1	1	2	2	—	1	1	3
死 亡	三宅村	36	6	—	2	3	3	2	4	5	2	2	5	2
	御蔵島村	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	計	36	5	—	2	3	3	2	4	5	2	2	5	2
乳 児 死 亡 (再 掲)	三宅村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	御蔵島村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
死 産	三宅村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	御蔵島村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
婚 姻	三宅村	15	—	1	3	2	—	3	—	—	—	2	3	1
	御蔵島村	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	計	17	—	1	3	2	—	4	—	—	—	3	3	1
離 婚	三宅村	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	御蔵島村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2

イ 主要死因別死亡数

(11. 1. 1 ~ 11. 12. 31)

区 分	総 数	老 衰	脳血管疾患	不慮の事故	が ん	心疾患	自 殺	その他
三宅村	36	6	3	3	4	5	4	11
御蔵島村	—	—	—	—	—	—	—	—
計	36	6	3	3	4	5	4	11

5. 保健婦業務

(1) 保健婦業務等活動状況（家庭訪問を除く）

（平成11年度）

総数	健康診断	集団検診	予防接種	衛生教育	機能訓練	計
実施回数	—	—	10	13	5	61
延件数	37	1,049	105	140	34	—

(2) 家庭訪問状況

（平成11年度）

訪問延件数	訪問世帯数	心身障害	結核	精神障害	成人病	難病	その他の疾病	妊産婦	乳幼児	家族計画	その他
385	279	19	6	241	45	31	13	0	25	0	5

6. 栄養改善事業

(1) 栄養改善指導数

（平成11年度）

種別	区分	計	栄養指導				運動指導	市町村支援	
			(再掲) 病態別			(再掲) 訪問指導			(再掲) 精神
			生活習慣病	難病	その他疾病				
個別指導	総数	418	80	2		3	2	151	69
	内訳	妊産婦	2						6
		乳幼児	4				1		28
		20歳未満 20歳以上	412	80	2		2	2	151
集団指導	総数	127		14		52			47
	内訳	妊産婦							9
		乳幼児							19
		20歳未満 20歳以上	127		14		52		19

第12 東京都三宅農林合同庁舎

第12 東京都三宅農林合同庁舎

1. 東京都三宅農林合同庁舎の機構

(1) 沿革

昭和63年1月 東京都三宅農林合同庁舎を畜産試験場三宅分場敷地内に新築し、次の4場所が移転した。

東京都畜産試験場三宅分場

東京都畜産保健衛生所三宅支所

東京都中央農業改良普及センター三宅支所

東京都農業試験場三宅島園芸技術センター（平成2年8月、農業試験地を改称）

○畜産試験場三宅分場

昭和15年4月 東京府種畜場三宅分場 現在地に設置

昭和39年4月 東京都畜産試験場三宅分場 と改称

○家畜保健衛生所三宅支所

昭和26年1月 東京都三宅島家畜保健衛生所 伊豆に設置

昭和46年4月 東京都家畜保健衛生所三宅支所 と改称

○中央農業改良普及所三宅支所

昭和24年6月 東京都三宅地区農業改良普及員駐在所 伊ヶ谷に設置

昭和33年10月 東京都三宅地区農業改良普及所 と改称し神着に移転

昭和44年12月 東京都中央農業改良普及所三宅支所 と改称

平成5年10月 東京都中央農業改良普及センター三宅支所 と改称

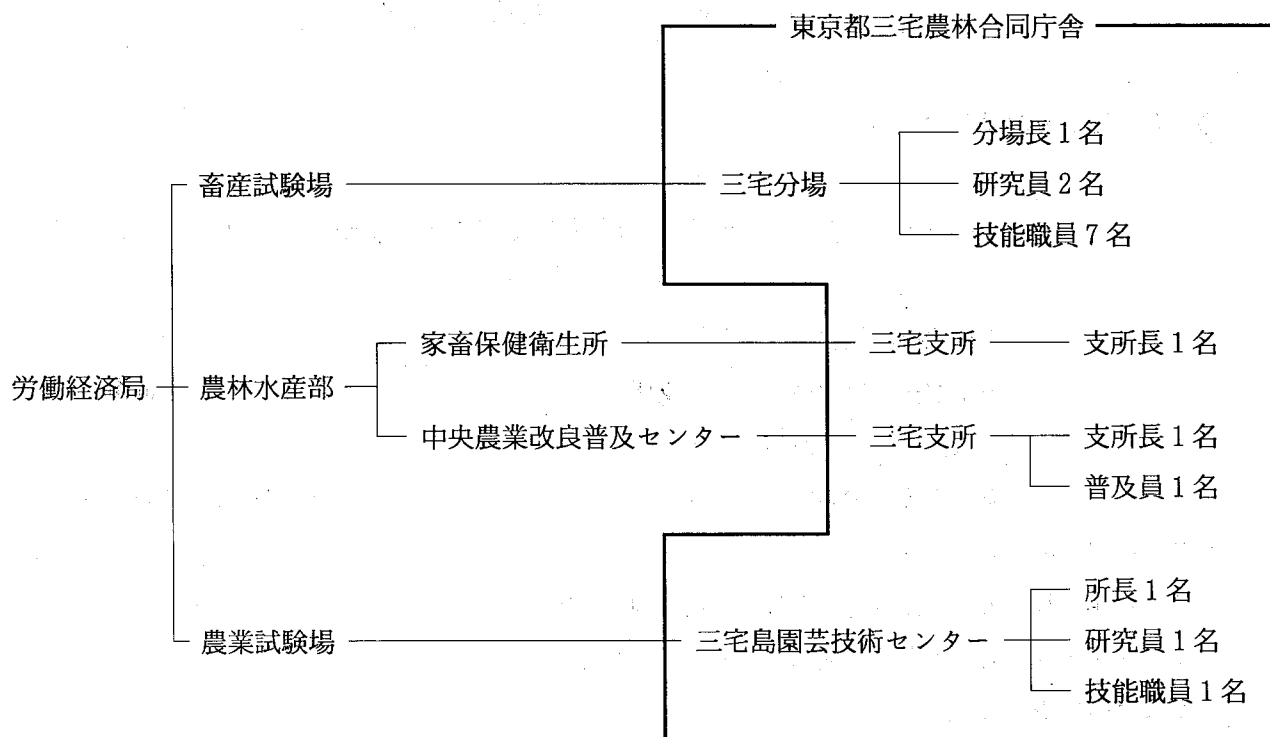
○農業試験場三宅島園芸技術センター

昭和19年6月 東京都三宅支庁農業試験地 設置

昭和63年12月 総務局所管から農業試験場へ一元化

平成2年8月 東京都農業試験場三宅島園芸技術センターに改称

(2) 組織及び職員数



(3) 運 営

農林合同庁舎は4場所が入っているが、各々の場所は連携を取りながら業務の推進を図っている。
 庁舎の維持管理は、畜産試験場が行っている。

2. 東京都畜産試験場三宅分場

(1) 用 地

(単位：㎡)

耕作地	採草地	雑木林	建物敷地	計
19,478.94	40,282.10	41,766.93	22,993.18	124,521.15

(2) 建 物

(単位：㎡)

合同庁舎	車庫	牛舎	豚舎	収納舎	職員公舎	他	計
385.87	123.49	511.56	244.70	113.4	240.29	25.12	1,644.43

(3) 業務内容

ア 肉用牛の生産技術に関する研究

島しょにおける黒毛和種の飼養試験を行なう。

生産子牛の農家配布及び受精卵の採取を行う。

イ 乳用雌子牛の受託育成

村営牧場に放牧する前の馴致と放牧時の技術的指導を行う。

人工授精と受精卵移植試験を行う。

ウ 飼料作物の栽培試験

島しょに適した、飼料作物の栽培試験を行う。

村営牧場における草地改良の技術的指導を行う。

エ 豚の生産技術に関する研究

島しょにおける「エド」及び高品質系統豚の増殖を行う。

系統豚「エド」の生産子豚を農家に配布する。

オ 島しょにおける家きんの増殖

羽毛種鶏の維持と羽毛鑑別鶏の孵化及び雛の配布を行う。

3. 東京都家畜保健衛生所三宅支所

(1) 業務内容

ア 家畜防疫業務

家畜伝染性疾患の発生予防及び蔓延防止のために下記検査等の実施。

(ア) 家畜伝染性疾患抗体検査

(イ) 牧野病予防のためのダニ駆除・調査

(ウ) 豚コレラ予防注射

イ 家畜衛生指導業務

家畜衛生、牧野衛生並びに畜舎環境衛生の指導等

ウ 家畜人工授精

エ 病性鑑定業務

各種疾病原因究明のための獣医学的検査（病理解剖、血液検査等）、診断

オ 家畜診療業務

家畜診療に関する緊急対応

4. 東京都中央農業改良普及センター三宅支所

(1) 業務内容

ア 活力ある農業経営体の育成

(ア) 望ましい経営体の育成

(イ) 制度資金借受農家の経営改善

イ 先進的・高度な技術を活用した農業生産の推進

(ア) アシタバ栽培技術の改善

- (イ) 切花栽培の普及
- ウ 青年農業者の確保育成
 - (ア) 新規就農者の確保
 - (イ) 組織の活性化
- エ 地域資源を活かした農業の確立
 - (ア) アシタバ生産出荷組合の育成
 - (イ) 花き生産組合の育成
 - (ウ) 農業振興事業の円滑な推進

5. 東京都農業試験場三宅島園芸技術センター

(1) 概要

レザーファン、アシタバ等の基幹園芸作物および新しく導入された園芸作物に関する生産技術の開発、改善試験を行っている。

(2) 土地、建物

ほ場 5,337.0㎡ 建物 9棟1,020.7㎡

(3) 研究業務

ア 花き類の生産向上と高品質化に関する試験

生産が増しているレザーファン、タマシダ等の花き観葉植物について、栽培技術の改善と優良品種・系統の導入等により生産性と品質の向上を図る。

イ 特産野菜の生産向上と生産安定化に関する試験

本島特産野菜であるアシタバ、キヌサヤエンドウ等について肥培管理技術の確立、連作障害対策、優良系統の選抜等の品質向上技術の改善、開発を図る。

ウ 植物遺伝資源の収集、保存および利用に関する試験

本島の環境条件、生産条件に適したシダ類、およびアジサイ類を重点に、国内、国外の品種、系統を広く収集し、遺伝資源として育種等の研究素材とすると共に、一般にも公開している。

第13 警 察 関 係

第13 警 察 関 係

1. 管轄区域

三宅島、御蔵島、大野原島、イナンバ島の4島

2. 拾得物の取扱件数

22件 15点 24,044円 (11. 4. 1 - 12. 3. 31)

3. 交通事故発生件数

(11. 1. 1 - 12. 12. 31)

項 目	人 身 事 故				物 損 事 故 の 件 数	計
	死 亡	重 傷	軽 傷	計		
数	1	0	10	11	39	50
人 員	1	0	10	11	39	50

4. 免許証更新件数

223件 (11. 1. 1 - 11. 12. 31)

5. 110番受理件数

(11. 1. 1 - 12. 1. 1)

項 目	交通事故関係	水難事故関係	そ の 他	計
件 数	19	0	24	43

6. 犯罪発生状況

(11. 1. 1 - 11. 12. 31)

種別 区分	刑 法 犯							特 別 法 犯	合 計
	凶 悪 犯	粗 暴 犯	侵 入	非 侵 入	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他		
発 生	0	0	4	0	0	0	0	0	4

7. 質屋、古物関係

(11. 12. 31 現在)

質屋	古物商	古物市場	その他	計
0	35	0	0	35

8. 風俗営業関係

(11. 12. 31 現在)

料理店	簡易料	キャバレー	バー	遊技場	計
0	0	1	0	6	7

第14 電 力 関 係

第14 電 力 関 係

1. 事 業 所

名 称	従業員数	備 考
東京電力株式会社銀座支店三宅島事務所	18名	内 発電関係 11名
御蔵島発電所	6名	御蔵島村役場へ業務委託

2. 配電設備 (平成12年9月末現在)

電 柱	配電線延長	配電用変圧器
2,724本 (248本)	237.9km (18.3km)	683台 25,060KVA (62台 1,240KVA)

() 御蔵島

3. 発 電 設 備

		三 宅 島	御 蔵 島
火 力 (内 燃 力)	認 可 出 力 (kW)	5,000kW	410kW
	ユ ニ ッ ト	2,000kW × 1 1,000kW × 3	120kW × 3 (水力) 50kW × 1
	台 数	4	4

4. 東京電力及び全国の発電設備 (11年3月末現在)

電源種別	東 京 電 力		全 国 (9電力)	
	認可出力(万kW)	構 成 比	認可出力(万kW)	構 成 比
水 力	(160) 810	14.0%	(1,166) 3,332	17.4%
火 力	(25) (注1) 3,243	56.1%	(165) 11,635	60.6%
原 子 力	(3) 1,731	29.9%	(14) 4,230	22.0%
風 力	(1) 0.05	0%	(1) 0.05	0%
合 計	(189) 5,784	100.0%	(1,339) 19,197	100.0%

() 内は設置ヶ所

(注1) 離島内燃力発電所を含む。

5. 契約口数および需要高（12年3月末現在）

	契 約 口 数		契 約 電 力	
	三 宅 島	電 灯	4,095 (口)	電 灯
	電 力	299 (口)	電 力	4,586 (kW)
御 蔵 島	電 灯	365 (口)	電 灯	927 (kW)
	電 力	36 (口)	電 力	504 (kW)

6. 三宅島発電所沿革（その1）

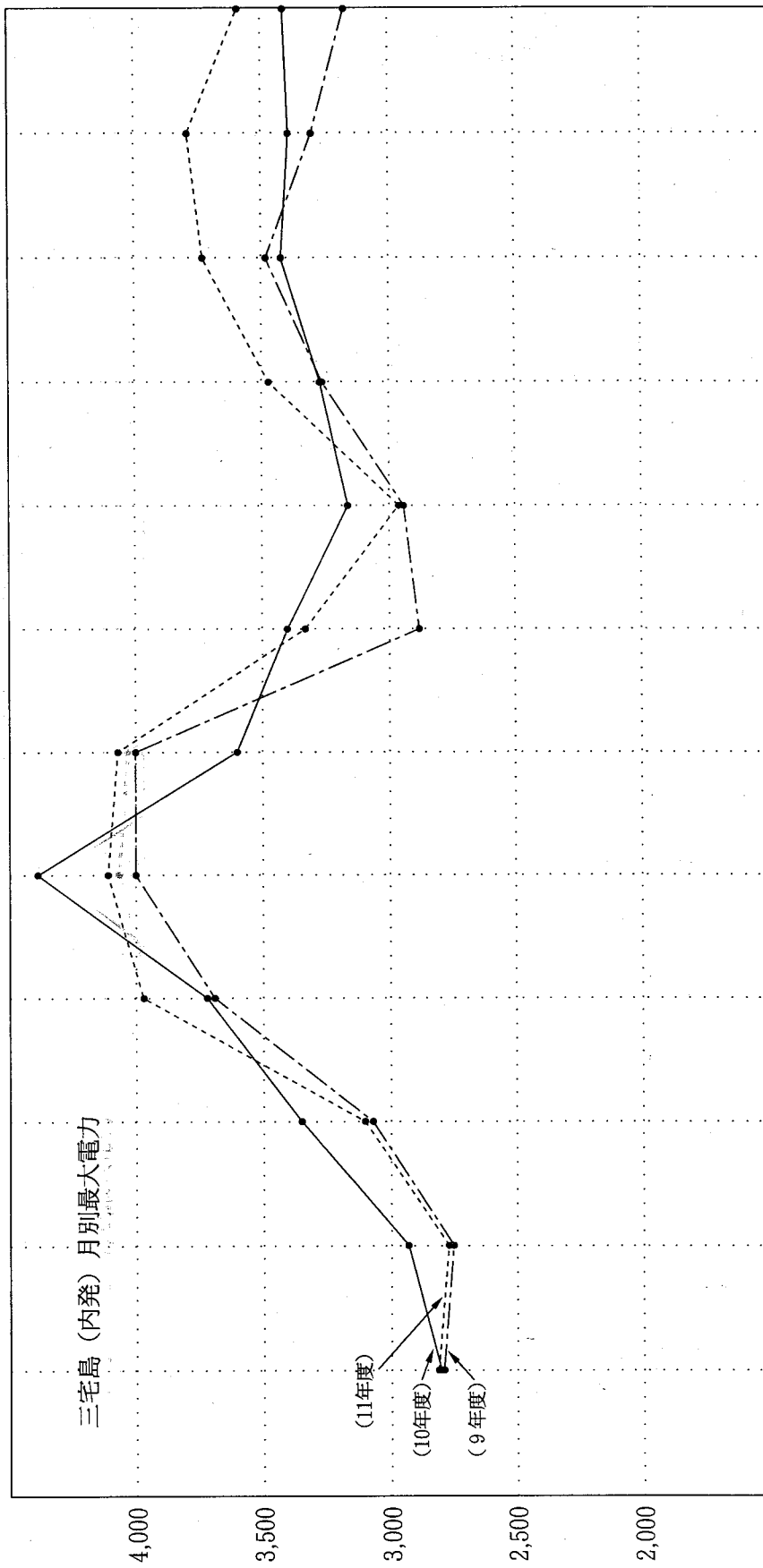
年度別	変 革	発電設備	送電時間	備 考
昭和4年7月	ディーゼル発電機1台新設	60kW	日没より日の出	三宅島電気(株)経営
16. 9	三宅島各村組合にて買収	60kW	日没より5時間	三宅島各村組合経営
18. 4	関東配電(株)と統合	60kW	〃	関東配電(株)経営
23. 8	ディーゼル発電機取替	80kW	〃	
26. 5	発電、配電統合により改組	80kW	〃	東京電力(株)と名称変更
28. 8	ディーゼル発電機取替	120kW	〃	
31. 8	〃	240kW	〃	
32. 10	早朝2時間追加送電	〃 kW	〃	左記に早朝2時間追加
33. 10	ディーゼル発電機増設 240kW	480kW	〃	〃
33. 12	昼夜送電実施	480kW	24時間	
34. 12	ディーゼル発電機増設 240kW	720kW	〃	
40. 12	〃 240kW	960kW	〃	
44. 6	〃 400kW	1,360kW	〃	
46. 6	〃 400kW	1,760kW	〃	
47. 4	ディーゼル発電機撤去 240kW	1,520kW	〃	
48. 4	ディーゼル発電機増設 1,000kW	2,520kW	〃	
48. 4	ディーゼル発電機撤去 240kW	2,280kW	〃	
49. 7	ディーゼル発電機増設 1,000kW	3,280kW	〃	
52. 9	〃 1,000kW	4,280kW	〃	
平成 4. 10	ディーゼル発電機撤去 240kW×2	3,800kW	〃	

6. 三宅島発電所沿革（その2）

年度別	変革	発電設備	送電時間	備考
平成8年4月	ディーゼル発電機増設 2,000kW	5,800kW	24時間	
8. 9	ディーゼル発電機撤去 400kW×2	5,000kW	〃	
	以上の経過で現在に至る			

7. 御蔵島発電所沿革

年度別	変革	発電設備	送電時間	備考
昭和32年7月	水力発電機新設	50kW	24時間	御蔵島農協経営
37. 10	東京電力(株)に移管	50kW	〃	東京電力(株)経営
51. 9	ディーゼル発電機新設 120kW	170kW	〃	
53. 6	〃 120kW	290kW	〃	
平成4. 3	水力発電所建替	290kW	〃	
9. 7	ディーゼル発電機増設 120kW	410kW	〃	
	以上の経過で現在に至る			



三宅島 (内発) 月別最大電力

(11年度)
(10年度)
(9年度)

kW 月別	過去3年間の最大電力											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H.11	2,810	2,770	3,100	3,970	4,110	4,070	3,330	2,960	3,470	3,730	3,790	3,590
H.10	2,800	2,930	3,350	3,720	4,390	3,600	3,400	3,160	3,270	3,420	3,390	3,410
H.9	2,790	2,750	3,070	3,690	4,070	4,000	2,880	2,940	3,260	3,480	3,300	3,170
H.11	1,540	1,560	1,620	1,690	2,040	1,890	1,610	1,550	1,570	1,620	1,610	1,660

(設備不具合時は含まない)

第15 通信連絡施設

第15 通信連絡施設

(1) 郵便局現況

区分 \ 局名	三宅島	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	御蔵島	計
局員数	11	2	2	3	11	5	34

(2) 島内郵便通送運行図

		時 分	時 分
三宅島局	伊豆局 (集配)	10 : 45 (取集)	15 : 40
	伊ヶ谷局 (集配)	10 : 35 (")	15 : 30
	坪田局 (運送)	7 : 30 (運送)	15 : 45
	御蔵島局 (水路)	8 : 00	
坪田局	阿古局 (集配)	10 : 30 (取集)	14 : 30
	三宅島局 (運送)	12 : 00 (運送)	16 : 15
	御蔵島局 (水路)	16 : 15	
御蔵島局	三宅島局 (水路)	10 : 00	
	坪田局 (水路)	10 : 00	

(3) 通信設備

NTT三宅営業所において、三宅島および御蔵島一円の通信を島内外と行っている。

ア 沿革

- 昭和15. 6. 23 電話交換開始 (43加入)
- 23. 8. 6 三宅無線中継所開設 (東京～三宅間電話開通)
- 24. 6. 1 三宅電気通信施設区創設
- 29. 7. 1 三宅～御蔵間電話開通
- 46. 3. 26 三宅電報電話局開局 (ダイヤル方式)
- 54. 3. 1 御蔵島電話交換局開局 (ダイヤル式)
- 54. 3. 15 大島～三宅島～八丈島間海底同軸ケーブル開通
- 57. 3. 30 伊豆諸島海域自動船舶電話開通
- 60. 4. 1 日本電信電話公社から日本電信電話株式会社へ移行
- 61. 2. 10 三宅電報電話局と三宅無線中継所合併

- 平成元. 4. 1 三宅営業所と名称変更
7. 24 多摩中支店三宅営業所（組織改正による）
6. 5. テレコムエンジニアリング三宅サービスセンター発足
6. 9. 光ケーブル開通 三宅～坪田～阿古～三宅
- 三宅局交換機形式変更（D70）
- 阿古局交換機形式変更（A/I-RT）
- 坪田局交換機形式変更（A/I-RT）
6. 10. 設備サービス部西品質サービスセンター（三宅担当）発足
7. 2. 御蔵島局交換機形式変更（RCS）
9. 7. NMC西品質サービスセンターTE東京へ組織整備
9. 12. 携帯電話サービス開始（ドコモ）
11. 4. TE東京、NTT-MEへ組織変更
11. 7. NTT東日本発足（三宅営業所）

イ 概 要

(ア) NTT三宅営業所

所 在 地 東京都三宅島三宅村伊豆627-2

敷 地 面 積 14,489.28㎡

局 舎 面 積 2,052.08㎡

(イ) 施 設

三宅D70形自動交換機（2局）

阿古交換局（5局）A/I-RT交換機

新坪田交換局（6局）A/I-RT交換機

御蔵島電話交換局（8局）RCS交換機

ウ 組 織

NTT ————— NTT東日本 多摩営業支店 三宅営業所

NTT-ME ————— 第2メンテナンス営業担当 三宅担当

エ 加入電話等施設

平成12年3月

種 別 局 別	加 入 数			公 衆 電 話		
	単 独	共 同	計	街 頭 公 衆 (ボ ッ ク ス 形)	街 頭 公 衆 (卓 上 形)	委 局 公
2 局	1,109		1,109	11	17	0
5 局	765		765	7	12	0
6 局	745		745	12	14	0
小 計	2,619		2,619	31	43	0
御 蔵 島	217		217	3	2	0
合 計	2,836		2,836	33	45	0

オ 地域別加入数等

平成12年3月

地 域 名	2 局			5 局	6 局	小 計	8 局	合 計
	神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田		御蔵島	
加 入 数	1,109			765	745	2,619	217	2,836
100人当加入数	75.1			62.3	68.5	69.1	82.5	70.0
100世帯当加入数	147.9			120.1	132.8	134.4	158.4	136.0

第16 東京航路標識事務所

第16 東京航路標識事務所

(旧 三宅島航路標識事務所)

1. 概 要

灯台、灯浮標、レーマークビーコン等の航路標識は、昔から島しょと本土間を行き来する船舶や同島周辺において漁労に従事する船舶の航海の指標として、船舶交通の安全を確保し、あわせて船舶の運航能率の増進を図る目的で設置されたものですが、三宅島においては、明治42年に伊豆見崎灯台（伊豆岬灯台）が同島最初の航路標識として設置されました。

その後、戦後復興期の海運の隆盛に伴い、昭和29年に風車による発電方式を用いたサタドー岬灯台（現在は商用電源を導入して撤去。）が設置され、また、港湾整備に併せて坪田港、阿古港などの防波堤の先端に順次灯台が設置されて、現在は御蔵島を含めて8基の航路標識があります。

これらの航路標識の保守管理は、昭和28年に開所した三宅島航路標識事務所が行って来ましたが、組織改正により同所が廃止され、平成6年6月24日以降、東京航路標識事務所（品川区東大井）において集約管理を行っています。

なお、東京航路標識事務所は、海上保安庁第三管区海上保安本部に所属し、東京港及びその周辺に設置された航路標識に、平成6年度の組織改正以後、伊豆七島の大島、利島、三宅島、御蔵島の航路標識を併せ計56基の航路標識の保守管理を行っています。三宅島には、月1回程度当所の職員が航路標識の点検に訪れています。

2. 沿 革

明治42年6月1日	伊豆見崎灯台設置（村営）
昭和24年6月1日	三宅島灯台と改称（当時休灯中）の管理を海上保安庁に引継ぐ。
昭和24年7月21日	業務開始
昭和28年8月1日	海上保安庁の行政機関として三宅島航路標識事務所設置、事務所所在地を三宅村大字伊豆とする。
昭和28年8月21日	事務所所在地を三宅村大字坪田に移す。
昭和29年11月1日	サタドー岬灯台設置
昭和38年4月10日	坪田港及び阿古港防波堤灯台設置
昭和41年6月1日	三宅島灯台を伊豆岬灯台と改称
昭和44年12月17日	伊豆三池港突堤灯台設置
昭和62年10月8日	阿古港突堤灯台設置
昭和63年11月17日	湯の浜港東防波堤灯台設置
平成4年11月16日	御蔵島港ふ頭灯台設置
平成6年6月24日	三宅島航路標識事務所廃止、東京航路標識事務所の所管となる。 事務所所在地 東京都品川区東大井1丁目13-1

第17 官公署その他

第17 官公署その他

官公署その他

名 称	所轄庁等	所 在 地	電 話
東京都三宅支庁	東京都	東京都三宅島三宅村伊豆642	
“ 総 務 課	“	“	04994 2-1311
“ 産 業 課	“	“	“ 2-1312
“ 土 木 課	“	“	“ 2-1313
東京都島しょ保健所三宅出張所	“	“ 伊豆1004	“ 2-0181
東京都教育庁三宅出張所	“	“ 伊豆642	“ 2-0191
東京都三宅出納事務所	“	“ 伊豆642	“ 2-1314
東京都畜産試験場三宅分場	“	“ 坪田4357	“ 6-1414
東京都家畜保健衛生所三宅支所	“	“	“ 6-1414
東京都中央農業改良普及所三宅支所	“	“	“ 6-1414
東京都農業試験場 三宅島園芸技術センター	“	“	“ 6-1414
東京都離島港湾部 第4離島港湾工事事務所	“	“ 阿古671	“ 5-0090
東京都立三宅高等学校	“	“ 坪田4586	“ 6-1136
東京都島部海区漁業 調整委員会三宅分室	“	“ 伊豆642	“ 2-1312(代)

名 称	所轄庁等	所 在 地	電 話
警 視 庁 三 宅 島 警 察 署	警 視 庁	東京都三宅島三宅村伊豆640	04994 2-0511
三 宅 勤 労 福 祉 会 館	(財)東京都 勤労福祉協会	" 神着106	" 2-0680
三 宅 村 役 場	三 宅 村	" 坪田1774	" 6-1111
御 蔵 島 村 役 場	御 蔵 島 村	東京都御蔵島村	" 8-2121
東京法務局三宅島出張所	法 務 省	東京都三宅島三宅村神着240	" 2-0063
気 象 庁 三 宅 島 測 候 所	気 象 庁	" 神着74	" 2-0019
気 象 庁 三 宅 島 測 候 所 三 宅 島 空 港 出 張 所	"	" 坪田1378	" 6-0436
東 京 航 路 標 識 事 務 所	海上保安庁	東京都品川区東大井1-13-1	03 3471-9527
運 輸 省 東 京 航 空 局 三 宅 島 空 港 出 張 所	運 輸 省	東京都三宅島三宅村坪田1378	04994 6-1446
三 宅 島 郵 便 局	郵 政 省	" 神着222	" 2-0001
坪 田 郵 便 局	"	" 坪田3049-1	" 6-0001
三 宅 島 阿 古 郵 便 局	"	" 阿古700-6	" 5-0001
三 宅 島 伊 豆 郵 便 局	"	" 伊豆1016	" 2-0018
三 宅 島 伊 ヶ 谷 郵 便 局	"	" 伊ヶ谷432	" 2-0151
御 蔵 島 郵 便 局	"	東京都御蔵島村	" 8-2201
N T T 三 宅 営 業 所	日 本 電 信 電 話 (株)	東京都三宅島三宅村伊豆627-1	" 2-0542

名 称	所轄庁等	所 在 地	電 話
三宅島農業協同組合		東京都三宅島三宅村坪田3082	04994 6-0421
御蔵島村農業協同組合		東京都御蔵島村	" 8-2212
三宅村森林組合		東京都三宅島三宅村坪田1774 (三宅村役場内)	" 6-1422
三宅島漁業協同組合		東京都三宅島三宅村阿古680	" 5-0011
御蔵島村漁業協同組合		東京都御蔵島村	" 8-2151
株式会社富士銀行 本店 三宅島出張所	(株)富士銀行	東京都三宅島三宅村伊豆642	" 2-0787
東京電力株式会社 銀座支店三宅島事務所	東京電力 株式会社	" 伊豆991	" 2-0711
七島信用組合三宅島支店	七 島 信用組合	" 神着893	" 2-0081
東海汽船株式会社三宅島支店	東海汽船(株)	" 坪田1260	" 6-1131
三宅島観光協会		" 坪田1362	" 6-1144
三宅村商工会		" 坪田1271-1	" 6-1368
三宅村シルバー人材センター		" 坪田3050	" 6-1244
特別養護老人ホーム あじさいの里		" 阿古807	" 5-0248

管内概要

平成13年度

登録第1号

平成12年版

平成13年5月31日発行

編集・発行 **東京都三宅支庁**
東京都三宅島三宅村伊豆642番地
電話 (04994) 2-1311 (代)

印刷 **東京都新宿区東五軒町3丁目19番地**
モリモト印刷株式会社
電話 (03) 3268-6301 (代)



本文は古紙配合率70%
白色度70%再生紙を使用しています